

# ムトス飯田まちづくり 活動報告集



第33回ムトス飯田賞  
わんぱく冒険隊



第33回ムトス飯田賞  
下黒田東有志の会「繫」



ムトス飯田

平成29年度  
ムトス飯田推進委員会

「ムトス」という言葉は、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成19年4月1日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「地域を愛する想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスを呼び起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。ムトス飯田賞は、創設から今回の第33回までに、70団体と2個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成3年度からふるさと創生の1億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、ムトスの精神にふさわしい団体等に助成をしています。平成28年度までに471の団体・個人の活動を支援してきました。

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO・NGO、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。右肩上がりの時代が終わり社会経済が停滞し先が見えにくい状況の中、市民協働の広がりへの期待が大きくなってきています。市民を軸に、多様な主体が地域で連携して取り組む「結い」が、今後の飯田市のまちづくりには大変重要になります。

ムトス飯田推進委員会では、市民の皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に関係する団体等を中心にした「活動報告集」を毎年発行しています。新たな繋がりや構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会等及びNPO法人の皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に、深く感謝とお礼を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

平成30年2月

ムトス飯田推進委員会

# — 目 次 —

<b>I 第33回 ムトス飯田賞受賞団体のご紹介</b>	<b>ページ</b>
・ わんぱく冒険隊	1
・ 下黒田東有志の会「繫」	2
<b>II 平成29年度 ムトス飯田助成事業 助成団体活動報告</b>	
<b>まちづくり・地域づくり応援事業</b>	<b>ページ</b>
・ NPO法人 信州自然エネルギー研究会	3
・ NPO法人 南信州クラブ	5
・ 遠山郷やらまい会	7
・ わけあり市場	9
・ ラン伴飯田2017実行委員会	11
・ ブルーベリー緑化祭実行委員会	13
・ 一般社団法人 日本禁煙友愛会龍峡支部	15
・ 華齢なる音楽祭実行委員会	17
・ 羽場の昔を学ぶ会	19
・ 虎岩の文化財を守る会	21
・ 下栗里の会	23
・ りんご並木に花を植える会	25
・ 下久堅地区まちづくり委員会(地域で共に生きるまちづくり構想の策定)	27
・ 森集人プロジェクト	29
・ 川路歴史文化セミナー	31
・ しなの大和	33
・ ふれあいボランティア もみじの会	35
・ 神之峰活性化委員会	37
・ 下黒田東有志の会「繫(つなぎ)」	39
・ 主税町自治会(防犯カメラ設置事業)	41
・ 羽場セントラルパーク愛護会	43
・ 龍江四区地域づくり委員会	45
・ 龍江地域づくり委員会(龍江情報の多様な発信策の構築)	47
・ つながる虹の会	49
・ 殺処分ゼロ目指し隊	51
・ 遠山郷観光協会	53
・ 千代野外音楽祭実行委員会	55
・ 毛呂窪フラワークラブ	57
・ 夢かなえ隊	59
・ おいでなんしょ立ち上げ準備会	61
・ 東野まちづくり会議(「東野地区基本構想・基本計画」の策定)	63
・ 小沢川小水力発電事業体設立準備委員会	65
・ お仕事づくりプロジェクトお花部会(上村まちづくり委員会)	67
・ 千代河鹿がえるまつり実行委員会	69
・ 水辺の楽校草刈り隊	71
・ 川路七区	73
・ Sturdy egg(スタディ エッグ)	75
・ NPO法人 緑のそよ風	77
<b>多様な主体が連携する協働活動</b>	
・ 飯田下伊那アマチュア無線クラブ・伊賀良アマチュア無線クラブ 遠山郷アマチュア無線クラブ	79
・ 大宮通り桜保存会・東野まちづくり会議	81

### Ⅲ 市民活動団体のご紹介（情報提供いただいた団体）

1 ムトス飯田賞 受賞団体（受賞年度順）			ページ
・ 今田人形保存会	昭和60年度	第1回受賞	83
・ 飯田昆虫友の会	平成元年度	第5回受賞	84
・ 風越山を愛する会	平成8年度	第12回受賞	85
・ 飯田少年少女合唱団	平成9年度	第13回受賞	86
・ 飯田市連合婦人会	平成11年度	第15回受賞	87
・ 上飯田タ市グループ	平成12年度	第16回受賞	88
・ 飯田観光ガイドの会	平成12年度	第16回受賞	89
・ 朗読奉仕の会「声の輪」	平成13年度	第17回受賞	90
・ 飯田子ども劇場	平成13年度	第17回受賞	91
・ 黒田人形保存会	平成14年度	第18回受賞	92
・ 子ども科学工作教室運営協議会	平成16年度	第20回受賞	93
・ 木沢地区活性化推進協議会	平成17年度	第21回受賞	94
・ 杵原学校応援団	平成20年度	第24回受賞	95
・ 南信州飯田おもしろ科学工房	平成21年度	第25回受賞	96
・ 麻績の里振興委員会	平成21年度	第25回受賞	97
・ 遠山山の会	平成22年度	第26回受賞	98
・ 社会医療法人 栗山会 飯田病院	平成22年度	第26回受賞	99
・ 南信州竹宵の会	平成24年度	第28回受賞	100
・ 大宮通り桜保存会	平成25年度	第29回受賞	101
・ NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師	平成25年度	第29回受賞	102
・ 地域ぐるみ環境ISO研究会	平成26年度	第30回受賞	103
・ りんご並木に花を植える会	平成27年度	第31回受賞	104
・ 華齢なる音楽祭実行委員会	平成28年度	第32回受賞	105
・ 夢くらぶ	平成28年度	第32回受賞	106
2 ムトス飯田助成事業 平成27, 28年度の助成団体等			ページ
・ キッズ山本大作戦推進委員会			107
・ 遠山郷観光協会			108
・ 春日二八会			109
・ 駄科りんの会			110
・ 橋北面白倶楽部			111
・ NPO法人 南信州おひさま進歩			112
・ ふれあいボランティア もみじの会			113
・ 千代野外音楽祭実行委員会			114
・ NPO法人 よつば			115
・ りんご並木に花を植える会			116
・ 丸山まちづくり委員会(未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト)			117
・ 羽場まちづくり委員会(サル去れ警備隊)			118
・ つながる虹の会			119

3 まちづくり委員会等	ページ
・ 橋北まちづくり委員会	120
・ 橋南まちづくり委員会	121
・ 羽場まちづくり委員会	122
・ 丸山まちづくり委員会	123
・ 東野まちづくり会議	124
・ 座光寺地域自治会	125
・ 松尾地区まちづくり委員会	126
・ 下久堅地区まちづくり委員会	127
・ 上久堅地区まちづくり委員会	128
・ 千代地区まちづくり委員会	129
・ 龍江地域づくり委員会	130
・ 竜丘地域自治会	131
・ 川路まちづくり委員会	132
・ 三穂まちづくり委員会	133
・ 山本地域づくり委員会	134
・ 伊賀良まちづくり協議会	135
・ 鼎地区まちづくり委員会	136
・ 上郷地域まちづくり委員会	137
・ 上村まちづくり委員会	138
・ 南信濃まちづくり委員会	139

4 特定非営利活動法人（NPO法人）	ページ
・ くらりnet	140
・ あやめ	141
・ みんなの手	142
・ 飯伊学生防犯対策支援協会	143
・ 南信州バイコロジー協会	144
・ 国際りんご・シードル振興会	145
・ 飯田ブルーベリー振興会	146
・ おしゃべりサラダ	147

## わんぱく冒険隊

### ～ 受け継がれ広がる冒険活動 ～

「沖縄無人島キャンプ」「南アルプス・中央アルプス登山」「屋久島縄文杉を訪ねる縦走登山」。家庭ではなかなか取り組むことができない派手な活動が目を引くが、この活動の良いところは、実はそれ以外の地道な活動も含めて、もう19年も続いているところ。

平成11年の川遊びやもちつきに始まり、途中から行政の財政援助がなくなるも、参加者負担により1年に10回以上の活動を実施しながら、メニューを増やしてきた。

卒業した隊員が高校生・大学生・社会人になり指導者として帰ってくることも増えてきている。このあたりが、長年続いている秘密の一端かも知れない。

子ども達の創造性や生きるための力を育むための活動。今後も末永く続くことを期待したい。

- ◆代表者 二宮 孝治
- ◆発 足 平成11年度
- ◆会 員 68名



## 下黒田東有志の会「繫」

～ 地域 みんなで癒しの公園を目指して ～

平成24年に上郷下黒田東地区の有志がまちづくり委員会から野底山森林公園のもみじのライトアップを引き継いでから6年。

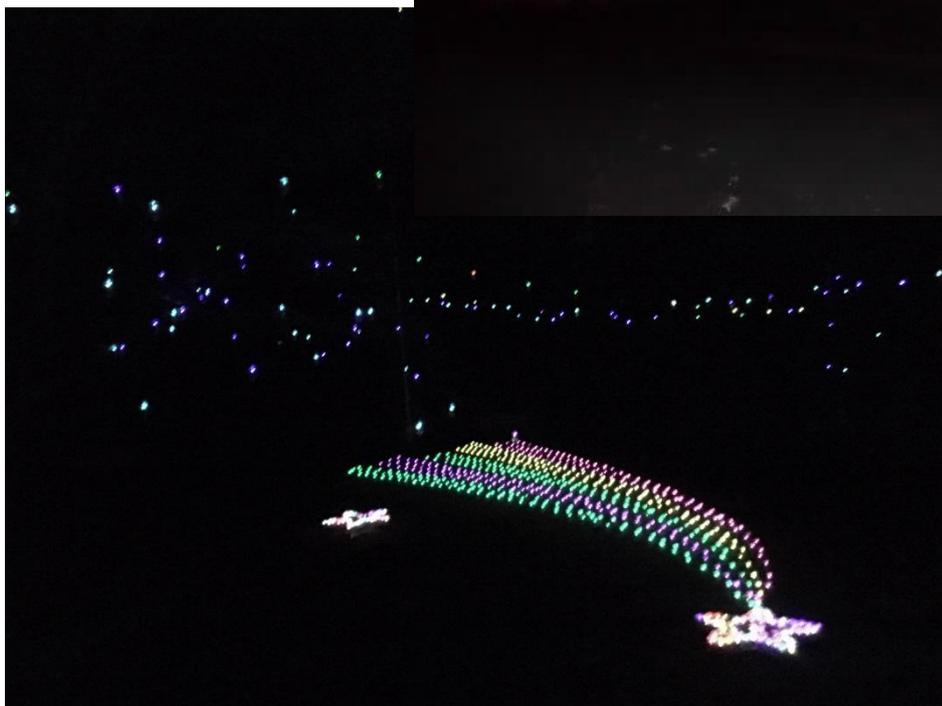
ライトアップをバージョンアップしつつ、「太陽光発電式ペットボトルによるイルミネーションの設置」、「地元で活動する団体によるきらめきコンサート」など、事業内容・規模を拡大させてきた。これに伴い地元企業を中心に協賛金を多くいただき、財源も確保している。

来場者数は増え続け、本年度は2,200人と、過去最高を記録した。

地元行事への参加・協力を積極的に行いつつ人とのネットワークを拡大していることも、事業拡大の一助となっている。

リニア長野県駅から一番近い癒しの公園を目指し、事業の継続を願う。

- ◆代表者 野牧 詔男
- ◆発 足 平成27年度
- ◆会 員 30名



取組名称	営農型太陽光発電の推進
団体名	特定非営利活動法人信州自然エネルギー研究会
代表者氏名	林 宗吉
地区名	飯田市 龍江

取組みの目的	<p>①営農型太陽光発電が日本での食料自給と再生可能エネルギーへの転換を可能とする一手段と考えるが、これに市民レベルで取り組みコスト的に割に合うか否かを実証する。</p> <p>②一昨年COP21で採択されたパリ協定に対して行政の再生可能エネルギー転換への取り組みが遅い。市民レベルで取り組みに参加する。</p> <p>③飯田市では、まだ営農型太陽光発電がなされていないので当市における第一号をめざす。</p>
具体的内容	<p>飯田市龍江4481番地2(面積 約933㎡)に出力22kWの営農型太陽光発電設備を設置する。この発電設備では地上約2.5mの高さに発電パネルを敷設し且つパネルの敷設密度は従来の1/3程度とし、営農に必要な太陽光と農作業空間を確保する。当NPO法人は土地所有者と設置業者との間の調整を行い、設置工事開始する。当NPO法人はソーラーパネル下の土地を借り、ブルーベリー・サツマイモ、里芋等を太陽光発電パネル下で育成する。発電設備の管理(月々の発電データ記録等)と野菜の収量の管理をしつつ収穫祭(焼き芋大会)を実施した。又、看板等を設置して事業のPRを行う。非常時には余剰電力を活用すべく龍江地域づくり委員会と協定を締結する。</p>



説明 営農型太陽光発電所工事開始



説明 完成セレモニー



説明 下伊那農業高校による作業



説明 ブルーベリー植栽作業

取組の経過	平成29年2月 ムトス飯田助成事業助成金申請 平成29年3月 営農型太陽光発電施設設置工事開始 平成29年5月 営農型太陽光発電所完成、発電開始 平成29年5月～7月 耕作 ブルーベリー・サツマイモ・里芋を育成 平成29年6月 発電所開所セレモニー 龍江地域づくり委員会および下伊那農業高校と協定 平成29年7月 ブルーベリー講習会 平成29年9月 下伊那教育会・社会福祉事務所・飯田市子育て支援課を介して環境読本「サンゴ がたいへんだ」「シロクマのおやこ」400冊贈呈 平成29年9月 非常時のソーラー電源使用法講習会実施(対象 龍江地域づくり委員会役員) 平成29年11月 反省会
取組の効果	①当営農型太陽光発電所の発電容量は22kWであるが、平成29年5月末から12月始めまでの総発電量は16000kWhに達した(年間換算では20000kWh以上)。これによって当施設がコスト的に見合うものであることが現段階で期待でき、営農型太陽光発電に関心を持っている人に対して導入を勧めることができることになった。 ②営農型太陽光発電は環境モデル都市「飯田」に相応しい事業であり信州自然エネルギー研究所のホームページ(abuso.biz)で十分PRができた。 ③龍江地域づくり委員会と協定を締結して、非常時に太陽光発電を地域で利用できるようにし、地域での連繫を深めることができた。 ④下伊那農業高校と協定を締結して、将来の営農の一形態としての営農型太陽光発電の可能性にチャレンジして貰った。 ⑤飯伊の児童・園児の環境読本400冊を贈り若年層に自然環境保護の大切さを学んで貰った。
今後の取組	営農型太陽光発電が普及しないのはコストパフォーマンスが悪いからとされている(密集した発電パネル方式を採用しないために発電効率が悪く、また地上の作業空間を確保するために設置工事費が高つく等)。 さらに発電パネル下では野菜等の生育が悪いのではないかと考えられている。 上記の考え方を払拭し、当NPO法人の取り組みに引き続き、参加したい団体に対して手助けをしたい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	380,000
	うち助成金(見込み)	259,000
主な経費内訳 (上位3項目)	看板・パンフレット等	200,000
	草刈り機等	100,000
	学習会	30,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	今田平河川敷 芝生化
団体名	NPO法人南信州クラブ
代表者氏名	小澤 健
地区名	

取組みの目的	<p>一昨年度ムトス飯田助成事業を活用し、マレットゴルフ場の駐車場になっていて、普段あまり利用されていない河川敷のスペースを芝生化したが、地面が固くやせた土壌であるため生育が悪い。 従って、今年度中の早い段階で全面に芝が広がり利用できる状態にするために砂入れ・穴あけ・施肥を実施したい。</p>
具体的内容	<p>当初2年目の平成28年度中には全面芝になる予定をしていたが、現地は花崗岩が風化した土壌であるため、痩せていることに加え、日を経るごとに堅くなってしまい芝がなかなか根を張ることができず、予定の半分程度しか芝が広がらなかった。 そのため、早く伸ばすための施肥が必要であると共に、砂を入れて上方向に芝を伸ばすことに加え、堅くなった地面に機械で穴をあけることで根を張るスペースをつくる必要がある。</p>



説明 砂入れ作業(1回目)



説明 施肥作業



説明 穴あけ作業



説明 砂入れ作業(2回目)

取組の経過	4月 2日 肥料散布(1回目) 4月 8日 砂搬入(1回目) 4月17日 砂入れ作業(1回目) 5月13日 肥料散布(2回目) 6月17日 砂搬入(2回目) 6月24日 肥料散布(3回目) 8月27日 肥料散布(4回目) 9月20日 穴あけ作業 10月 2日 砂入れ作業(2回目)
取組の効果	○4月の段階では面積のほぼ半分しか芝生が生えていなかったが、砂入れ・施肥・穴あけ作業により全体の約9割が芝生となった。 ○夏以降は毎週末小学生が利用できるようになった。
今後の取組	全体が芝となったため、そこに冬用の芝生の種を撒くことができた。それに現在でも緑色の芝が生えており、通年を通して緑の芝の上でスポーツ活動が出来るようになった。 来年度は、季節を問わず県内・県外からチームを呼び、スポーツを通して交流を広げていきたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		427,356
うち助成金(見込み)		299,000
主な経費内訳 (上位3項目)	砂代	80,028
	肥料代	94,600
	施設(散水)施設代	103,680

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	青崩峠古道歩こう会(第2回)
団体名	遠山郷やらまい会
代表者氏名	山崎 語
地区名	南信濃
取組みの目的	秋葉街道は塩の道(物流)、信仰の道として栄えた。また静岡県水窪町と南信濃とはかつて林業など同一経済圏であった。したがって街道の往来は頻繁であり、現在よりも交流が深かった。 三遠南信道の青崩峠トンネル工事が始まり、完成すれば南信濃と水窪間は7分で通行できるということらしい。便利になるが、旧秋葉街道は忘れ去られてしまう。 この歴史ある秋葉街道の難所であった青崩峠道をレクリエーションの場として後世へ残していきたい。安全確保のため、登山道整備を行い、多くのウォーキング参加者を募る。 人が通れば、道は残り、後世にも続いていく。ということで2016年に始めた事業は、おかげさまで多くの方々の参加を得て、成果を上げつつある。
具体的内容	①登山道の整備。踏み板・手すりの補修。 ②急傾斜地の手すり・ロープ増設・補強。 ③ウォーキング大会のチラシ・ポスターを制作。 ④コース看板の補修・増設。 ⑤ウォーキング参加者157名、スタッフ・サポート隊38名、合計195名。今回も大盛況となった。



説明 コース看板補修整備



説明 第1エイドの桜の手入れ



説明 ウォーキング出発式(足神神社参拝)



説明 盲導犬も参加しました

取組の経過	2月13日 第2回ウォーキング大会実行委員会打ち合わせ(南信濃自治振興センター) 2月17日 田楽の里管理組合(水窪町)との合同会議(田楽の里) 3月 7日 南部建設事務所(合同庁舎)へ道路使用許可申請 3月27日 実行委員会(水窪と合同)。コースとエイド設置個所の確認 4月20日 合同実行委員会最終打ち合わせ。当日の役割分担を決定(南信濃学習交流センター) 4月24日 プレウォーキング。コース看板確認・補修 4月30日 ウォーキング大会実施 5月 6日 アンケート集計。参加費収入および支出の精算(水窪にて) 8月4日 青崩峠古道ガイド養成講座(座学) 9月24日 青崩峠古道ガイド養成講座(現地実践) 10月9日 秋葉街道舗装区間の落ち葉清掃 12月9日 次回(第3回)へ向けての第1回企画会議
取組の効果	① 今回も200名近くの参加者を得て、この行事が定着する期待が高まった。 ② アンケート調査の結果、90%の満足度であり自信が持てた。不備な点も浮き彫りになり、今後改良することができる。 ③ 浜松市(水窪町)との親交をさらに深めることができた。今後は周辺地域にも働き掛けていく。
今後の取組	秋葉街道・青崩峠道にはそこに住んでいた人々の歴史遺産もあり、中央構造線が並行していることから露頭や気の間もある。今年にはガイド養成に力を入れ、ウォーキングだけでなく地元の歴史・文化や自然を紹介することによって参加者の好奇心を満たして、さらなる盛況を期待したい。そのことにより活動の幅を広げ、流入人口の大幅な拡大につながるよう頑張っていきたい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	547,000
	うち助成金(見込み)	287,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ポスター・チラシ・ワッペンなど印刷物	297,000
	看板制作費(設置も含む)	44,000
	マイクロバス使用料(燃料費含む)	130,000
	参加記念品(ふじ姫饅頭)	48,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	橋北「わけあり市場」集いの場
団体名	わけあり市場
代表者氏名	千葉裕康
地区名	橋北

取組みの目的  
 「わけあり市場」は橋北地区に不足する小売店(青果・日用品)の代替えになるものとして平成27年12月より不採算ではあるが事業を展開している。  
 一帯向の需要を巡り「わけあり市場」が地域の「おまの」の場所となってきた事から集いの場を通じてつどえる場所を整え提供する事で、地域で高齢者を見守る環境をきずき上げていきたい。

具体的内容  
 ・市場の一角に集いの場を通じて、お茶会等が行える場を提供し、地域住民の場所としての機能(仮・テーブル・冬のストーブ)を設ける。  
 ・集いの場につどる若手などで見守りを始め、情報収集の場とする事で、地域での助け合いや見守りの強化を図る。  
 ・地域の「おまの」を活用し、共に食の提供を行うことで、料理の仕方の工夫、食生活改善につながる取組を展開する



2017/09/23



2017/09/30

説明 御飯について試食

説明 地域産物に 대해 露店・おまの試食



2017/12/16



説明 テーブル・イスを設置 お茶、つどえ等を提供

説明 ストブをガートして仮でテーブルを提供

取組の経過	<p>合とては、10年直県道1号(北保奇園〜米峰超望王手センター)近 茶場花の植栽に依り環境整備と、市道210号の花壇に依り環境整備 とに於いては、地区全体の環境整備が、必要と認め、</p> <p>2、3年前に植えた四季桜の一部を29年秋の花が咲き、紅葉と同時期 に見事な結果を上げた。1年毎に夏の花を見事な結果を上げた。</p>
取組の効果	<p>四季桜と紅葉と同時期に見事な結果を上げた。この地区は、初めてのこと。 通行人が、珍しいと、大層、喜んでくれた。</p>
今後の取組	<p>地区全体には、有る市花の三葉躑躅や、石楠花を大事に育て環境整備 とに力をつけていくことと認め、</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	130,000
	うち助成金(見込み)	40,000
主な経費内訳 (上位3項目)	苗木植栽費用	20,000
	株、紅葉苗木代	100,000
	肥料	10,000

- \*活動状況がわかる写真を入れてください。
- \*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。  
その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。
- \*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ラン伴2017飯田地区大会
団体名	ラン伴飯田2017実行委員会
代表者氏名	小宮山徳太郎
地区名	飯田市

取組みの目的

○高齢化が急速に進む中で、認知症になっても住みなれた地域で安心して生活でき、社会の一員として活動できるよう地域づくりを行う。  
 ○活動の一環として、認知症の人とそうでない人が認知症のシンボルカラーであるオレンジ色のTシャツを着て、一緒にタスキリレーをして市内を走るイベントを行う。  
 ○認知症の方が社会参加をする一歩になる、一般の人も認知症の人と行動を共にすることで、認知症に対する理解が進むことをめざす。

具体的内容

○長野県を4ブロックに分け、10月7日・8日が東・北・中信、9日が南信でタスキリレーを行った。飯田下伊那では松川町と高森町及び飯田市がタスキリレーを行った。  
 ○飯田地区は、コースを丘の上の市街地5.5キロを6区間に別けて、1区間約10名から30名で走り、タスキリレーをおこなう。参加者は、25チーム150名の方が参加。また安全確保のための誘導員、救急用スタッフ60名が大会を支えた。  
 ○応援用の旗やボンボリは、デイサービスセンター利用者の皆さんの協力をいただき作成するなど色々な形で参加してくれた。また旧市5地区のまちづくり委員会にも沿道での応援をお願いし、大会を盛り上げていただいた。  
 ○ゴール地点では、参加者が楽しめる南原苑太鼓、バルーンアートなどのアトラクションを行い、参加者、応援者が一つになれる工夫を行った。



説明 | 開会式エイエイオーでスタート



説明 | 特養飯田荘前で歓迎を受けるランナー



説明 | 飯田病院タスキリレーゴールの瞬間



説明 | 閉会后参加者全員記念写真

取組の経過	<p>実行委員会の開催 29年3月16日に第1回以降9月26日までに、8回開催する。          県の実行委員会及びエリア会議出席 3月～10月 13回 諏訪市他          広報用チラシポスターの作成 ポスター100枚 チラシ3000枚 当日パンフ 1000枚          協力支援金の募集 7月～8月 35事業所訪問協力要請及び集金(協力は30事業所)          ラン伴参加チームの募集 7月～8月 各チーム直接本部へTシャツ注文          参加チーム25チーム150名登録          参加チームの打合せ会の実施 9月走る区間の調整と決定、当日の日程と注意事項の徹底          丘の上5地区のまちづくり委員会に応援参加のお願い 9月          応援用オレンジ旗、ボンボリの作成 9月にデイサービスセンター等の利用者に作成依頼          オレンジの旗 500本 オレンジぼんぼり 50個          大会 10月9日(月・体育の日) 松川町午後1時スタート、高森町午後2時スタート、飯田市          午後3時飯田市役所スタート 午後4時30分飯田病院ゴール</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もがなりうる認知症について多くの人に関心を持ってもらうことができた</li> <li>・認知症の方が参加してくれたが、出席者はまだ少なかったが、社会参加やイベントの参加のきっかけとなった</li> <li>・認知症の方と身近に接し、交流することで認知症の理解を深めた</li> <li>・実行委員会に参加することで、施設や事業所間の連携ができた</li> </ul>
今後の取組	<p>○28年度は、ラン伴の趣旨を理解いただく病院、社会福祉法人、企業、個人等で資金援助をいただき実行委員会を組織して事業を行った。          ○29年度からは公的な支援も頂きながら長く継続していく事業と考えている。          ○昨年の実績はあるが、専任の事務局体制がなく、組織(実行委員会)作りに苦労がある。          ○事業内容の拡充(コースの拡大、参加人員[リレー・応援・スタッフ等]の拡大)          飯田市全体を1箇所で行っているが、20地区でも同様に事業の取り組みができるように拡大していきたい。          ○参加者で小中学生や高校生の参加が少ないので、拡大をしていく          ○飯田市を核として近隣町村でもこの運動に取り組んでいただき、南信州全体の事業に拡大して、認知症になっても、安心して地域で生活できる地域づくりが出来るようにしたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額	418,210
	うち助成金	261,000
主な経費内訳 (上位3項目)	参加記念カード、熱中症対策等事業費	215,022
	ポスター、チラシ、横断幕等広報費用	129,796
	事務費(県実行委員会参加高速使用料、郵送料等)	65,392

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	三遠南信地域振興研究事業
団体名	ブルーベリー緑化祭実行委員会
代表者氏名	清水 實
地区名	川路

取組みの目的	国土交通省の発表によりますと、三遠南信自動車道の天龍峡大橋は平成31年度に完成し、飯田山本インターと飯田東インター間が同年までに供用開始となります。この自動車道の開通を見据えて、この地域の連携と振興を今から考えておく必要があります。特に飯田地域(山本、三穂、川路、龍江、千代、上久堅)は山間地農業地域が多く、この産業振興が重要であり、観光地天龍峡との連携も大切です。長野県でのブルーベリー生産量は日本一ですが、飯田市における生産量は多くないのが現状です。しかし、三遠南信飯田地域における生産者は多く、この地域の生産者が連携し、地域振興とブルーベリー産業振興の目的で「ブルーベリー緑化祭」というイベントの開催を研究し、実施しました。
具体的内容	ブルーベリー緑化祭実行委員会は、NPO法人飯田ブルーベリー振興会と相野屋ファームで組織されます。NPO法人飯田ブルーベリー振興会が主催している「ブルーベリー栽培体験教室」の一環で、「ブルーベリー緑化祭」を下記の内容で実施しました。 ブルーベリーの苗を無料で配布することで、ブルーベリーの振興を図る。 組織の役割分担を下記としました。 企画、外部打ち合わせ、外部交渉・・・NPO法人飯田ブルーベリー振興会 ブルーベリー2年生苗無料配布 100本・・・相野屋ファーム ブルーベリー鉢植えの販売・・・相野屋ファーム 栽培方法、品種選択等に関する教室・・・NPO法人飯田ブルーベリー振興会



説明 開催場所は「ご湯つくり」の前



説明 配布苗を待つ長い行列



説明 無料配布の苗



説明 栽培教室も大盛況

取組の経過	<p>ブルーベリーは世界の多くの国で栽培されており、日本でも多くの地域で栽培されるようになりました。よって、南信州(三遠南信地域)の特産品果物だとは思いません。しかし、ブルーベリーは皮ごと食べる習慣のある果物であり、健康的な成分は皮近くに含まれているとも言われています。よって最も健康的な果物だと思っております。</p> <p>この様なブルーベリーですが、土壌、品種の違いによって順調に栽培出来ない場合があります。このため、栽培技術、品種選択に関する研究と講習を行い、ブルーベリー文化と産業の振興を図る目的で活動し、地域振興にも繋がるブルーベリー緑化祭を実施しました。</p> <p>NPO法人設立からブルーベリー緑化祭実行委員会設立までの経過  平成27年10月27日 NPO法人飯田ブルーベリー振興会設立  平成27年12月 ブルーベリー栽培体験教室を開始。以後月1回開催  平成28年1月、2月 剪定講習会  平成28年3月 挿し木、苗の植付方法の講習、土壌のPH測定  平成28年4月 接ぎ木の講習 5月防鳥網の設置  平成28年6～8月 収穫、食味会 9～12月反省会、情報交換会  平成29年 前年度と同様にブルーベリー栽培体験教室を月1回開催  平成29年3月 ブルーベリー緑化祭実行委員会を設立</p>
取組の効果	<p>三遠南信自動車道の開通によって、周辺地域の交通の便は良くなりますが、山本から飯田東インターまでの開通では大きな経済効果は期待薄です。しかし、山間地農業地域が結ばれるため、農業者の連携と振興に期待が持てることとなります。特に、観光との結びつき、天龍峡との連携を考えれば、各種イベントの開催によって、この地域の振興に効果が出てきます。</p> <p>「ブルーベリー緑化祭」はその第一歩ですが、ブルーベリー果実、野菜等をイベントで販売すれば、地域全体への波及効果は大きいと考えます。</p> <p>今回の緑化祭実施で、天龍峡温泉交流館「ご湯っくり」の利用者も増え、良い結果となりました。</p>
今後の取組	<p>今回は緑化祭でしたが、ブルーベリー栽培農家に果実販売の呼びかけを行い、「ブルーベリー祭り」として実施すれば、三遠南信地域の振興に広がりが出て来ると予想できます。最初は小さな祭りでも、毎年開催することで、徐々に大きくなると考えます。</p> <p>天龍峡インター近くの整備に期待して、農と食の観光施設の整備を要望していきます。</p> <p>天龍峡における他のイベントとも連携を図り、相乗効果が出るような取組も検討していきます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		237,000
うち助成金(見込み)		150,000
主な経費内訳 (上位3項目)	栽培教室用機材	84,000
	苗の栽培費	51,000
	施設使用料	50,000
	広告宣伝費	30,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	小学校での禁煙出前教育
団体名	一般社団法人日本禁煙友愛会龍峽支部
代表者氏名	林 宗吉
地区名	飯田市 龍江

取組みの目的	肺がん死亡率は長野県が全国最低である。これは禁煙運動の成果であり、WHOから日本禁煙友愛会はその活動を認められて表彰された。半世紀前と比較すると喫煙率は大幅に低下したが、このところの喫煙率は横ばい状態である。 さらなる喫煙率低下には成人に対してよりも未成年者に働きかけることが重要であると考え、地域の小学校において禁煙出前教育を実施したい。
具体的内容	龍江小学校、川路小学校、千代小学校、千栄小学校あるいは三穂小学校等4年生を対象に授業の内外で禁煙教育を実施させていただく。 (1) 授業時間の枠内で教育 (2) 禁煙ポスターの制作を介して教育。 (3) さらに、禁煙ポスター入選者の表彰。



説明 H29.4.9 支部総会



図書カードを贈る林支部長ら役員

説明 H29.6.15南信州

写真



たばこの害を語る林支部長

説明 H29.7.27南信州

取組の経過	平成29年2月 ムトス飯田助成事業助成金申請 平成29年4月 総会にて当該事業の取組み方策検討 平成29年6月 龍江小学校、千代小学校、千栄小学校、川路小学校、三穂小学校訪問 禁煙教育参加を呼びかける。 平成29年7月 龍江小学校4時限授業で禁煙教育実施 平成29年9月 龍江小学校、千栄小学校、川路小学校、三穂小学校で禁煙ポスター募集 平成29年12月 禁煙ポスター入選作表彰
取組の効果	ムトス飯田を介することによって大きな禁煙PR効果が得られた。 小学校に対する禁煙教育を機に児童に禁煙の大切さを理解して貰えた。 さらに、学校を発信源として家庭・地域に禁煙思想を波及できた。
今後の取組	龍江小学校以外にも禁煙教育を実施する。 成果をPRして他の禁煙友愛会支部にも働きかけたい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	190,000
	うち助成金(見込み)	63,000
主な経費内訳 (上位3項目)	教材等(禁煙啓蒙教育ソフト等)	40,000
	教材等(テキスト等)	20,000
	雑費	10,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「華齢なる音楽祭」
団体名	華齢なる音楽祭実行委員会
代表者氏名	福島茂喜
地区名	飯田下伊那(出演者は全国に及ぶ)

取組みの目的	高齢者社会が問題となっている現代においては若者育成に力を入れることが叫ばれている。そして、高齢者向けには福祉、介護そして生涯学習などについては取り組みがなされている。そんな中、高齢者が参加するコンサートなどもあるが、その意図としては「まだまだ頑張っていてこれくらいは出来ます」というものが多い。しかし、そうではなくまさに現役第一線で地域の顔となる音楽活動をしている方々も多い。そのような方々の為のコンサートを行いたいとの想いで始めた。そこに、若者と高齢者の協働で行う裏方スタッフ業務により世代間交流も目的とした。さらに、このようなコンサートに今まで欠けていた「高齢者に特化した安全の確保」のモデル作りも目指している。
具体的内容	年一回秋に「華麗なる音楽祭」を行うことを主たる活動として、それに向けて毎月一回程度の会議も行ってきた。参加団体として飯田下伊那地域を中心に県全域、また都市部からの演奏者を招いている。裏方業務は、県シニア大学生とOIDE長姫高等学校そして地元高校の音楽系クラブへの声掛けによって参加してくれた方々が打ち合わせを重ね協働によって運営している。また、高齢者への安全確保の手段として、移動の際の高校生スタッフによるサポート、会場内への医師と保健士の配置などを行っている。



説明 事前の会議で真剣に打ち合わせを！



説明 シニアと高校生と一緒に裏方の勉強



説明 本番で気持ちを込めて！！



説明 みんなで仲良く懇親会

取組の経過	平成25年より音楽祭を実施しているが、その概要は以下のとおりである。 会場は飯田市鼎文化センターを使用。																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>出演範囲</th> <th>出演団体数</th> <th>観客</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H25・9・22</td> <td>飯伊</td> <td>12</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>H26・9・21</td> <td>中南信</td> <td>17</td> <td>650人</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>H27・9・20</td> <td>県内外</td> <td>16</td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>H28・9・18</td> <td>県内外</td> <td>15</td> <td>700人超</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>H29・9・17</td> <td>県内外</td> <td>15</td> <td>750人超</td> </tr> </tbody> </table>	回数	開催日	出演範囲	出演団体数	観客	第1回	H25・9・22	飯伊	12	600人	第2回	H26・9・21	中南信	17	650人	第3回	H27・9・20	県内外	16	700人	第4回	H28・9・18	県内外	15	700人超	第5回	H29・9・17	県内外	15
回数	開催日	出演範囲	出演団体数	観客																										
第1回	H25・9・22	飯伊	12	600人																										
第2回	H26・9・21	中南信	17	650人																										
第3回	H27・9・20	県内外	16	700人																										
第4回	H28・9・18	県内外	15	700人超																										
第5回	H29・9・17	県内外	15	750人超																										
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の文化意識の向上が得られた</li> <li>・高齢者の文化活動への取り組み意欲の向上が見られた。</li> <li>・地域文化の向上に寄与したと思われる</li> <li>・飯田市の目指す「文化経済自立都市」「小さな世界都市」の担い手の一つとして役割を認識した。</li> <li>・コンサートDVDによる地域文化とこの事業のPR</li> <li>・一番難しいと思われる高齢者と高校生という世代間交流によるお互いの刺激から生まれる新たな文化に対してかなりの手ごたえを持つことができた。</li> <li>・地域の文化資産の再認識ができた。</li> <li>・南信地域全体とそれをさらに広げた中での音楽文化による交流。</li> <li>・高齢者にとって安心安全なコンサートとしてのモデル作りのきっかけとなった</li> </ul>																													
今後の取組	<p>この音楽祭とその目的などを広く知っていただくという活動を口コミや広報DVDなども利用し続けていく。</p> <p>高齢者と若者の繋がりを深め、より多くの方々を巻き込んで世代間交流によって生み出される文化の大切さを知ってもらう。</p> <p>高齢者ならではのハンディキャップを補う仕組みを作り、生涯を通じて楽しい時間を世代を超えて過ごすことができるように努力する。</p> <p>我々はこの事業がリニア開通時には大きく成長し、飯田市が取り組む「小さな世界都市」において、「華齢なる音楽祭世界大会」を開催という夢も描いている。</p> <p>その実現に向け小さな努力を積み重ねていこうと考えている。</p>																													

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,044,179
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷代(ポスター、チラシ、パンフレット、チケット etc)	255,400
	音響、照明代(2日間)	382,000
	会場使用料	192,400
	その他	214,379

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	旧大平街道の史蹟整備・保全事業
団体名	羽場の昔を学ぶ会
代表者氏名	田辺晴男
地区名	飯田市羽場

取組みの目的	<p>大平街道は明治32年～38年の道路改修により現在の県道ルートとなった。この時ルートから外れた部分は、自然崩壊やその後の開発工事により道路は寸断され、街道としてのつながりはなくなった。しかし一部には古道の趣を留める山道や、林道として供用されている所も残っており、これらには武田信玄が関所を設置した市ノ瀬御番所跡や、旧道筋を生活の場としていた人々の家屋跡、さらには行き交う人々に因む石造物等、山深い山中に貴重な史蹟が点在する歴史の道である。これらの史蹟は長年人の手が入らず草木に埋もれ、早晚貴重な歴史遺産が埋没し消滅することが危惧される状況になっている。中でも勝負平地籍の「徳本上人名号塔」は倒木を受けて倒壊しており、早急な対応が必要であった。</p> <p>このような状況から旧大平街道のルート解明、史蹟紹介パンフレットの作成、旧道沿い史蹟と石物の周辺環境整備等の「旧大平街道の史蹟整備・保全事業」を実施した。</p>
具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 羽場の昔を学ぶ会の開催…毎月1回定例会の開催</li> <li>2. 旧大平街道ルート解明…松川入絵図等を参照してルート探索・解明、現状調査</li> <li>3. 旧大平街道ルートおよび点在する史蹟の所在と由来等の紹介パンフレットの制作             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 旧大平街道ルート図</li> <li>(2) 旧道に点在する史蹟紹介                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①市ノ瀬番所跡、②御氷餅屋跡、③市ノ瀬の名号塔、④勝負平の徳本上人名号塔(復元)</li> <li>⑤善光寺如来碑、⑥黒川からの水道管路跡etc</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4. 旧大平街道沿いの史蹟と石造文化財の整備・保全作業の実施             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各史蹟の周辺の環境整備・保全作業 各史蹟周辺の草木の刈り払い等の環境整備・保全作業を行う。(昔を学ぶ会員および関係者)</li> <li>(2) 徳本上人名号塔復元</li> </ol> </li> </ol>



説明 倒壊した徳本上人名号塔の調査



説明 草木に埋もれる旧大平街道



説明 復元なった徳本上人名号塔



説明 羽場文化祭での展示会の様子

取組の経過	<p>1. 羽場の昔を学ぶ会の開催…定例会毎月1回(延11回)この他に佳境時に臨時会(延5回)</p> <p>2. 旧大平街道のルート解明現地探査  (1) 旧大平街道現地探査(飯田峠から勝負平)…9月4日7名参加  (2) 旧大平街道現地探査(陣が沢から旧一ノ瀬)…9月7日6名参加</p> <p>3. 「松川絵図」のデータ化および絵図地名にまつわる旧街道ものがたりの制作  飯田市立図書館所蔵の「松川絵図」に絵図地名の読み下し文字を書き入れ、地図地名にまつわる史実を旧道ものがたりとして紹介した。</p> <p>4. 旧大平街道史蹟の整備・保全…史蹟周辺の環境整備と勝負平徳本上人名号塔の復元  (1) 史蹟周辺の環境整備  一ノ瀬名号碑付近5月15日11名参加、勝負平名号塔付近7月9日11名参加  (2) 勝負平徳本上人名号塔の復元…7月9日  倒木により倒壊していた名号塔を復元工事施工、業者4名、羽場の昔を学ぶ会12名立ち合い</p> <p>5. 29年度羽場公民館文化祭にて発表・展示  11月4日、5日 羽場公民館 来場者約180名余  (1) 研究結果のパネル展示  (2) 大平街道旧道ものがたりパンフレット配布  11月4日、5日 延来場者約180名余、内110名余にパンフレットを配布して、旧道ルート、絵図に関する情報交換を行った。</p>
取組の効果	<p>1. 約180年前に描かれたと思われる松川入絵図と、描かれた地名とまつわるを史実を「大平街道旧道ものがたり」としたパンフレットを制作し、旧大平街道の史蹟とそこを生活の場とした人々の生き様をの紹介し、歴史の中に埋没していく同地区の歴史と来し方を地域の皆さんに改めて認識いただき、今後の保全活動の在り方を考える問題提起とする機会となった。</p> <p>2. 倒木により倒壊していた「徳本上人名号塔」を復元し、貴重な石造文化財の保全ができた。</p>
今後の取組	<p>1. 旧大平街道ルートについては今年度の取り組みの中で一部解明できない部分が残った。羽場文化祭の展示会で多くの情報をいただいたので、それらを踏まえ今後現地踏査等を行いルート解明をしたい。</p> <p>2. 旧道に点在する石造文化財について、今後定期的な環境整備等の保全活動を実施する。</p> <p>3. 豊かな自然と歴史探訪ができる旧大平街道歴史探訪ウォーキングコースとして設定することを、羽場公民館等に働きかけ実現を図りたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		180,862
うち助成金(見込み)		126,000
主な経費内訳 (上位3項目)	旧大平街道ものがたりパンフレット制作代	67,716
	徳本上人名号塔復元工事代	100,440
	写真資料データ化およびデータ加工代	12,706

\*活動写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	虎岩の文化財啓蒙事業
団体名	虎岩の文化財を守る会
代表者氏名	池田健一
地区名	下久堅虎岩

取組みの目的	<p>虎岩区には飯田市指定の文化財が2ヶ所あり、天然記念物の嵯峨坂ざぜん草自生地および有形文化財の旧瀧澤医院の擬洋風門構え時計塔である。この病棟は明治28年建築の全国的にも貴重な遺構で、市内松尾町に一昨年まであった滝沢医院の前身である。瑞徳院長亡きあと、旧瀧澤医院も管理者不在となり、平成27年春に地元虎岩区で「守る会」を立ち上げ、維持に努めることになった。今年は地区内外に発信・啓蒙・価値を再確認させていきたい。あわせて虎岩樹木園についても行う。</p>
具体的内容	<p>旧瀧澤医院は当地区内でさえ長く忘れられた存在になっていて、平成27年以来補修作業を続けてきており、診察室を整備し座敷の障子をひさかた和紙で張り替えて交流の拠点づくり。一昨年はやまびこマーチの30回記念コースともなった。昨年度ムトス飯田の助成金によって駐車場・案内看板・飯田市の文化財担当係で説明板を設置した。</p> <p>並行して 嵯峨坂ざぜん草自生地でも駐車場・遊歩道・観察木道を整備。上部にあった飯田天然記念物の説明板を下段入口に移設し、この3月12日にはざぜん草自生地の見学会を開催。80名余の見学者があつたが存在場所自体まだまだPR不足で、アクセスや価値など周知させるための簡単なリーフレットを作成する。また旧瀧澤医院でも床を張り替え畳を敷くなど待合室や母屋奥座敷を復元、一般見学会が企画できるまでになったので虎岩樹木園と合わせて合計3部のリーフレットを作成する。</p>



説明 虎岩の文化財を守る会新年総会



説明 旧瀧澤医院大石垣雑木伐採作業



説明 ざぜん草自生地の管理作業



説明 旧瀧澤医院の一般見学会

取組の経過	4月 生垣のサザンカ10本やドウダン15本を捕植し、待合室や薬局廊下の床張り。やまびこマーチ最終日のせっかくウオークでは50名が立ち寄った。ミズバショウを下段休耕水田に移植した嵯峨坂ざぜん草自生地では5月にワスレナグサが咲き話題になった。遊歩道沿いの自然のままの樹木や野草に名札をつけ、ミズバショウ園の看板を設置した。生い茂る雑草の駆除作業も行った。あわせて旧瀧澤医院母屋奥座敷の壁を復旧して4間30畳の大広間を整備、この古民家の活用を模索する中で、9月に地元ゆかりの小林安一絵画展と池田寿一没後25回忌記念の追悼展を併催した一般見学会を企画し、ムトス飯田の助成金でリーフレットも完成させ624名もの来館者があった。11月には虎岩樹木園リーフレットを発行し没後33回忌を記念した坂井恭子追悼展を企画し148名が来館。最後に嵯峨坂ざぜん草自生地のリーフレットを作成、早春の見学会に備えている。
取組の効果	取り組みが進む中で昨年駐車場を整備したことで、今年は一般向け見学会を開催することができた。地元民でさえ初めてと言う人が多くいて、多くの方に取り組みの様子や文化財の価値を知ってもらうことができた。新聞・ラジオ・地元テレビなどでも紹介していただき、見学会期間以外にも訪れてくれる方が続いている。東京から女性建築技術者の会一行16名や地元では松尾・竜丘・下久堅3地区交流懇談会視察48名など。平成30年第32回となる飯田市やまびこマーチでは、飯田市街地を遠望する30kmの竜東コースとして定着させる方針である。本年度ムトス飯田の助成金によるリーフレットの作成によって、訪れてくれた方はもとより、アクセスや価値など広報活動が容易になっている。
今後の取組	現在、恒久的なトイレが無いのが致命的であり、水場はあっても昔ながらの井戸であって利用し難い。このため簡易水道とトイレの建築が課題となっている。また旧瀧澤医院の病棟一階右側にある手術室とされる部屋は床が腐って利用不能となっている。これは文化財ゆえ飯田市の助成も見込まれるため、早急に床張りして器具や資料などを公開できる展示室として活用したい。また、病棟の時計台等を隠し景観を損ねていたケヤキやアラカシなどの一部は伐採したもののみまだ不十分で、裏山は荒れ放題となって清顕翁の顕彰碑も埋もれているので、大木となっているアベマキや竹林を伐採して周辺の整備を進めていく。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		164,268
うち助成金(見込み)		102,000
主な経費内訳 (上位3項目)	旧瀧澤医院リーフレット	54,756
	虎岩樹木園リーフレット	54,756
	嵯峨坂ざぜん草自生地リーフレット	54,756

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に 見込み と記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	下栗いもを使った伝統料理・オリジナル料理レシピ集の作成
団体名	下栗里の会
代表者氏名	野牧 武
地区名	飯田市上村下栗

取組みの目的	<p>一昨年10月、下栗いもについての取り組みの経過と、今後の課題について一冊にまとめた冊子を刊行した。その際信州大学の井美知男先生と料理研究家の横山タカ子先生を招いて、下栗いもの勉強会と料理講習会を開いた。その後横山先生から10品目のオリジナルレシピを頂いた。先生からは自由に活用して構わないとの許可も頂いている。</p> <p>下栗いもの認知度と付加価値の向上を図っていくために、当地区の伝統料理(いも田楽等)と横山オリジナルの両方が掲載されたレシピ集を作り活用したい。地域でレシピ集を活用した講習会や学習会を開催し普及を図る。</p>
具体的内容	<p>○レシピ集の製作 ①横山オリジナルの絞り込み ②伝統料理の絞り込み ③編集、製作、印刷</p> <p>○レシピ集の活用 ①訪れる人への配布 ②いもの納入先等への活用 ③地域内での活用 ④公共の場、イベントなどでの活用 ⑤その他</p>



説明

完成したレシピ集



説明

内容の一部



説明

8月3日開催料理講習会



説明

12月3日の講習会で

取組の経過	<p>○6月中旬ムトス助成金の交付決定を受け、レシピ集編集に着手。伝統料理、郷土料理から3品既刊のレシピ集から10品、横山オリジナルから8品を選定して、製作にかかる。</p> <p>○製本に先駆けゲラにて料理講習会を開催。農村女性ネットの集会在8月3日下栗で開かれるのに併せ行った。</p> <p>○9月27日製作が完了し、納品</p> <p>○上村自治振興センター、はんば亭、上村農産物直売所、民宿、等に配布。</p> <p>○下栗地区全戸に配布</p> <p>○この間下栗いもの出荷先業者に配布</p> <p>○11月4日開催の「下栗ふれあい祭り」来客に配布。里の会ブースに限ったため200部程度</p> <p>○来客の減った「はんば亭」を借りて、男のいも料理教室開催。</p> <p>○2018年3月初旬に、いも栽培研修会に併せ講習会開催予定。</p>
取組の効果	<p>○出荷先業者の店頭での評判が良く、いもの販売量増加につながっている。</p> <p>○これまでの様々な取り組みの効果とも相まって、来客からいもの購入についての問い合わせが増えている。</p> <p>○地域の者からもオリジナルレシピなど、驚きの声も聞かれる。</p>
今後の取組	<p>○地域外の人で下栗でいもなど栽培する者がいるが、レシピなどを通してもっと増やしたい。</p> <p>○平成21年にウィルスフリーを達成してから8年、かなり広く罹患が進んでいることが考えられる。そこでフリー株の種芋を保存増殖して、守っていく取り組みが必要だ。</p> <p>○取り組みの成果で、いもの需要が伸びる事が予想される。しかし生産は先行き不安があり、増産の対策が望まれる。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		388,500
うち助成金(見込み)		266,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷製本代	350,000
	講師謝礼	30,000
	原材料費(助成対象外)	8,500

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「りんご並木」を花々で彩る活動をしています
団体名	りんご並木に花を植える会
代表者氏名	原 勉
地区名	橋南地区

取組みの目的	りんご並木は飯田市民の心の拠り所であり、かつての大火からの復興を象徴するシンボルとして、今でも多くの人々が訪れる場所となっています。私たちはそんな地域を代表する拠点の周囲にチューリップを中心とした花々を定植させることにより、当地の景観美化に努めています。もともと橋南地区に住む方が自発的に始めた活動だったのですが、その輪が少しずつ広がり、今や飯田東中学校の皆さんの「並木活動」とも連携し、多くの有志が参加する団体となりました。今後も、私たちはりんご並木を花々で彩り、美しい「丘の上」、美しい「飯田の街並み」を維持できるよう環境作りに励んでまいります。
具体的内容	◎昨年(平成29年)12月8日にチューリップを中心とした花々を植え付けしました。 ■チューリップ球根約6,000球、パンジー約500株 花々は毎年ゴールデンウィーク前後に満開となり、「やまびこマーチ」などの大きなイベント時に、来訪者や通行人の目を楽しませています。 ◎今年も開花後はチューリップ球根を一斉作業により掘り取り、収穫した球根は次年度も使えるように下処理をして備蓄する予定です。 ◎作業に合わせて周囲に生えた雑草などの除去作業も行い、りんご並木の環境保全に努めていく所存です。



説明 開花直後の様子



説明 各ブロックごとにチューリップの色を変えています



説明 球根の掘り取り作業の様子



説明 飯田東中学校の皆様との共同作業

取組の経過	<p>[1年間の主な活動]</p> <p>◎5月下旬:開花したチューリップ球根の掘り取り作業、および雑草の除去作業、清掃等(飯田東中学校との合同作業)</p> <p>◎5月下旬:掘り取ったチューリップ球根の選別・外皮むき作業など</p> <p>◎6月～11月:来年度に向けたチューリップ球根の備蓄管理</p> <p>◎11月～12月:活動支援のキャンプ募集活動</p> <p>◎12月初旬:チューリップ、その他花々の植付け作業(飯田東中学校との合同作業)</p> <p>◎1月～冬季:植えた土壌の状態確認、大雪時における対応など</p> <p>■球根の掘り取り作業、植え付け作業は、いずれも飯田東中学校の皆様と日程を合わせ、摘花作業やりんごの収穫作業に沿った日程で行っています。</p> <p>■春の「球根掘り取り作業」、そして初冬の「球根植え作業」の2大作業は、いずれも地元在住の皆様、地元企業の皆様、その他有志を含め、総勢約40名の協力体制によって行っています。</p>
取組の効果	<p>◎りんご並木の周囲が色鮮やかなチューリップ、さらにその他の花々で彩られることにより、一層の景観向上が図られ(添付写真を参照下さい)、当地を訪れる方、地元の方々にとって憩いの場所となっています。</p> <p>◎飯田市の象徴「りんご並木」の環境が整備され、中心市街地活性化の一助となっています。</p> <p>◎飯田東中学校の「並木活動」を地元市民がサポートするという好循環が生まれ、世代や住所、所属を超えた、新たな協力体制が広がっています。</p>
今後の取組	<p>◎当会の周知活動を活発化し、地域や属性によらず、賛同者の和を広げていく。</p> <p>◎賛同して頂いた方が気軽に作業に参加できるよう、用具の整備と充実を図っていきたい。</p> <p>◎チューリップ主体の定植を軸としながらも、他の花種を今まで以上に増やし、さらなる景観美化を構築していきたいと考えています。</p> <p>◎飯田東中学校との連携を確固たるものとし、並木活動への支援体制をさらに強化していきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		210,000
うち助成金(見込み)		147,000
主な経費内訳 (上位3項目)	チューリップ球根の購入費	140,000
	パンジー購入費	56,000
	花・球根植え/掘り取り作業に係る備品・印刷物等の経費	10,000

\*活動写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

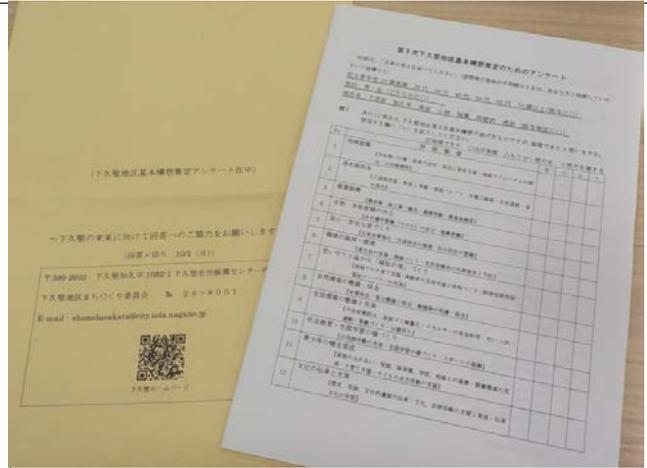
\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	地域で共に生きるまちづくり構想の策定
団体名	下久堅地区まちづくり委員会
代表者氏名	会 長 平 沢 清
地区名	下久堅

取組みの目的	<p>下久堅地区では、昭和50年代から地区の基本構想を策定し、5年ごとに見直しながら、地域づくりを行ってきている。</p> <p>今回、平成30年度からの中長期的な基本構想・将来計画を策定し、まちづくり活動を計画的に実施していく。</p> <p>市が進める「田舎へ還ろう戦略」の一環として、下久堅地区の基本戦略を「地域の将来を担う子どもの確保」とし、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通も見据え、地域づくりに重点を置いた構想を検討したい。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり委員及び関係団体等で構成する基本構想策定委員会を組織し、地区の将来構想をまとめる。</li> <li>・構想を印刷製本し、全戸配布により住民に周知する。 A4版 フルカラー 40ページ 1,200冊印刷</li> </ul>



説明 策定検討委員会の様子



説明 住民意識アンケート



説明 検討部会の様子



説明 検討部会の様子

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定委員会の発足 平成29年7月</li> <li>・5つの部会ごとに将来構想の検討、文章化作業 7月～12月</li> <li>・住民意識アンケート実施 9月</li> <li>・部会合同会議 8/18 9/8 10/4 10/19</li> <li>・全体調整、編集作業 12月～30年1月</li> <li>・校正、印刷 2月～3月</li> </ul>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想策定の過程で、住民の地域づくりへの関心や意識を高めることが期待できる。</li> <li>・策定した構想を全戸配布することで、地区の将来目標を住民が共有し、地域全体で目標に向かって取り組むことができる。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとに構想実現のための具体的事業を実施し、目的の達成をめざす。</li> </ul>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		507,103
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷製本費	442,800
	郵送料等	64,303

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	森集人プロジェクトの更なる質的向上と森林保全・利活用拡大を目指す事業
団体名	森集人プロジェクト
代表者氏名	尾曾 幹男
地区名	下久堅地区を基盤に市内中山間地域

取組みの目的	<p>平成14年「NPO法人自然エネルギーネット山法師」を設立し、資源・エネルギーを可能な限り自然エネルギーに転換し、「地産地消」による良好な環境づくりを基本に、飯田らしい地域活性化を図る活動を展開してきた。</p> <p>その活動の中で、飯田下伊那地域において今後取り組むべき重要な課題の一つとして、「森林の保全」と「有効な利活用のシステムの確立」であることを確認し活動を開始した。</p> <p>平成28年4月から、「山法師」から自立し、新たに広範な市民による活動団体を立ち上げた。</p>
具体的内容	<p>自立して2年目であり、試行錯誤の中で活動継続中である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 間伐希望の林家を募集し、間伐・搬出と木材の安価な提供</li> <li>2 間伐研修 後継者育成も意図としつつ、集中講義と実践活動を通じて間伐技術習得</li> <li>3 広報活動 森林フェア(森の市)への参画など事業周知PR活動</li> </ol>



説明 間伐作業



説明 間伐実地研修会(講師指導中)



説明 間伐装備の安全保管庫購入



説明 森の市 活動PR(パネル購入)

取組の経過	<p>1 間伐希望の林家を募集し、間伐と搬出 4件 安全第一を旨とし、省力化に資する作業改善に努めた。 ・間伐材を有効活用してくれる団体・個人へ安値で売り渡し</p> <p>2 間伐研修会など開催し、①森林保全・利活用の重要性・緊急性を学ぶ。 ②その伐採、搬出の技術向上を図る 講師 嶋村浩 氏 (1)まず、地元マスコミを通じて関心のある人たちにも呼びかけ事業説明会を開催 9月24日 (2)引き続き希望者及び現会員を対象に間伐研修会開催 10月1日 10月9日 11月5日</p> <p>3 広報活動 「南信州森の市」を10月29日に開催、実行委員として参画した。</p>
取組の効果	<p>1 間伐・搬出 ウインチ専用のロープなど購入し「安全第一・作業の省力化」に努め 作業効率が向上、今年度も無事故で終了しようという機運が高まった。 作業装備の収納庫を購入して安全な収納ができるようになった。</p> <p>2 研修会など開催 マスコミを通じて参加を呼びかけ事業説明会・研修会を実施して、3名の新入会員を迎えることができ、又ほとんどの現会員も参加し、更なる技術向上に真剣に取り組んだ。</p> <p>3 「森の市開催」実行委員として参画 「森の市」を開催したが、大雨にも関わらず500名の入場者があり、成功裏に終えることができた。事業紹介のPRパネルを作成し、交流と意見交換ができた。</p>
今後の取組	<p>1 森林の保全と有効な利活用のシステム確立という目指す山は高けれど、長野県そして飯田下伊那地域の活性化に向けて欠かすことができない事業であり、私たちは、小さな取り組みではあるが、<b>あせらず楽しんで</b>一歩一歩進めてまいりたい。</p> <p>2 「森の市」を引き続き開催し、このフェアを通じて森林に関わる団体と交流を深め横の繋がりを創っていききたい。</p> <p>3 次の世代を担う世代への「実体験学習会」の開催</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		357,796円
うち助成金(見込み)		220,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	倉庫購入	184,260円
	伐採・搬出装備購入	85,320円
	研修会講師謝礼	32,000円

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「川路の伝説・言い伝え」冊子作成
団体名	川路歴史文化セミナー
代表者氏名	塩澤 正司
地区名	川路

取組みの目的	川路歴史文化セミナーは、天竜川治水対策事業や三遠南信自動車道建設により、川路地区の重要な史跡や物件等の消滅が懸念されたため、それらの保存・記録を目的として平成9年に発足した。今回は、今まで調査してきた成果のうち「伝説・言い伝え」についてを冊子にまとめ、広く地区民に知ってもらうことで、地域への愛着増進と文化的財産への理解を進めたい。
具体的内容	今までの調査は担当別で行っていたため、まずは会員全員で調査成果を確認。読み進める中で必要に応じて加除修正を行う。 冊子完成後は、他の調査活動の成果も踏まえつつ、冊子を活用した地区民対象の学習会を開催する。 また、セミナー会員が小学校のクラブ講師を務めているので、その教材としても活用していく。



説明

作業風景



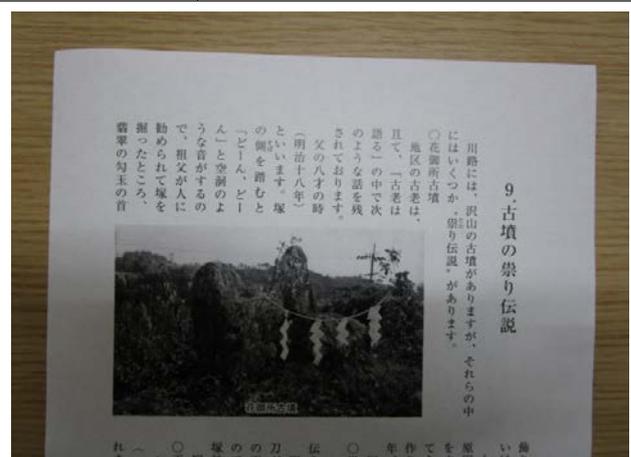
説明

作業風景



説明

作成中の冊子



説明

作成中の冊子

取組の経過	4月25日 セミナー開催(第1稿の校正作業) 5月24日 セミナー開催(第1稿の校正作業) 6月20日 セミナー開催(第1稿の校正作業) 7月25日 セミナー開催(第1稿の校正作業終了) 8月22日 セミナー開催(第2稿の校正作業) 9月19日 セミナー開催(第2稿の校正作業) 10月25日 セミナー開催(第2稿の校正作業終了) 11月21日 セミナー開催(第3稿の校正作業) 12月20日 セミナー開催(第3稿の校正作業終了) 以下実施予定 1月22日 セミナー開催(原稿最終チェック) 2月中旬 冊子完成 3月中旬 地区民を対象とした学習会の開催
取組の効果	○会員の川路地区の伝説・言い伝えに対する理解が進んだ。 ○口伝として伝わっている「言い伝え」を記録、保存することができた。 ○川路に伝わる伝説・言い伝えを1冊にまとめたことで、地域を知るための1つの教材ができた。 (冊子完成後に見込まれる効果) ○地域に伝わる伝説・言い伝えを知ること、地域への愛着が高まる。 ○地域に残る史跡に対する理解が進む。
今後の取組	○小学校の歴史クラブで完成した冊子を活用する。 ○冊子を活用した地区民対象の学習会を行う。 ○「伝説・言い伝え」に限らず、引き続き川路地区の歴史・文化を後世に伝えるための調査・記録保存を進めていく。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	300,000(見込み)
	うち助成金(見込み)	210,000(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷・製本代	300,000(見込み)

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	しなの大和2017～春香る～
団体名	しなの大和
代表者氏名	寺澤 亜由美
地区名	飯田市

取組みの目的	よさこいを通じて南信州の伝統芸能である屋台獅子を県内外に発信していく。様々な世代の人が集うコミュニティを形成し地域の祭りを通じ地域住民や様々な世代の人との新たなつながりを作り一体となって地域を盛り上げていきたい
具体的内容	屋台獅子をテーマとした南信州の特色を生かした作品作りをする。 地域の祭りに積極的に参加しチーム活動をPRし様々な人とのつながりを作り活動の場を広げると同時にメンバー募集をしてコミュニティを強化し様々な人が集える場所作りを行う。 福祉施設のイベントに参加し高齢者や障害者に笑顔と元気を届ける。 県内外の祭りに参加して南信州の良さをよさこいをツールとして伝え、他チームやその地域住民と交流する。 地域の祭りであるりんごんを中央中央通り1丁目商店街の人と共同してよさこいの祭りを開催する。



説明

メンバー募集のチラシ、ツイッターにも掲載



説明

豊丘祭りでの演舞の様子



説明



説明

浜松よさこいイベントで5位をとった際の演舞の様子

取組の経過	<p>2017.1月より作品作り開始。2017.6月犬山踊芸祭にて初披露。  2017.7月老人保健施設ゆうゆう、阿島の祇園祭、喬木村デイサービスぽけっとと老人施設や地元の祭りに参加。  2017.8月飯田市中央通り1丁目の商工会の皆さまと会議を重ねりんごんにてよさこい祭りを開催県内外よりよさこいチームを招待し計8チームが参加にて最大に行われる。また安曇野よさこい、日本ど真ん中祭りへ参加する。信州大学わっしょいの公開演舞にゲストとして参加させて頂く。  2017.9月諏訪湖よさこいへ参加。  2017.10月駒ヶ根おいでなんしょ祭りへ参加  2017.11月浜松フルーツパークインよさばかへ参加し5位を頂く。豊丘祭りにてよさこいを地元の人にアピールする目的でブースを出展。また豊丘祭りのよさこい祭りに参加。  2017.12月瑞浪で行われたバサラカーニバルに参加。  2017.10月～阿南町のよさこいグループへ講師として参加開始。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南信州の伝統芸能である屋台獅子を各地域によさこいを通じてPRすることが出来た。</li> <li>●よさこいを通じて様々な世代の人が集うコミュニティを形成することで交流の場が生まれ新たなつながりが生まれた。</li> <li>●地域の祭り、老人施設へのイベントへ参加することで地元住民、高齢者との交流を深めることでよさこいを通じて地域を元気にする効果があった。</li> <li>●県内外の祭りで知り合った他チームの若者を飯田下伊那地域に呼び、りんごん・豊丘祭りを盛り上げることが出来た。</li> <li>●県内外の祭りで知り合った若者がメンバーが実際にチームに入会し長野県全域にメンバーがいるチームに成長した。</li> </ul>
今後の取組	<p>現在のメンバーよりメンバー数を増やし、日本ど真ん中祭りで40人以上でパレード演舞をすることが出来るようになる。(現在はメンバー数が足りずパレードでは参加できていない)  小さい子からお年寄りまで参加できるコミュニティに育て上げる。また結婚しても子供が出来ても参加しやすい環境作りに努める  日本ど真ん中祭り等で実績を残し県内1のチームを目指す。  さらに地域の祭りや敬老会、福祉施設へのボランティア活動に参加を強化し地元住民や高齢者の方々との交流を深める。  保育園や小学校のイベントも参加し小さな子でも踊れるよさこい(中央通りの商店街と共同で作った総踊りである踊りんごレボリューション)を広めていく。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,228,056
うち助成金(見込み)		257,000
主な経費内訳 (上位3項目)	衣装代	588,600
	作曲代	250,000
	旗代	64,800

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	歌うボランティア
団体名	ふれあいボランティア もみじの会
代表者氏名	中島 茂
地区名	飯田市地域

取組の目的	<p>○歌うボランティアを通じて、地域の高齢者や介護施設の利用者たちに、いつまでも元気で長生きされるよう願うことを目的にしています。</p> <p>○同時に活動に参加する会員も家に綴じ込みがちより、多くの高齢者と交流することで自らも元気を取り戻すことになって、相乗効果がうまれると考えています。</p>
具体的内容	<p>○各場所（会場）にての活動時間は、長くて60分短くても45分間の間で、大正琴の奏でにあわせて3曲ぐらい童謡・抒情歌などを声ならしとして唄い、次に昔の懐かしい思い出のある歌を、用意した歌集を手にしてリハビリを兼ねてページをめくりながら歌っています。</p> <p>○以上の事を場所や人数に関係なく会員が参加者に寄り添って、一緒に一つの歌を大きな音が出る音響のカラオケにあわせて歌い、またマイクを向けて歌ってもらうと一層楽しい雰囲気になります。</p>



説明 歌集を見て会員のリードで歌を唄っている処

説明 大正琴で童謡・唱歌を奏でている



説明 花笠音頭を利用者さんの前で踊っている処

説明 会員が独唱で歌って聴いている処

取組の経過	<p>○中心的な会員の中で、以前に他の団体で少しボランティア活動をしていた者がこのもみじの会を起ち上げ、社協のボランティア団体に加盟し活動を始めることができました。</p> <p>○はじめは数人で各所の施設等の要請に応えようと、小さな音響と大正琴で活動したのですが、歌詞の字を大きくした歌集を手にして、会員と一緒に歌えるのが大変好評となりました。利用者さんや施設の職員からたちまち私たちの活動が喜ばれています。</p> <p>○29年の11月で満三年になりますが、月平均18回年にして200回を超す出演要請になり、一年先まで予約で一杯の状態です。とても嬉しい悲鳴をあげています。</p>
取組の効果	<p>活動を始めて三年になりますが、訪問させていただいたそれぞれの施設等で聞いた話ですが、地域の中で施設に入所する際にもみじの会のボランティアがあるか否かを検討材料にしているとのこと。そんなことで施設利用者さんの楽しみを増やし、このボランティア活動を通じて地域の高齢者等に、リハビリ効果をもって元気を取り戻す機会を与えているものと考えています。</p>
今後の取組	<p>今年度ムトスの助成事業金を頂きまして、大きな音響設備が確保できましたので、一層大きな働きをしてまいります。</p> <p>お陰様で30年度の事業活動もすでに予約で一杯の状況ですが、これを全会員の努力で行い、皆様からの新たな要請にどうお応えできるか検討しなければと考えていきます。</p>

○取組経費（単位:円）

事業費総額（見込み）		438,455
うち助成金（見込み）		165,000
主な経費内容 （上位3項目）	1、音響設備の充実（大正琴2台の購入）	134,000
	2、歌集の新調（100冊印刷）	62,100
	3、衣裳の購入	77,355

（-18,455円）

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の（ ）内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告諸を提出してください。

取組名称	神ノ峯城史跡整備事業
団体名	神之峰活性化委員会
代表者氏名	北沢 保美
地区名	上久堅

取組みの目的	<p>地区の代表的シンボル神ノ峯城史跡を多様な団体が連携、協力して整備を行い、地区外からのより多くの訪問者の獲得にあたりたい。</p> <p>また、すべての作業を数多くの団体に構成する本委員会で行うことにより、今後の除草、消毒作業等の事業活動において共同作業がスムーズに行えるよう取り組む。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡内植栽の剪定・下刈りを行うことにより、全体美化に努めるとともに史跡からの眺望・山麓からの史跡の視認性を確保する</li> <li>・つつじ、桜等の消毒を実施し、開花状況の向上を図る</li> <li>・崖際に転落防止柵を設置し、散策時の安全性向上を図る</li> </ul>



説明

草刈り作業



説明

現地 会議



説明

転落防止柵作業



説明

山頂からの展望

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月17日 本年度計画の確認と、今後の方針について話し合い</li> <li>・同日 公園内の下草刈り</li> <li>・11月13日 転落防止柵設置</li> </ul> <p>以下実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月中旬 植栽消毒、剪定作業</li> </ul>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城址美化、展望域確保、安全対策の実施により観光資源としての価値が向上する</li> <li>・利便性の向上した城址へ訪れることにより地元住民が地域の地理、歴史、文化等に理解が深まる</li> <li>・住民自らが地域のシンボルの整備を手掛けることにより地域を愛する心と将来的な集客に向けての自信の萌芽</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城址整備の事業を継続し、より一層の機能向上をめざす</li> <li>・城址を利用した行事、歴史イベントの企画</li> <li>・地区内外へのPR活動の実施</li> <li>・来訪者の要請に応じた案内ガイドの養成</li> </ul> <p>等、地域全体を巻き込んで地元のシンボルである「神ノ峯」の振興を図り、他イベントと組み合わせることにより、地域振興の一端を担うことを目標とする</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		436,100円 (見込み)
うち助成金(見込み)		300,000円 (見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	転落防止柵	432,000円
	消毒剤	4,100円

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	野底山秋の煌き事業
団体名	下黒田東有志の会「繋」
代表者氏名	野牧 詔男
地区名	飯田市上郷黒田(下黒田東)

取組みの目的	上郷には自然溢れる“野底山森林公園”がある。どの季節も自然を楽しめて素敵だが、秋の紅葉も大変良く、もみじライトアップ&イルミネーション事業を通して、身近な資源や魅力の発掘・発信をし、足を運んで貰える場所にしたいとの思いから開催している。今回でもみじライトアップは6回目、イルミネーションは4回目。この事業を通して、人や地域との繋がりも大切にしていきたいと考えている。
具体的内容	①もみじライトアップ 徐々に点灯範囲を広げ、今回は公園内に30個の照明を設置。 ②イルミネーション 昨年新設したLED太陽光発電の電飾数を800個に増やした。地元保育園の園児の皆さんの似顔絵もアーチ型トンネルに飾った。開催後、別の園より次年度に参加希望あり。③竹宵・シルエット 自作の竹宵に加えて麻績振興会からも竹宵を分けってもらい和の雰囲気作りをした。また、影を映して楽しむシルエット板(2m×2m)を設置したところ、親子連れやカップルに特に人気であった。 ④きらめきコンサート 定着しているコンサートには地元で活動する6団体が出演。出店もあり約400名の来場者が秋の夜長を楽しんだ。



説明

もみじライトアップ



説明

地元保育園児の皆さんも参加してくれました



説明

LED太陽光発電の電飾



説明

飯田女子高等学校邦楽クラブ(コンサートにて)

取組の経過	<p>平成24年度より有志にてもみじライトアップを開始し、平成27年度からは会を設立し活動している。当初は2本のもみじを5個の投光器でライトアップしていたが、毎年もみじの本数や範囲を増やしてきた。試しにと始めたイルミネーションも4回目となり、昨年からは環境に配慮したLED太陽光発電の電飾も使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏前より協賛の募集を行い、企業では80社、個人では約100名の方のご協力をいただいた。</li> <li>・事業実施前には公園内の落ち葉掃きや整備作業を行った。</li> <li>・会場までの案内看板を設置。枚数を増やし、矢印も目立つように工夫した。</li> <li>・もみじ20本、投光器30個でライトアップした</li> <li>・LED太陽光発電電飾の数を、昨年500個から今年は800個に増やした。</li> <li>・期間中にはコンサートを開催。今年のタイトルは「きらめき」。出演団体には会場の方も一緒に楽しめる内容で、とお願いした。寒い中、出演者も来場者も心温まる一時を過ごせたと思う。</li> <li>・一昨年より地元保育園の園児の皆さんの似顔絵などをイルミネーションで飾っている。</li> </ul> <p>※10月29日(日)に開催予定だった点灯式は台風接近の為中止となった。</p>
取組の効果	<p>地元企業、住民の方より「今年もやるんだね、頑張ってる」と声を掛けて貰える様になり、事業の定着が見られる。来場者数は各種報道にも取り上げていただいた事(県内版新聞1面掲載)もあり、期間中は過去最高の2,200名が訪れており、県内は中北信の方、県外からも多く訪れていただいた。また、県内外のプロのカメラマンも増え、全体的にリピーターも増加している。特に若年層のネット発信拡大により来場者が増えた事も大きい。</p> <p>今年は、事業を見た人から、他の場所のイルミネーションの飾付けを頼まれて協力することになった。(本町1丁目トップヒルズのイルミネーション)</p>
今後の取組	<p>昨年までの反省を基に作製・設置したが、今年もまだまだ分かりにくく案内看板の設置に苦慮したので今後の課題である。来場者の声も上がってくる様になり、より良い事業となるようにアイデアを出し合いながら取り組んでいきたい。</p> <p>引続き地元の催事に積極的に参加し、会自体の周知をしていく。</p> <p>イルミネーションで園児の似顔絵を飾っているのを見た他の保育園2園から、来年は参加したいとの話があり、大変ありがたく嬉しく思っている。</p> <p>ライトアップ・イルミネーション事業をきっかけに様々な地域、人、団体との関わりを大切に活動していきたい。会員も個々に他地域の事業を見学したりしているので、会全体が更に特色あるものにしていけたらと思っている。</p> <p>楽しく無理なく継続していきたい。会員も常に募集している。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	700,000
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品費(LED電飾購他)	500,000
	広告費(ポスター、チラシ作製)	77,000
	賃借料(音響レンタル、会場使用料他)	40,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	防犯カメラ設置事業
団体名	主税町自治会
代表者氏名	会長 丸山喜章
地区名	橋南

取組みの目的	<p>飯田市の中心地である橋南地区は、同時に犯罪等の発生率も高く、橋南まちづくり委員会でも対策されてきました。そのような中、平成25年夏以降放火事案が連続して発生し、銀座通り以西には個人・商栄会等によるものも含めて、防犯カメラの整備がすすんできました。</p> <p>しかし、当町内においては防犯カメラの設置は進んでおらず、治安を不安視する声も少なくありませんでした。</p> <p>防犯カメラは面的整備をすることで効果が増すため、当町内においても整備を進めていくものです。</p>
--------	---

具体的内容	<p>警察によると、防犯カメラの設置により犯罪等の発生率は下がるとのことで、橋南地区では団体や個人により設置が進められてきています。</p> <p>今回、防犯カメラを設置するにあたっては、プライバシーの問題や、事件・事故発生時に警察とのやり取りがスムーズに行えるように、設置基準を定めていきます。</p>
-------	--



説明

防犯カメラ①



説明

防犯カメラ②



説明

監視モニター



説明

防犯カメラ設置場所

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年10月 設置工事依頼</li> <li>・平成29年11月 竣工</li> <li>・平成29年11月 自治会役員を通じて、防犯カメラを設置した旨周知</li> </ul>
取組の効果	<p>重大な犯罪に限らず、小さなトラブルなども防止できることによって、安心して生活でき、また周辺から訪れていただけるようになる。</p> <p>既設置地域と併せて、面的整備されることによって、地域の死角をなくす効果が生まれる。</p>
今後の取組	<p>プライバシー保護も考慮し、防犯カメラがあることで安心感が生まれるという意識を住民にお知らせしていきます。</p> <p>防犯カメラを設置するだけでなく、マンパワーによるパトロールも併せて実施していきます。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	247,428
	うち助成金(見込み)	100,000
主な経費内訳 (上位3項目)	防犯カメラ設置費	247,428

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	羽場地区クリーンアップアクション
団体名	羽場セントラルパーク愛護会
代表者氏名	会長 原 修司
地区名	羽場地区

取組みの目的	羽場セントラルパークの周辺住民や羽場地区住民が、市建設部(公園緑地係)と連携し、公園周辺の美化や公園利用環境の向上に努める。羽場地区まちづくり基本構想基本計画「羽場の未来構想」の重点施策「清潔ではなあふれる羽場」に沿い、飯田市環境美化を推進する市民条例の「環境美化重点区域」の指定に向け、公園内、付近でのポイ捨てを撲滅する手段を講じるなど、公園を安全安心に利用することを目指す。地区の防犯を心がけカメラの設置他、パトロールをおこなう。
具体的内容	羽場地区全自治会を対象に月に1回(当番制)公園内の清掃を実施する。とくに、公園内を流れる川は、円悟沢川の濁流で汚れがひどく、入念な清掃、ゲートの操作による改善などを試みている。また年に1度公園近くの自治会住民(子供も含め)を中心に道路に捨てられたゴミ拾いなどおこなっている。また、公園付近の不審者、迷惑行為をおこなうもの(夜間、複数で集まり大声を出し騒ぐ、公園周辺の不法駐車など)への対策として防犯カメラを設置し、効果もあがっている。



説明 公園内にチューリップの球根移植

説明 公園内の草取り



説明 公園内の小川の清掃

説明 公園内ゴミ拾い・草取り

取組の経過	地区外の利用者が多く、まだまだごみのポイ捨ても減らない状況ではあるが、来年度も引き続き月1度の清掃を実施していく。公園内の川、池に関しても完全にきれいになっているとは言えず抜本的な改善が必要かも。
取組の効果	防犯カメラ設置については上記の通り効果は上がっているように思われる。クリーンアップアクションに関しては子供も含めての大勢の参加があるので、少しずつではあるが街をきれいにという、環境美化への関心は高まっていると感じる。
今後の取組	①ポイ捨てや不法投棄を許さない意識啓発。②公園における防犯対策をさらにたかめる。③公園内を流れる川を少しでもきれいにする。④公園周辺の路上駐車をチェックする⑤羽場地区を「環境美化重点区域」にすべくクリーンアップアクションを広げる。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		335,409
うち助成金(見込み)		191,000
主な経費内訳 (上位3項目)	防犯カメラ一式	190,080
	分水用セギ	78,000
	センサーライト一式	57,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	龍江4区の元気を創造する活動
団体名	龍江4区地域づくり委員会
代表者氏名	区長 熊谷 秀男
地区名	龍江4区

取組みの目的	龍江4区で11回目を迎えるほたる祭りは、地域一体となった祭りとして定着してきており、地域住民にさらに認知され、4区全体の3世代の住民が集えるお祭りとなってきている中で、内容を充実するためにピザ窯でのピザ制作に挑戦する。 併せて、4区の元気を創造するために、地域の良さを見直す3回目となる学習会を開催し、3年間の活動の総括を行い、新しい出発の起点としたい。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽トラで移動可能なピザ窯を制作する             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピザ作り教室を開催し、地域行事等で住民自ら提供できる体制を作る</li> <li>・ほたる祭りを区の地域づくり委員会が主体となる実行委員会主催としていく</li> </ul> </li> <li>参加予定団体としては、公民館・壮年の会・消防団。七和紅葉会・高齢者クラブ・NPO法人等を想定している</li> <li>ピザ窯による作り立てのピザを提供する</li> <li>・農村文化協会から講師を派遣していただき、全国の地域おこしの事例を学び今後の地域づくりに生かすヒントを探る事を目的に学習会を開催する</li> </ul>



説明 龍江4区の自慢マップ



説明 地域の小・中学校に贈呈



説明 設置したピザ焼き窯



説明 きのご祭りで試作しました

取組の経過	<p>10 ピザ窯の制作(石の晃和)  10月14日 第10回きのご祭り ピザの制作・試食会の試行  12月23日 ピザ焼き教室開催の打ち合わせ(松島一彦宅)</p> <p>以下実施予定  1月21日 第1回ピザ焼き教室開催  2月 日 第2・3回 ピザ焼き教室の開催</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りを通じて、地域住民の一体感を醸成するとともに、地域の新たな魅力を実感していただき、地域への愛着心を定着させる</li> <li>・移動可能なピザ窯を制作することで、その他の地域行事でもピザ制作が可能となり、課題である青壮年層の行事参加を促進する</li> <li>・外部から有識者を招へいし、全国の地域づくりの事例を紹介いただき、住民の地域の魅力再発見の動機づけをする</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピザ焼き教室を地域住民対象に実施し、ほたる祭りやキノコ祭りの地域イベント時のピザ焼き・販売を実施する</li> <li>○七和の会の毎週の産直販売に合わせた販売が可能かどうかの検討を進める</li> <li>○地域づくり講演会を実施し、自慢マップの反応を検証するとともに、これからの地域おこしをどう進めるかの議論を巻き起こす。</li> </ul>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		362,000
うち助成金(見込み)		250,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ピザ窯制作	162,000
	ピザ焼き教室	100,000
	地域づくり講演会(講師謝礼)	50,000
	ピザ焼き教室・講演会 チラシ作成費	50,000

\*活動写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に 見込み と記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	龍江情報の多様な発信策の構築
団体名	龍江地域づくり委員会
代表者氏名	会長 一ノ瀬 孝司
地区名	龍江

取組みの目的	龍江ホームページがあり、写真の投稿ページもあるが、活用が少なく閲覧者も限られたものになっている。ホームページをリニューアルすると共に、投稿者を増やすために写真教室とウェブに関する教室を住民対象に行い、投稿を促すと共に投稿写真コンクールを実施し龍江のカレンダー作成(2年後)を目指す。
--------	---

具体的内容	<p>リニューアルホームページ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブ制作・管理の年間委託契約</li> <li>・写真・ウェブ教室の開催</li> <li>・写真コンクールの開催</li> </ul>
-------	---



説明	龍江地域づくり委員会 ホームページ リニューアル後
----	---------------------------



説明	「ブログ」ページ *現時点では、主にイベント等の様子を文章や写真で発信するページ
----	--

取組の経過	1、ホームページリニューアル委員会設置 2、ホームページリニューアル委員会において方向性の協議 3、新ホームページ制作を外部委託することを決定 4、コアカレッジに委託し、新ホームページ制作に着手 5、新ホームページの特徴 ・・ア、写真や動画など、ビジュアルを重視した見やすいものにする ・・イ、SNSに対応しスマホからのアクセスを重視する ・・ウ、ブログのページを充実させ地域情報の発信力を強化した ・・エ、地区内の空き家情報をアップした ・・オ、地区内住民の情報格差解消のための重要なツールと位置づけ、皆が気軽にアクセスできるよう工夫した
取組の効果	1 ホームページのリニューアルにより、地域情報の発信力が向上した 2 ホームページに関心が高まり、ブログやインスタグラムへの投稿も増えてきた。 3 花や催事の情報により、県内外からの来訪者が確実に増加している。 4 今後スマホ保有者を中心に、さらに閲覧者を増やしていくと共に投稿を奨励する
今後の取組	

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	440,000
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ホームページのリニューアル・管理経費	240,000
	写真教室	100,000
	写真コンクール	100,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	映画「うまれる」「ずっといっしょ」上映会・子供の発表会・フリマ
団体名	つながる虹の会
代表者氏名	小出 真理子
地区名	伊賀良

取組みの目的

上映会の協力依頼することで地域や人のつながりを再発見し、子育て中のママや家族に優しい気持ちになってもらえる場を提供したい。また「うまれる」シリーズの映画を見ることで、家族ってなんだろう、いきるってなんだろう？と考えていただき、今の大切さを改めて思い返してもらおう。子育て中はとにかく小さなことにイライラしがちなので、大らかな気持ちになる時間を提供したい。

具体的内容

飯田人形劇場にて8月11日「うまれる」12日「ずっといっしょ」のシリーズで上映会を行う。映画を上映し、間の前座に子供の発表会やクリスタルボウルの演奏会、パン屋さんの出張販売を行う。地域のつながりを深めて子育て中の家族にリラックスしてもらおう場を提供する。映画館には小さな子供を連れていくことができないので、子供連れで映画を見れる場を提供した。上映が終わるので、12時には昼食の心配がないようにパン屋さんの出張販売を依頼したり、じっくり見たい方のために託児を設けた。またフリマを行い、(子供用品)でロビーで販売した。



説明 上映会の観客の様子



説明 8月11日パン屋さんの出張販売



説明 8月12日フラダンスの発表会



説明 8月12日観客席の様子

取組の経過	<p>6月下旬 会場の予約をする          6月下旬 上映会の実行員会を募り、配給会社に上映日を伝える。          6月中旬 印刷物のデザイン担当者と打ち合わせ          7月 印刷デザインが決定し 印刷会社に依頼          6月 教育委員会の後援をもらい、各自治体にチラシ配布の依頼をし、保育園・小学校で配布していた          8月          いいだFM 週刊いいだ 月刊いいだ 中日ホームニュース Yuika! などに掲載          各自治体の教育委員会の後援によりオフトークなども活用          病院・カフェ・鍼灸院・助産師さん・飲食店・図書館・大型図書館 個人などに協力依頼し、チケット販売する          8月11日12日 午前・午後 各日2回上映で映画上映会を行う          小さな赤ちゃんから大人まで含めると300名近くの方が来所いただきました。今回は子供の発表会やクリスタルボウル演奏会、いずみの家、粉工房ichi/pan:bu、の出張販売やフリマも行い、多くの方に来場いただきました。</p>
取組の効果	<p>・地域でたくさんの方に協力いただくことが出来ました。チラシ配布やチケット委託など。頼んで断られるかな？とドキドキしながら依頼しましたが快く引き受けていただくことが出来て、地域のつながりの温かさを感じたり新しい友人が出来たりするなど、地域の絆を感じ、飯田っていいところだな、いい人がいっぱいいるんだな、と阿多田高く思いました。映画を見に来てくださった方、パンの出張販売にきていただき、そちらも大盛況でした。また社協のボランティアさんが駆けつけてくださったり、託児を依頼してみたりして、いろいろなサービスが地域にはあることをしりました。今後何かを行いたい時にはとても役立つ経験になりました。映画上映に来ていただいた方には、多くの感想をいただきました。「家族のことを深く考えようと思った」「母が亡くなって間もない時に来ましたが、勇気づけられました」「家族の大切さを改めて感じました。今ここ、今日を生きることの大切さを教えていただきました」また主催者が小さな子供連れであったことを見ていただいたお客様にワーキングマザーでもやりたいことをあきらめないでできる勇気もらったとの感想を頂戴しました。</p>
今後の取組	<p>・子育てをする方に向けたイベントを企画して少しでも気が楽になれたり、孤独な子育てから解放されるような場を提供したいと検討しています。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		632,061
うち助成金(見込み)		171,000
主な経費内訳 (上位3項目)	チラシ・ポスター・チケットなど印刷代金	77,220
	飯田人形劇場使用料(冷房費・ライト・音響含む)	75,502
	ブルーレイディスクレンタル料金等	69,390

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	殺処分ゼロ目指し隊
団体名	保護猫ふれあいハウス かぞれぽ
代表者氏名	高沢 幸代
地区名	松尾新井

取組みの目的	飯田下伊那の殺処分を一匹でも減らす為
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護した猫達の去勢避妊をする</li> <li>・地域の野良猫達の数等を調査し、TNR活動(去勢避妊を行って元の場所へ戻す)をする。</li> <li>・ゴミ捨て場の場所を決め、野良猫のTNR後の生活をきちんと出来る様にする。</li> </ul>

写真	写真
----	----

説明	説明
写真	写真

説明	説明
----	----

取組の経過	<p>現在までにオス12匹、メス10匹の保護猫の去勢避妊を行いました。 時期が来た子から今後順に手術を行っていきます。</p>
取組の効果	<p>猫達の甘れがなくなり、隠れかに生活出来る様になりました。 子猫が生まれてくる事も減り、無駄に殺処分される猫が 少なくなります。</p>
今後の取組	<p>地域にはまだ沢山の野良猫がいます。この猫達にも、 隠れかに生活出来る環境作りを行っていきたいと思っております。 TNRの実施は地域・行政と連携して行う事が大事なので、 地域・行政との密な連携が出来ると、働きかけて行きたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	428,000 (見込)
	うち助成金(見込み)	240,600 (見込)
主な経費内訳 (上位3項目)	猫(保護猫)の去勢・避妊手術	428,000 (見込)

- \*活動状況がわかる写真を入れてください。
- \*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。  
その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。
- \*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	サイクリストの集う遠山郷へ向けた広告塔事業
団体名	遠山郷観光協会
代表者氏名	近藤力夫
地区名	飯田市上村、南信濃（遠山郷）

取組みの目的	サイクリストの福島晋一氏率いるサイクルロードチーム「ボンシャンス」は、遠山郷上村を拠点として日常トレーニングをしながら、フランス・台湾など世界各地のレースに出場することで将来日本の自転車界を支える若手の育成に努めている。遠山郷は標高400m～1900m高低差がある地域であり、中級以上のサイクリストにとって魅力あるコースを有している。 近年増加傾向にあるサイクリストに対して、「ボンシャンス」を広告塔として“サイクリストの集う遠山郷”の魅力を伝えていくことを目的とした。
具体的内容	サイクルロードチームは定期的にチームジャージを改訂し、練習・レースに挑んでいる。今回「ボンシャンス」のチームジャージ(半袖)の作製にあたってスポンサーの一員となり、両肩に「遠山郷」のロゴ、ゆるキャラ「とおやま丸」のイラストを入れて230枚ほど作成した。選手13人は常にこのジャージで練習及び世界各地のレースに臨んだ。ボンシャンスグループのメンバーも着用して遠山郷をアピールした。また、特製の幟旗20本を作成しレースの際に掲げたり、本拠地である遠山郷上村に掲示しPRを行った。



説明 新ジャージを着た選手たち



説明 地元になびくのぼり旗



説明 フランスでのレースとその新聞



説明 新ジャージに遠山郷

取組の経過	<p>5月 サイクルジャージのデザインを決定。          6月 イタリアの専門業者へサイクルジャージの注文。          7月 新ジャージでの活動開始。          以降、通常練習・合宿でのユニフォーム着用をおこなっていった。          精力的に遠征、合宿、イベント参加を行い、フランスのオマール遠征、ニューカレドニア遠征に加え、国内では茨城、北海道、前橋 等のレースにサイクルジャージで参加した。          参加選手は概ね入賞するなど好成績を収めた。そのなかでは、フランスの地元新聞にて掲載されるなど注目を浴びた。          更に遠山郷内で、飯田商工会議所遠山郷支部と連携したサイクルイベントを3回開催する中で、ボンシヤンスからの参加選手は、新ジャージを着用した。</p>
取組の効果	<p>フランスでの自転車レース、国内での自転車競技・イベント、トークショーなどで 新ジャージを着用し、好成績を収めることによって ”サイクリストの集う遠山郷” としての知名度アップにつながった。          更に、遠山郷内での 練習 、サイクルイベント等で 選手や関係者が新ジャージを着用することで、地元受け入れの機運醸成に繋がった。</p>
今後の取組	<p>「サイクリストの集う遠山郷」事業は、飯田商工会議所遠山郷支部をはじめとした各組織とも連携をして、地域を挙げて取り組んでいる。商工会との連携事業としては、ボンシヤンス選手と共に遠山郷内をサイクリングするイベントを3回行った。          加えて、遠山郷内 各拠点・観光施設へのサイクルスタンドの設置を行う予定である。          次年度も引き続き、遠山郷中郷に拠点をもち自転車チーム ボンシヤンス と連携を行いながら、「サイクリストの集う遠山郷」を目指し取り組んでいく。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	486,000
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	宣伝広告事業費	486,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	千代野外音楽祭
団体名	千代野外音楽祭実行委員会
代表者氏名	森山 賢治
地区名	飯田市千代

取組みの目的	「千代野外音楽祭」として開催し、千代地区に関係する様々の音楽ジャンルのプロやセミプロの演奏を聴く機会とし、千代地区の地区民が音楽に楽しむ機会とすると同時に飯田下伊那地区の人達にも千代地区に来て頂き、地区を知ってもらい、交流する機会とする。又「学輪飯田」や「ワーキングホリデイ」などで千代地区を訪れる全国各地の人達にも呼びかけ参加してもらうことにより、「自然と人情と文化の豊かな千代」を、音楽を通して理解して頂く機会とする。
具体的内容	飯田市千代地区にある「野外ステージ」を会場に、飯田ウエーブ「ザ・ファイナル」の入賞者や千代地区にゆかりのあるミュージシャンに、様々なジャンルのミュージックシーンを演出して頂き、千代地区を訪れたことのない飯田下伊那の皆様や、「学輪飯田」や「ワーキングホリデイ」で千代地区に関わりのある皆様に、更には多くの千代地区民に、この音楽祭を通じて千代地区の良さを感じ、又再確認して頂く、又飯田ウエーブに参加の皆様には出演、動員等のご協力をお願いし、援助して頂く。又多くの人達を動員する為に、楽しみの一環として、音楽＋仕掛け花火、打上げ花火、屋台の設営も行う。



説明 保母の太鼓



説明 錦野旦&千代保育園児&関口郷子



説明 千代山村広場音楽観賞風景



説明 仕掛け花火

取組の経過	3月10日 第3回千代野外音楽祭実行委員会設立
	3月21日 第1回実行委員会 会員自己紹介、予算検討、内容検討、ロゴマーク作成 6月22日 第2回実行委員会 特別ゲスト錦野旦他出演者選定 プログラム試作 7月17日 第3回実行委員会 チラシ、ポスター作成、屋台(出店者 メニュー)等 8月24日 第4回実行委員会 全体会、最終打ち合わせ
取組の効果	8月27日 第3回千代野外音楽祭実施 第1部 カラオケ、バンド演奏 第2部 アマチア、プロ(錦野旦)による演奏 第3部 音楽+仕掛け花火、打上げ花火 会場には地区内、外約1,000名以上の観客、屋台の品も予定より早く完売、会場、ステージ一体となり盛大な音楽祭が出来ました。
今後の取組	この企画をきっかけに若い人と中高年の皆様との交流、地区民どうしの新たなつながりができました。又地元の「地域振興委員会」「くるみの会」「商工会千代支部」等に出店を協力して頂き、地区民にアピールできました。チラシ、ポスター等活用した結果地区外からの来客も多く千代を知って頂く機会となり、来年に向けての足掛かりとなりました。特に新聞、テレビ、ラジオ等メディアを利用した事が集客につながった。
	○実行委員会の早期立ち上げ、(各区から選任し年齢層を幅広くする又女性委員を多く選任する) ○出演者の選任、(地元のアーティスト中心に様々なジャンルのアマチア、プロを選ぶ) ○集客、(実行委員を中心に各種団体との連携を強化し集客に努力する)

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		791,900
うち助成金		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	花火代	277,900
	音響、発電機リース、チラシ、ポスター	247,000
	出演者謝礼	220,000
	その他	47,000

\*活動写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	市道沿線(グリーンハル平代～県道1号線迄)の四季桜と紅葉の植栽による環境整備
団体名	毛呂窪 フラワークラブ
代表者氏名	林 邦久
地区名	平代

取組みの目的  
 毛呂窪 6番通市道と全体環境を守る  
 又市道沿線(グリーンハル平代～県道1号線迄)の四季桜と紅葉の植栽による環境整備と  
 30.50年後にも住居地として人の住める地区にしたい。

具体的内容  
 市道沿線に四季桜長 紅葉の苗木 100本以上の植栽と管理(約 600㎡)  
 4月に桜の南花、10～11月桜の南花と紅葉を同時期に見せたい。



説明



説明



説明



説明

取組の経過	<p>合とては、10年直県道1号(北保奇園〜米峰超望王手センター)沿 茶場花の植栽に依り環境整備と、市道210号の花壇に依り環境整備 とに於いては、地区全体の環境整備が「必要」と思ふ。</p> <p>2、3年前に植えた四季桜の一部は2年前秋に花が咲き、紅葉と同様に 見事な結果を上げた。1年毎にまた花を見事な結果を上げると思ふ。</p>
取組の効果	<p>四季桜と紅葉と同様に見事な結果を上げた地区は、市民の「ほ.平代」が最初です。 通行人が「珍しい」双葉と云う。</p>
今後の取組	<p>地区全体には、有る市花の三葉躑躅や、石楠花を大事に育て環境整備 とに於いては、と思ふ。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	130,000
	うち助成金(見込み)	40,000
主な経費内訳 (上位3項目)	苗木植栽費用	20,000
	株、紅葉苗木代	100,000
	肥料	10,000

- \*活動状況がわかる写真を入れてください。
- \*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。  
その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。
- \*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	遊休農地の削減と食育活動による地域の活性化
団体名	夢かなえ隊
代表者氏名	木下周次
地区名	飯田市鼎

取組みの目的

鼎市区を中心に商工業者、農業者の若手が連携して地域を活性化する活動を行う。主に、農業の課題の遊休農地対策を行い、地元の保育園、小学校、高校と連携して食育活動、食農教育の実践を行う。  
 ●飯田市鼎の田園風景保存のより地域の活性化し、合わせて遊休農地解消の為に、休耕田などを借り水田事業を行う。その際、地域の子供たちと水田作りを行い、食農教育に繋げる。

具体的内容

農業委員会通して遊休農地をお借りして、稲作によるお米作りと、野菜作りを保育園、小学校、OIDE長姫高校と連携して行う。また、生産したお米を使って、鼎のふれあい文化祭にて餅つきやお米の販売。小学校、保育園で餅つきを実施  
 ●遊休農地を毎年チェックして、拡大してゆく(補修作業が必要となる)  
 ●遊休農地での水田づくりを地域の子供たちと行い、食育・食農教育に繋げる。(保育園児や小学生にわかるように、教材を用意して食農教育の場とする)  
 ●遊休農地でのお米を利用して、保育園、小学校及び地区の文化祭で餅つきを行いふるまう。(地域の皆さんへ還元を行う)また、地域の保育園、施設(長姫チルドキャンプなどへお米を寄贈する。



説明 田んぼの畦波入れ

説明 小学生と田植え



説明 園児戸の稲刈り

説明 長野県食を育む県民大会表彰

取組の経過	4月18日 もミマキ 5月15日 田んぼの整備(名古屋)、5月20日 田植え(名古屋)、5月25、26日切石矢高下水田代掻き、5月29日 切石田圃田植え、5月30日 県あかり保育園・県小学校共同で田植え(矢高下水田)、7月25日ジャガイモ収穫(県あかり保育園)、8月10日水田草刈り、9月9日水田ひえとり、9月21日 名古屋水田稲刈り、9月21日 県あかり保育園冬野菜畑作りと白菜キャベツ定植、9月22日もみすり脱穀、9月25日切石水田稲刈り、9月26日 県あかり保育園園児・県小学校児童と共同で矢高下水田稲刈り、9月28日もみすり脱穀、10月11日 県あかり保育園さつまいも収穫、10月14日みなみ信州農協支所収穫祭参加、10月16日長野県食を育む県民大会表彰、11月5日 県ふれあい文化祭参加(餅つき、展示) 11月22日 県あかり保育園収穫祭参加、12月12日 県表彰の報告会、
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県地区の遊休農地を減らすことができた。</li> <li>● 地域の子供たちとの連携することにより、子供たちが安心して住みやすい環境を創造することが進んだ。</li> <li>● 食農教育を行うことにより、携わった方々が地域の産業に目を向けてもらえ、食について体験を通して学ぶ場を提供できた。また、新聞などの報道や長野県からの表彰で活動を多くの方に知っていただいた。</li> <li>● 地区の文化祭、収穫祭での餅つきなどを通して地区を元気にすることができる。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区内の遊休農地の受け皿となる。</li> <li>● 地区の子供たちに農業や食について更に理解が進む。</li> <li>● 多くの大人と多くの子供が連携することにより、安心安全な地区を作る一翼を担うことができる。</li> <li>● 地区の文化祭を餅つきやお米、餅の物販により集客効果を上げて盛り上げることができる。</li> </ul>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		650,000
うち助成金(見込み)		150,000
主な経費内訳 (上位3項目)	種子代肥料代	130,000
	機械リース代	450,000
	農具、補修材料費	50,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	おいでなんしょをつくろうよ
団体名	おいでなんしょ立ち上げ準備会
代表者氏名	仲村光子
地区名	飯田市松尾

取組みの目的	お年寄り・障害のある方、子どもたちなどが参加できるイベントや農作業を行い、交流・相互理解がすすむようにする。一緒に過ごす機会が増えることで相互理解が進むと考え、また、それぞれのニーズを把握するようにする。今年度は、今後の活動の参考になる障害者権利条約講演会を行う。 さらに、NPO設立の準備も行う。
具体的内容	○昨年に引き続きイベントを楽しく行えるようにする。 ○障害のある人・小さい子どももできるように作業方法を工夫する。 ○講演会には当事者はもちろん多くの方が参加できるように、実行委員会を立ち上げて内容や方法などを検討して取り組む。



説明 5月14日 竹巻パン集会



説明 6月3日 田植え



説明 12月10日 障害者権利条約講演会



説明 12月16日 もちつき集会

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月14日 竹巻パン(約35名)</li> <li>・ 6月 3日 田植え(お年寄り・障害のある人・子どもたちの計34人と1匹)</li> <li>・ 6月17日 田植え終了焼き肉会(8名)</li> <li>・ 6月24日 さつまいも苗植え&amp;ポップコーン種まき(気候などの影響で、残念ながら収穫できず)</li> <li>・ 7月29日 じゃがいもの収穫(12名)</li> <li>・ 10月 9日 稲刈り(15名)</li> <li>・ 10月末 予定していた焼きいも集会は、雨のため実施できず。脱穀・粃摺りを行う。</li> <li>・ 12月10日 障害者権利条約講演会(於 松尾公民館 約100名)</li> <li>・ 12月16日 もちつき集会(32名)</li> <li>*相談会 約6回</li> <li>*草取り・袋詰めなどの作業</li> </ul>
取組の効果	<p>○今年度イベントのチラシを松尾全組合に回覧板で回すようにした。その結果、参加者の広がりがあり、その後の活動に引き続き参加してくれる方、また、園児や障害のある方も増え、それぞれ楽しく実施できた。今後につながっていくと思われる。</p> <p>○おいでなんしょの活動が基本となって、今年度障害者権利条約講演会を企画した。誰もがこの地域で幸せに生きられる社会を！につながる内容であり、様々な層の方約100名の参加者、また、参加者の約半数から集まったアンケートには切実なことや思いなどがつづられており、これについても今後の活動などに活かしていきたい。</p> <p>○今年度田んぼの近くの川に、蛍やめだかがみられた。無農薬、化学肥料使用せずの結果と思われる。この環境も大事にしていきたい。</p>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○松尾文化祭に今年度の活動のまとめを展示する。</li> <li>○障害者権利条約講演会の内容や成果の活かし方・啓もうの方法を検討する。</li> <li>○NPO法人について検討する。</li> <li>○来年度の計画について準備を進める。</li> </ul>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		112,277
うち助成金(見込み)		94,000
主な経費内訳 (上位3項目)	紙代・印刷代	11,603
	トラクター借用料・脱穀代・粃摺り代	13,200
	講師謝礼	50,000
	その他	37,474

\*活動写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「東野地区基本構想・基本計画」の策定
団体名	東野まちづくり会議
代表者氏名	会長 下平 勤司
地区名	東野

取組みの目的	東野地区は、地域づくりの道しるべとなる「基本構想・基本計画」が策定されていなかった。今回、地域住民の総意として「基本構想・基本計画」を策定することを決定し、まちづくり会議役員のみならず、様々な団体等から策定委員を推薦し、公募者と併せた多くの住民により策定を行い、今後10年間の東野地区の目指すべき姿を明確にしたうえで、持続可能な地域づくりを実施していく。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本構想・基本計画の対象期間:2018年度から2027年度までの10年間</li> <li>○東野地区がめざすまちの将来像 ～桜並木を大切に、歴史と伝統を守る、人にやさしいまち・東野～</li> <li>○10年後に地区住民一体となって実現させたい「まちの姿」</li> <li>1. 若者が定住できる魅力あるまち・東野</li> <li>2. 伝統文化を継承するまち・東野</li> <li>3. 安心安全で災害に強いまち・東野</li> <li>4. 親近感・仲間意識が向上するまち・東野</li> <li>5. 心なごむ美しい環境をめざすまち・東野</li> <li>6. 女性が輝き活躍できるまち・東野</li> <li>7. 健康で生活できる幸福度の高いまち・東野</li> </ul>



説明 策定委員会発足式



説明 策定委員会リーダー会



説明 東野地区基本構想基本計画



説明 基本構想写真:大宮通り桜並木

取組の経過	<p>H28.8月～H29.3月 まちづくり会議3役、専門委員会委員長、準備委員会の推薦者等、公募者、アドバイザー、コーディネーター、事務局により準備委員会を経て策定委員会を設置した。</p> <p>H29.3.1 発足式において、市企画課長及び先進事例の丸山地区まちづくり委員会前会長を講師に迎え講演をいただいた。</p> <p>H29.4月～10月 7つの分科会(テーマ)を設置し、分科会ごとにリーダー、サブリーダー、書記、委員の計9～10名で構成し、分科会ごとに取り組み内容を検討した。</p> <p>H29.4月～H30.2月 月に1～2回リーダー会を開催し進捗状況等を確認した。</p> <p>H29.10.24～11.10 地区内のパブリックコメントを実施</p> <p>H29.12.21 幹事会(第3回策定検討会議)で計画素案を承認。</p> <p>H30.1.31 東野地域協議会で基本構想を承認、決定。</p> <p>H30.3月 印刷製本し地区内へ全戸配布。</p>
取組の効果	<p>○幅広い年齢層で策定するため、地域ぐるみで地域への関心や住民意識を高めることができる。</p> <p>○桜並木整備計画など市の予算を伴う地域課題について、基本構想基本計画に掲載することで、市の関わり方もより強固となることが期待できる。</p> <p>○基本構想基本計画を策定することで、まちづくり委員会の役員が変わっても一定の方向性をもってまちづくりの運営を行うことができる。</p> <p>○基本構想基本計画を全戸配布することで、地域住民が地区の将来の姿を共有でき、それに向かい地域活動が活発化することが期待できる。</p>
今後の取組	<p>○基本構想基本計画推進委員会を立ち上げ、各分科会にて基本構想基本計画に掲載された取り組みを実施していく。また、進捗状況を推進委員会が中心となり毎年検証し、計画の実現をめざす。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		388,800
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷製本費	388,800

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	上村御膳プロジェクトの推進
団体名	小沢川小水力発電事業体設立準備委員会
代表者氏名	委員長 前島 衛
地区名	上村地区

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上村の活性化は食から、をキーワードに、地域の食文化を活用した地域振興、地域活性化に資する食のおもてなし体制を構築すること、本物にこだわり食材、生産者、料理全てに地元を入れ込んだ上村地区の食の総称として上村御膳を育て上げる。</li> <li>・地区の古民家を活用して上村御膳を提供する拠点を構築し、上村に来なければ味わえない上村御膳を提供する体制を整える。ゆくゆくは、この拠点にとどまらず、地区内の誘客施設や誘客イベント等で提供していくオール上村体制での上村御膳提供を目指す。</li> <li>・オール上村体制で上村御膳を販売、提供していくにあたっての母体となる組織の設立を目指す。</li> </ul>
--------	---

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角寿司をはじめ、開発したメニューをレシピ化し、上村御膳のメニューの調理方法について統一性を持たせていく。メニュー作成にあたっては、地域の伝統食に詳しい方からも調理方法等の情報提供をいただくなど、協力していただく。</li> <li>・専門家からのアドバイスを受けて、クルミやエゴマはもとより、伝統食マップで整理した地域の食材を活かした第二、第三段のメニュー開発を行う。</li> <li>・販売体制構築に向けたルール等、上村地区全体でプロジェクトを推進していく体制づくりに着手する。</li> </ul>
-------	---



説明 飯田OIDE長姫高校の生徒との交流



説明 こんにゃくの試作づくりの様子



説明 「秋の膳」市議会議員への提供



説明 食材の調達「クルミ」拾いの様子

取組の経過	<p>【試作活動(3回)】          こんにゃく・柏餅・とりジンフライを試作          分量、工程等を確認・記録しながら試作品づくりを実施</p> <p>【地域活動(5回)】          ・飯田OIDE長姫高校の地域人教育「上村御膳」の説明、三角寿司試作提供          ・遠山中学校区教職員研修会「三角寿司づくり」の指導          ・市政懇談会 御膳PJの活動報告と三角寿司の提供          ・クルミ拾い作業 三角寿司の食材となる「クルミ」を拾い保存</p> <p>【御膳提供の機会(4回)】          ・敬老会(2019.9.16) 三角寿司を提供          ・市議会報告会(2017.10.10) 飯田市議会議員の夕食として「秋の膳」提供          ・しゃくなげ祭(2017.11.12) 地区の文化祭に三角寿司を販売          ・ジオパーク研究会(2017.11.19) スタッフの昼食として「秋の膳」提供</p> <p>【ミーティング(3回)】          ・第1回(2017.8.23) 今後の活動、敬老会への提供          ・第2回(2017.10.3) 提供前打合せ(秋の膳メニュー決め)          ・第3回(2017.10.17) 提供前打合せ(しゃくなげ祭)、視察研修について</p> <p>【今後の予定】          ・視察研修(駒ヶ根市方面)の実施 2018.3.4予定          ・レシピ集作成</p>
取組の効果	<p>・試食等を通じて実践的に検討してきたメニュー開発をもとに、これらをレシピ化することで、販売の際、上村御膳の味の統一性が図られることとなる。これにより、上村御膳の統一的なイメージやその背景にある上村地区のイメージを対外的に情報発信することにつながる。</p> <p>・食材の調達先を含めた上村御膳メニューを検討し、それを明確にするためにレシピを作成することで、できるだけ地元産の食材を活用するメニューの開発の可能性につながる。この開発の可能性から、地元食材を最大限活用した上村御膳の提供により、地域内経済の循環、遊休農地の活用へとつながっていく。</p> <p>・メニュー開発等の上村御膳プロジェクト活動に賛同してくれる地区住民を、サポーターとして巻き込むことで、オール上村体制での食材の提供や販売の協力体制が段階的に構築される。</p>
今後の取組	<p>上村御膳を提供する事業体(組合や会社等)の設立          ⇒今後、販売していくにあたって発生する売上金の管理やプロジェクトを推進していくための母体となる組織化を目指します。</p> <p>オール上村体制での上村御膳プロジェクトの推進          ⇒現在上村地区で行われている遊休農地活用プロジェクトとも、地域おこし協力隊員の仲立ちで連携して、上村御膳の食材の地域内確保に努めつつ、地域の農家にも応援してもらえるような仲間作りを進めます。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	310,000
	うち助成金(見込み)	189,000
主な経費内訳 (上位3項目)	アドバイザー招聘謝金	160,000
	研修費	100,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	花とみどりであふれる郷づくり(上村まちづくり委員会)
団体名	お仕事づくりプロジェクトお花部会
代表者氏名	会長 北澤 良太郎
地区名	上村地区

取組みの目的	<p>地区内の遊休地を活用した『景観イメージアップ』を図るため次の取り組みを行い、地区内の景観保全に努める。</p> <p>①雑草地を、花や野菜、雑穀類を植え、景観を良くする。                  ②家にこもりがちな高齢者や畑仕事をやってみたい人と一緒に作業をする。                  ③子どもから高齢者までの世代間交流の場、また、農作業のコツなどを伝授する場とする。                  ④ひまわり迷路づくりを通じて若年層の地域参加を促す。                  ⑤地区花「しゃくなげ」をふやす。</p>
具体的内容	<p>○手入れをしていない土地所有者の意向を確認する。                  ○手入れをして、花・ソバなど穀物・野菜等の畑にする。                  ○収穫した作物を使い、ソバ打ち体験や食農教育を行う。                  ○ひまわり迷路を作り、交流人口を増やす。</p>



説明 休耕田へひまわりを播種①



説明 遊休田へひまわりを播種②



説明 満開を迎えた盛夏



説明 保育園・小学校へ「石楠花」を贈呈

取組の経過	<p>飯田市の総合計画「いいだ未来デザイン2028」の8つの目指すまちの姿の一つに「地域の誇りと愛着で20地区の個性が輝くまち」があり、全地区が人口目標を達成するよう“田舎へ還ろう戦略”に取組み、1年1点の地区戦略を掲げ事業展開をしている。</p> <p>当地区では『景観イメージアップ 花とみどりがあふれる郷づくり』を目標に掲げ、地区内の遊休地等を花や植物で景観を良くし、交流人口を多くする取組みを行うこととした。</p> <p>○5～6月 田畑をおこし植栽の準備 ひまわり・大豆の種まき</p> <p>○7月下旬～9月 ひまわりの開花 大豆畑の除草作業</p> <p>○10月 ひまわりの刈取り(種を取るため天日干し)</p> <p>○11月 しゃくなげ祭(文化祭)で、保育園・小学校へ石楠花の苗を贈呈、ひまわりの種を参加者に頒布</p> <p>○12月 大豆の脱殻と選別作業</p>
取組の効果	<p>○雑草が減った。</p> <p>○遊休地から雑草が消え、ひまわりが咲き、景観が良くなった。</p> <p>○地域全体で、花やみどりで景観を良くしようという気運が高まった。</p> <p>[反省点]</p> <p>○ひまわりの品種選定を誤り、大きくなりすぎひまわり迷路が作れなかった。</p> <p>○天候を見ながらの作業のため、事前周知が難しく参加者が限られてしまった。</p>
今後の取組	<p>○しゃくなげ祭で配布したひまわりの種を地域住民が自宅周辺等に撒き、上村全体がひまわりが咲くようになることを期待している。</p> <p>○ひまわりだけでなく、ハナモモ、しゃくなげ等四季折々の花々が咲き、住んでいる人、訪れる人が楽しめるよう、植栽を進める。</p> <p>○参加者が多くなるような事前周知方法を検討する。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		196,340
うち助成金(見込み)		123,000
主な経費内訳 (上位3項目)	消耗品(種・腐葉土等)	98,000
	農業機器借り上げ料	60,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	第22回千代河鹿がえるまつり
団体名	千代河鹿がえるまつり実行委員会
代表者氏名	佐々木 賢則
地区名	飯田市 千代 米川

取組みの目的	地域の財産である自然を守り、この財産を地域活性に利用する事と子ども達の記憶に残る祭りにし、将来この地域に戻りたくなる事を願って活動している。
--------	--

具体的内容	事前準備の段階で年度当初に米川地区の街路灯が撤去されていたため、飯田商工会議所千代支部と協力してソーラー式LED街灯を用意しました。また、昨年半分新調したのぼり旗の半分を作り、常夜灯を作成し米川大橋に設置しました。さらに、『河鹿がえるの里』である事をこの地区に訪れた方々に知ってもらう事を目的に袖看板を作り地区内のポールに設置しました。当日のイベントに関しては、22周年を迎え原点を思い返し、河鹿がえるの声を静かに聴き全員がちょうちん行列を浴衣で満喫してもらおうと思い、昨年同様招待者に貸出し用浴衣と下駄を用意しLEDロウソク付七夕ちょうちんを貸出す事にしました。それと今回から一般の参加者にもLEDロウソク入七夕ちょうちんを200個用意し貸出しました。また、貸出し用七夕ちょうちんを開会式会場の背景に取付ちょうちん行列の雰囲気を楽しんで頂きました。
-------	---



説明 ソーラー式LED街路灯 & 新のぼり旗



説明 『河鹿がえるの里』袖看板



説明 新常夜灯



説明 LEDロウソク入七夕ちょうちん

取組の経過	<p>まず、ポスターとチラシを作成し飯田市の各自治振興センターに配布し掲示して頂き、飯田下伊那全域をカバーする広告媒体の週刊中日ホームニュースに広告を出し地区外の方々に知ってもらえるようにしました。そして例年通りお祭り当日二週間前に実行委員会全員で「1級河川米川」の河川清掃を行い、今回新調したのぼり旗半分を含んだのぼり旗80本を地区全域に飾りつけ、LEDろうそくと竹筒を準備し、『米川大橋』に常夜灯を一基と、『河鹿がえるの里』の袖看板を新設しました。ここ数年7月第1週の土曜日の梅雨の真っ最中に開催させて頂いておりますので例年通り雨天対策には十分配慮しております。また、昨年に引き続き開会式後のイベントは地元の保育園児・小学生・中学生の出し物を楽しんでもらい、背景には貸出し用七夕ちょうちんを飾り更なる雰囲気を出しました。今回は、22周年を迎え千代河鹿がえるまつりが始まった原点を思い返し『ちょうちん行列』の演出をさらに変えてみました。カジカガエルの鳴き声を静かに聴き、ホタルを見てもらえる『浴衣でちょうちん行列』を楽しんでもらうため、多くの参加者が浴衣で参加してもらえるようレンタルの浴衣と下駄とLEDろうそく入七夕ちょうちんを用意させて頂きました。</p>
取組の効果	<p>飯田下伊那全域をカバーする広告を利用したことによって少しは地区外の方々に知ってもらえたと思います。昨年より浴衣で参加してくれる子供たちも多く祭りを盛り上げてくれ、地域の子ども達がほぼ全員集まり楽しんでもらえ、とても良い思い出になったと思います。さらに、七夕ちょうちんをLEDろうそく入にし無料貸出した事で参加者が急増したと思われます。のぼり旗を新調し、新しい常夜灯を設置した事により祭りの雰囲気も明るくなったように思います。また、『河鹿がえるの里』の袖看板を設置した事で地区内外に広くこの地区の取り組みをご理解頂けたと思います。お祭り当日の『浴衣でちょうちん行列』は350人以上の参加者があり、この取り組みは成功したと思います。</p>
今後の取組	<p>これからも継続的にお祭りを行い、竜東地区を代表する祭りとして定着させ、地域の多くの方々に水資源を守る事が自分たちの命を守る事である事を知ってもらう。今後もこの千代河鹿がえるまつりを通し『一級河川の米川』を竜東地区の飲料水の源として周辺地区民に理解してもらえるように告知活動を続けていき、竜東地区の宝＝千代として、帰りたい故郷ナンバーワンを目指し、里山整備や河川保護を行う米川桃源郷構想も同時に進めていきます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		560,844
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	常夜灯作成費	107,460
	のぼり旗作成費&ポール代	100,224
	両面袖看板作成代	129,600
	LED照明設置費用	108,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

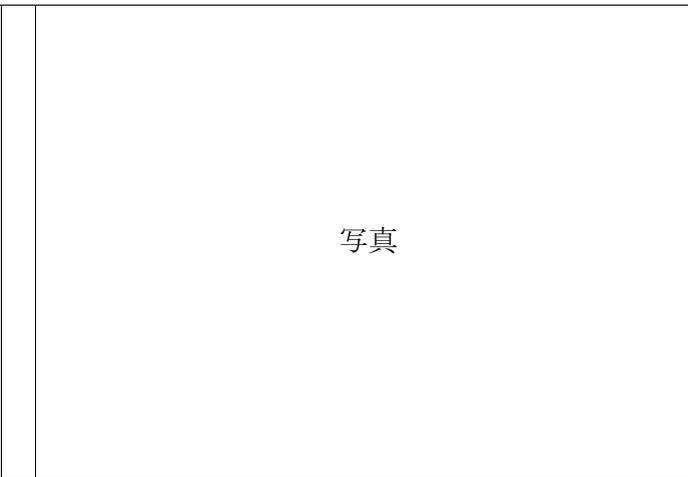
取組名称	水辺の楽校草刈り隊 頑張る活動
団体名	龍江地域づくり委員会
代表者氏名	会長 一ノ瀬 孝司
地区名	龍江

取組みの目的

堤外地整備でできた「水辺の楽校」は雑草の繁茂により住民の活用がされてこなかった。一方で子育て世代を中心に公園整備の要望が出されていた。地域づくり委員会では、28年5月に「水辺の楽校草刈り隊」を発足させ、土手草刈り機を地区で購入し、月に2～3回のペースでボランティア活動により草刈りを行い、大幅に景観を向上させた。加えて地区内への周知を進めた結果、「水辺の楽校」を訪れる人が大幅に増加した。しかし活動の中で、機械力の不足と機械操作技術の向上が課題となり、さらなる地域住民の、「水辺の楽校」利用拡大と認知度のアップが求められてきた。これらの課題を克服するため本件取組みを強化する。

具体的内容

1 土手草刈り機購入  
 ・新規に土手草刈り機を購入して機械力を向上させる。  
 ・本件購入により、乗用モア-2台・土手草刈り機4台体制となり、大幅に草刈り能力が向上した。  
 2 機械操作の安全のために講習会を実施。  
 3 「水辺の楽校」を活用した種々のイベントの実施



説明

説明



説明 隊員

説明 作業の様子

取組の経過	<p>1 29年5月より、29年度「水辺の楽校草刈り隊」活動を開始。  2 同月、草刈り隊員を対象に機械操作講習会を2回実施。  3 5月～10月まで、月2～3回のペースで草刈り活動を実施。  4 「龍江水辺の楽校」を活用した公民館活動など、種々のイベントを開催した。  5 イベント以外でも、地区内外から家族連れやウオーキングなどで、利用する人が大幅に増えた。  6 今後も地区活性化の拠点としての「水辺の楽校」の可能性が増えるものと期待しています。</p>
取組の効果	<p>1 草刈りにより景観が向上し、天竜峡八重桜街道と合わせて一帯の景観価値が大きく向上した。  2 水辺の楽校を活用した公民館活動などの種々のイベントが開催された。  3 イベント以外でも、地区内外から家族連れやウオーキングなどで利用する人が大幅に増えた。  4 秋には水辺の楽校の彼岸花の大群落が評判になり、多くの人が来訪されました。</p>
今後の取組	

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	488,000
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	畔草刈り機購入	238,000
	周知イベントの実施	100,000
	講習会経費	50,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	相生「花いっぱい」運動
団体名	川路七区
代表者氏名	関谷藤吉
地区名	川路七区

取組みの目的	<p>「天龍峡秋の彩展」でドーム菊を展示し、名勝天龍峡へ訪れる人々の目を楽しませ、地域が期間中は華やいだ雰囲気になっています。</p> <p>今回、天龍峡の地元である川路七区の住民が主体となって、天龍峡の各家庭の玄関前にドーム菊を設置し、「天龍峡秋の彩展」に参加する中で、区民の絆を深め、又天龍峡の活性化につなげたいと相生「花いっぱい運動」を計画しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活に潤いと住みよい環境づくりを区民の力で！</li> <li>2. 名勝天龍峡を区民の絆で再生を！</li> <li>3. お客様へのおもてなし。</li> </ol>
具体的内容	<p>「天龍峡秋の彩展」で、ドーム菊を今まで天龍峡駅前、姑射橋周辺、足湯周辺、公共施設周辺へ100鉢余の展示を行ってきました。今年度は「天龍峡秋の彩展」は150鉢、相生「花いっぱい」運動は200鉢、合計350鉢を目標に活動を推進し、ほぼ計画通り展示をすることができました。</p>



説明 天龍峡大通りのドーム菊



説明 天龍峡駅前個人宅のドーム菊



説明 天龍峡商店のドーム菊展示



説明 ドーム菊苗生産者の畑

取組の経過	<p>川路まちづくり・龍江地域づくりも参加した天龍峡観光整備推進協議会主催の「天龍峡秋の彩展」も今年で5年目を迎えます。</p> <p>年ごとに規模も膨らみ住民の皆様の関心も徐々に高まり、天龍峡へ訪れる人々の目を楽しませ、地域が期間中は華やいだ雰囲気になっています。</p> <p>そのメイン事業が「天龍峡秋の彩展」でのドーム菊の展示です。</p> <p>今まで天龍峡駅前、姑射橋周辺、足湯周辺、公共施設周辺へ100鉢余の展示を行ってきました。</p> <p>今年度は「天龍峡秋の彩展」に協賛する形で相生「花いっぱい」運動を展開し、「天龍峡秋の彩展」は150鉢、相生「花いっぱい」運動は200鉢、合計350鉢の展示を目標に活動を推進し、ほぼ計画通り展示をすることができました。</p>
取組の効果	<p>「天龍峡秋の彩展」は天龍峡観光整備推進協議会主催の活動であり、区民全員の活動ではありませんでしたが、相生「花いっぱい」運動を区民主体で推進することにより、区民の連帯感も深まり、又「天龍峡秋の彩展」への区民の方々の参加意識が芽生え、天龍峡全体の活動に高めることができました。</p> <p>又、飯田市を中心とした活動による天龍峡公園一帯の整備が進む中、観光客も徐々に増えつつあり、秋の紅葉を楽しむ観光客は特に目をみはるものがありましたが、多くの観光客の方が、ドーム菊の前で記念撮影をして楽しんでお帰り頂きました。</p>
今後の取組	<p>今年度は、初めての取り組みであり、区民の皆様に十分活動の意義を理解頂けていなかった面もあり、お付き合いでドーム菊を一鉢購入していただいた方もおられましたが、実際の活動を見て頂く中で、区民の皆様の理解も深まり、次年度は積極的に参加したいとの声も寄せられております。</p> <p>2年目に向けては、区民の方々の理解も更に深まったとの認識より、活動規模を拡大して参りたいと考えております。</p> <p>又、区民の連帯強化と地区の活性化だけではなく、観光地の地元である点を意識して、一か月という限定された期間の展示ではなく、通年「花いっぱい」運動を展開して行けたら観光客も喜んで頂けるとの積極的な声もあり、更なる活動のレベルアップに向けて、推進組織を区の役員主体の組織から、区民全員が気軽に参加できる組織として、活動の継続的な発展を模索したいと考えております。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		326,000円
うち助成金(見込み)		119,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	ドーム菊苗育成代	200,000円
	ドーム菊用鉢代	81,840円
	ドーム菊用培養土代	37,461円
	その他	6,699円

取組名称	飯田水引 伝統文化継承プロジェクト
団体名	Sturdy egg(スタディ エッグ)
代表者氏名	飯田OIDE長姫高校 3年 宮澤 芽生
地区名	

取組みの目的

地場産業である水引は、飯田を象徴する伝統工芸であるとともに、私たち高校生にとってもふるさとの誇りとして根付いているものでありたい。しかし、結納や儀式の洋式化、簡素化によって需要が減少している。また、私たちが行った調査から39歳以下の人は水引自体の認知度が低く、このままの状況であれば、衰退し続けることに危惧している。これらのことから、市内外において若年層を対象とした水引の市場開拓やPR活動を通して水引の認知度を上げるとともに、飯田に水引ありきの伝統を次世代に継承していきたい。

具体的内容

- 1 新たな市場の開拓のためのPR活動  
水引は儀式やイベントで活用されるコト消費であることに着目し、各地で行われる式典やイベントに水引を活用してもらえよう、見本品やノベルティーなどでPRする。
- 2 ワークショップ事業  
夏休み期間に小学生を対象とした自由研究教室のほかに、老人福祉施設、各地区における地域イベントにて体験教室を実施。
- 3 展示ブースの制作  
各地で行う販売やワークショップの機会に、水引について学べたり、調べたりできるようなブースを設け、水引に関する関心を高める。



説明 夏休み子ども水引研究所



説明 食べられる水引



説明 卒業式コサージュ



説明 全国生徒商業研究発表大会受賞式

取組の経過	<p>2月 卒業式コサージュ作成(260個) 金沢市訪問 飯田市外における水引産業及び伝統工芸の視察</p> <p>3月 ロンドンビジネススクール記念品(128個)</p> <p>5月 江戸川女子中学校ワークショップ(150名)</p> <p>6月 ANAビジネスソリューション記念品(10個)</p> <p>7月 鼎小学校児童と保護者を対象としたワークショップ(100名) 松本市民・松本大学共催ワークショップ(250名)</p> <p>8月 夏休み子ども水引研究所(42名) デパートゆにっとのワークショップ及び食べられる水引の販売(100名)</p> <p>9月 本校を訪れた大学生を対象としたワークショップ(40名) 麻績いきいき大学水引講座(30名)</p> <p>10月 本校を訪れた韓国高校生訪日団の方への水引体験講座(70名) セルビア大使館にてワークショップ交流事業(20名) 信州学サミットにてワークショップ開催(50名) 鼎小学校親子レク(100名) 地元企業感謝祭記念品(10個)</p> <p>11月 丘のまちフェスティバル(50名) 全国生徒商業研究発表大会・大会記念品(300個)</p> <p>以下実施予定 2月21日・22日 糸魚川市訪問 ワークショップ実施(20名)</p>
取組の効果	<p>《市場開拓》 飯田水引の新たな用途として開発したオーダーメイドの水引細工は本校や私たちと地域や企業の方にもともとあった関係性による受注販売でした。また、飯田水引の新たな市場として開発した食べられる水引とした和菓子は催事に合わせた対面販売のみとなりました。販売では多くのお客様から一定の評価を頂いた一方、ブランド戦略の甘さやマーケティング志向の商品ではないと指摘を受けました。コサージュなどの注文が若干増えつつありますが、飯田水引業界へ好影響を与えるまでには至っていません。</p> <p>《PR活動》 高校生による飯田水引ワークショップは地域のマスメディアを中心に新聞19回、テレビ6回、ラジオ1回(11月時点)に取り上げていただきました。メディア効果もあり、予想を上回るペースで依頼を受け、実施した結果、市内県内だけでなく首都圏でも実施し、延べ1,000人を超える方に水引細工を経験していただくことができました。体験後のアンケート調査で満足度を5段階で測ったところ、最高評価の5が95%を超え、私たちが想定した消費者ニーズを具体化したワークショップは大変好評だったといえます。年代や地域性などそれぞれに工夫ができたことも要因の一つだと考えられます。特に前述の「子ども水引研究所」では、自由研究に活用した小学生やその保護者から喜びの声を多くいただいたことや、その様子がSNSにて発信されるなど、私たちが想定した豊かな経験からの共感、共有を実現することができました。</p>
今後の取組	<p>○県内外で認知度向上を目的としたワークショップの継続(糸魚川市訪問)</p> <p>○本校卒業式に使用したコサージュは新たな伝統として本校だけでなく飯田の多くの学校で採用していただくため、飯田水引の新たな活用方法を広く報せていきたいです。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		300,000
うち助成金(見込み)		206,000
主な経費内訳 (上位3項目)	材料費	180,000
	展示ブース制作費	35,000
	調査費	30,000

- \*活動状況がわかる写真を入れてください。
- \*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。  
その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。
- \*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ふれあいマリンバ演奏
団体名	特定非営利活動法人緑のそよ風
代表者氏名	林 宗吉
地区名	飯田市 龍江

取組みの目的	施設に対する単なる音楽のボランティア活動でなく、施設側にも活動を共有してもらえる体制・条件作りをする。従来の活動は一過性であり、活動に深まりがなかった。施設との交流を深めながら繰り返し音楽演奏(療法)を実施して、ボランティア活動でありながら質の高いマリンバによる演奏活動を確立したい。
具体的内容	講師として日本木琴協会賛助会員・昭和音楽大学キャリアマネジメント評議員武井明美氏(富士見町在住)等を依頼する。 武井明美氏のレッスンを受ける(月1回、富士見町)。 武井明美氏門下生で構成される「すわんの会」に入会(月1回、茅野市にて) 施設訪問はボランティアとして月3~4回訪問する。



説明 平成29年6月 遠山荘



説明 平成29年7月 松川町ななすぎ



説明 平成29年11月 近所の人たちと



説明 平成29年12月 龍江みつばさ

取組の経過	平成29年2月 ムトス飯田助成事業助成金申請 平成29年3月 緑のそよ風 年間計画策定 平成29年4月 マリンバ演奏者 武井明美氏(富士見町在住)に指導依頼 平成29年4月 武井明美師事演奏者の会「すわんの会」(茅野市会場)参加研修、以降毎月 平成29年4月 下條村Dサービス、駒ヶ根市竜東やまびこ苑、今田平桜祭りで演奏 平成29年5月 明星学園、わくわく松尾、南信濃遠山荘で演奏 平成29年6月 アップルハイツ、ツクイ、鼎 夢工房、飯島町グレース、倉敷市喫茶うえだで演奏 平成29年7月 龍江ふれあい広場、千代高齢者の会、駒ヶ根市かがやき、川路あやめ荘で演奏 平成29年8月 竜東Dサービス、下瀬しあわせ村、龍江みつばさ、阿智橋上Dサービスで演奏 平成29年9月 風越の里、松川町ななすぎ、山本アグリ、健和会Dサービス、千代しゃくなげで演奏 平成29年10月 家庭介護者慰労の会(Dブロック)、三穂宅老所まめだに、伊久間和の里祭で演奏 平成29年11月 すわんの会発表会(茅野市市民会館)出席、龍江フォローアップで演奏 平成29年12月 松川町ななすぎ、健和会Dサービス、龍江みつばさ、丸山小児童クラブで演奏 <平成29年12月18日現在>
取組の効果	武井明美氏から施設での演奏に相応しい選曲と演奏のスキルアップを達成することができた。 マリンバ演奏者の会「すわんの会」にて演奏に際してのアドバイスを数多く得ることができた。  4月以来現在までに40回以上 施設の訪問演奏ができた。このうち3割程度の訪問はリピートであり、繰り返し訪問を重ねることによって信頼をさらに深められると考える。
今後の取組	成果をPRして他所にも働きかける。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	310,000
	うち助成金(見込み)	173,000
主な経費内訳 (上位3項目)	講師謝礼(交通費 他)	250,000
	教材	50,000
	雑費	10,000

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	飯田市制施行80周年記念局運用委員会
団体名	飯田下伊那アマチュア無線クラブ、伊賀良アマチュア無線クラブ、遠山郷アマチュア無線クラブ
代表者氏名	田中 義訓
地区名	

取組みの目的	<p>①飯田市制施行80周年とそれに伴うイベント事業を、アマチュア無線を通じて広く、国内外にPRする。</p> <p>②特別局(8N0IIDA)の交信証を発行する事により、観光や行事のPRができる。</p> <p>③飯田市内外のアマチュア無線家が協力して運用する事により、連帯感が生まれ非常通信の訓練がスムーズになる。</p> <p>④非常時の通信協力が得られるよう、飯田市内や他地区アマチュア局の理解を深め参加局の拡大を図る。</p>
具体的内容	<p>①開局式及び市内各地での公開運用。</p> <p>②各地区文化祭会場での公開運用。</p> <p>③各地区クラブでの防災訓練への参加。</p> <p>④運用委員会構成員及びビジターによる随時運用。</p> <p>⑤交信した局には交信証を発行する。</p> <p>⑥運営委員会の開催。</p>



説明 伊賀良地区文化祭会場での公開運用。



説明 海外交信専門のウェブサイトDX News



説明 今回発行する交信証 QSLカード



説明 カリフォルニア州から届いた交信証

取組の経過	<p>平成29年2月21日 市へ同意書を申請、3月3日付認可  3月5日 ムトス飯田説明会  3月19日 信越総合通信局へ呼出符号変更申請提出  3月24日 3クラブ打ち合わせ  4月7日 記念局コールサイン8N0IIDAが発給された。  5月16日 ムトス飯田ヒアリング  6月1日～記念局ホームページ作成、世界の無線局検索サイトQRZ.comに掲載  6月4日 結成式、開局式、公開運用、会員数27名、  8月4日 公開運用 かざこし子どもの森公園  9月2日 武田信玄狼煙会に協賛  9月3日 防災訓練参加、伊賀良、鼎、竜丘アマチュア無線クラブ  11月4、5日 公開運用 鼎地区文化祭会場  11月11、12日 公開運用 伊賀良地区文化祭会場  公開運用以外では、会員各自がそれぞれの移動場所において運用中</p>
取組の効果	<p>①飯田市制施行80周年記念アマチュア無線局運用により、国内・国外のアマチュ無線局に対し、交信内容や交信証(QSLカード)発行で飯田市制施行80周年が広くPRできた。  ・12月末日までの交信数 3,800局、  相手局からのカードは特に求めてはいないものの、カリフォルニア州から1、国内78の送付あり。  ②記念局運用を報道各社取材で新聞(紙面)掲載、ケーブルテレビ(画像)放映をしていただき、購読・聴取者に対し飯田市制施行80周年が広くPRできた。  ・国内外のウェブサイト、海外交信専門のウェブサイトDX News、専門誌CQ ham radioにも掲載あり。  ③記念局の企画会議・公開運用等への参画・来訪・懇親会等で、個人活動が多いアマチュア無線局(家)間の繋がりが深まり、今後の飯田下伊那地域での無線活動支援の体制が深まっ</p>
今後の取組	<p>①平成30年2月28日まで運用予定  ②飯田市制施行80周年記念アマチュア無線特別局運用で取得した知識・繋がりを生かし。飯田市が主催するイベント等において、H30年度以降に特別記念局開設・運用し飯田市のPRに参画をしていきたい。  ③記念局運用で得た、地元アマチュア無線家間の繋がりを基に、市内他地区での地震防災訓練等における通信支援が出来る体制の構築を進めていきたい。  ④後進の育成にも力添えしたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	¥325,000
	うち助成金(見込み)	¥234,000
主な経費内訳 (上位3項目)	無線機2台	¥119,012
	アンテナ2基	¥62,433
	QSLカード作成料	¥18,080
	その他	¥125,475

\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	大宮通り桜並木(提灯新調)
団体名	主:大宮通り桜保存会 援:東野街づくり会議
代表者氏名	井上 基
地区名	東野

取組みの目的	3月下旬から飯田の春の訪れを待つ人達が並木を訪れます。当保存会では毎年恒例の夜桜提灯で皆さんに喜んで貰っています。提灯の劣化に伴い新調し地域のシンボルである並木の春を皆さんに喜んで頂きたい。
--------	---

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯田市春の観光祭りの一環として大宮通り桜祭りを開催します。</li> <li>○桜の開花の以前より点灯することで春らしさを演出します。</li> <li>○開花中夜桜見物の人達に薄明りの提灯で安心感を提供します。</li> </ul>
-------	---



説明

桜並木と提灯(1)



説明

桜並木と提灯(2)



説明

桜並木の紅葉(秋)



説明

桜並木イルミネーション(冬)

取組の経過	<p>3月 3日桜まつり実行委員会  3月19日各町内で提灯取り付け 破損、劣化等により不足箇所発生  4月 8日夜さくら会開催  4月 9日桜まつり開催 親子ふれあい写生大会  フリーマーケット(地域活性化自主開催に場所を提供)  4月10日提灯新規見積依頼 並木通り桜祭りの印刷を大宮通り桜まつりに校正依頼  4月14日桜まつり夜桜提灯新調としてムトス助成金申請  7月18日まちづくり会議に金銭消費貸借契約の申請  10月20日提灯納品  11月11日通常総会でお披露目</p>
取組の効果	<p>○次年度の桜まつりには旧の書体と合わせて破損劣化品と交換する。  ○まちづくり会議と共同事業として東野連合青壮年会の協力をお願いします。(各事業等に)</p>
今後の取組	<p>✿夜さくら提灯点灯ムトス助成金事業の看板設置  ✿30年3月中旬より提灯の取り付けこれより新調の提灯に順次取り換える。  ✿3月下旬より開花に合わせて提灯点灯  ✿4月7日夜さくら会(飯田市中央公民館に於いて東野公民館主催)  ✿4月8日大宮通り桜まつり 親子ふれあい写生大会 フリーマーケット</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		341,064
うち助成金(見込み)		
主な経費内訳 (上位3項目)	ピンク桜柄提灯120個	152,400
	白桜柄提灯 120個	152,400
	製版代	11,000
	消費税8%	25,264

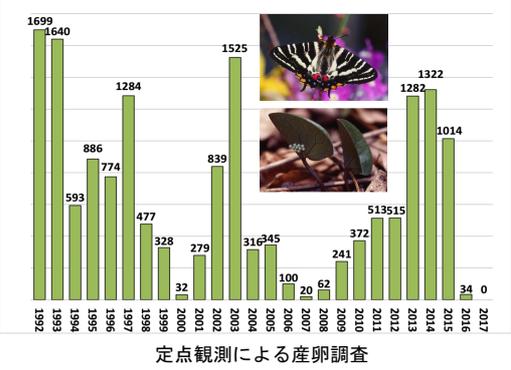
\*活動状況がわかる写真を入れてください。

\*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の( )内に見込みと記入してください。

\*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

(ふりがな)	いまだにんぎょうほぞんかい		
団体名称	今田人形保存会		
(ふりがな)	よしざわ けん		
代表者氏名	会長 吉澤 健		
設立年月日	1976年4月1日		
ホームページ			
活動内容	<p>○今田人形座の後方支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存会員の確保</li> </ul> <p>東京における広報活動 「今田人形浄瑠璃展in渋谷」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今田人形座員の確保 (人形操り師、浄瑠璃語り、三味線演奏家等)</li> </ul>		
			
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今田人形座が、かつてフランスのシャルルヴィル=メジュール市に招待されて、海外公演を行った縁で天龍峡桜街道が、「シャルルヴィル=メジュール通り」と命名された。</li> <li>・東京における「今田人形展in渋谷」により、会員数が増加している。</li> </ul>		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今田人形座の後方支援</li> </ul>		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に財政面</li> </ul>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費1,000円
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	いいだこんちゅうものかい		
団体名称	飯田昆虫友の会		
(ふりがな)	いはらみちお		
代表者氏名	井原道夫		
設立年月日	1988/04/09		
ホームページ			
活動内容	<p>〈活動のあらまし〉                  飯田市の天然記念物ギフチョウ(日本固有種で氷河時代からの生き残り、春の女神などと言われる)の保護活動と自然環境の啓蒙。飯田市天然記念物・環境省ふるさといきもの里指定に尽力。地元小学生をはじめとする地域ぐるみの運動が評価され「第5回ムス賞」を受賞。</p> <p>〈現在の活動状況〉                  毎年4月初旬の「飛んでいるギフチョウを見る会」と「産卵調査」が中心。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">定点観測による産卵調査</p>		
PRしたいこと	<p>活動スタンス(発足当初から変わっていません)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギフチョウは自然の一部、そのバックにある全ての自然や環境・景観を含めて保全する気持ちで望もう!</li> <li>・ギフチョウも人間も同じ生き物。どちらにも大切な飯田市のすばらしい環境をずっと引き継いでいこう!</li> <li>・人間は自然に生かされている! 自然が失われようとしている時、手助けするにも“ほんの少し”が大切!</li> <li>・しかし、隠し通して守れなくなったらいっそオープンにして、みんなで守り、勇気を持って行動しよう!</li> <li>・伊那谷の自然・環境や景観は私たちのかけがえのない財産であり誇り。これらを最上位に据えた活動を!</li> </ul> <p>リニアモーターカー開通後の「飯田市の顔」となるよう伊那谷の多様な自然をきちっと守り残しましょう!</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>「伊那谷自然友の会」との情報共有と発信、ならびに協力                  「伊那谷研究団体連絡協議会」との情報共有と発信、協力、並びに発表</p>		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員減少と高齢化のため若い仲間の参加が欲しい。</li> <li>・そして、活動を次代に継承したい</li> <li>・昨年(2017)の産卵調査の結果、毎年定点観察を行っているが25年間の活動ではじめて産卵数が「0」となった。今年(2018)の結果次第では著しい活動の変革を余儀なくされることを心配している。</li> </ul>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に無し。自然が好きの人(4月初旬の「飛んでいるギフチョウを見る会」でも受付しています。)</li> </ul>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外での産卵調査をしてみませんか?(毎年ゴールデンウィークの半日間行います)。</li> <li>・「飛んでいるギフチョウを見る会」で、案内・募集します。</li> </ul>

(ふりがな)	かざこしやまをあいするかい		
団体名称	風越山を愛する会		
(ふりがな)	やました もりひろ		
代表者氏名	山下 守弘		
設立年月日	昭和61年5月14日		
ホームページ	<a href="http://www.mis.janis.or.jp/~hilasawa/">www.mis.janis.or.jp/~hilasawa/</a>		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">虚空蔵山前の草刈り作業                      イワウチワ鑑賞登山</p> <p>登山道および案内板の整備を通じた環境保護。イラストマップの販売や会員通信「風のたより」発行を通じての風越山のPR活動。地元まちづくり委員会を含めた各種団体、小学校と連携した風越山学習会、登山への参画・協力。白山社開山祭への協力、風越山の自然・歴史、文化ガイド、学習会を通じての歴史・文化の保護。笠松山、吉田山、摺木山などへの近隣登山、加賀の白山遠征登山など、風越山の魅力や登山の楽しさを感じていただけるような活動を行っています。</p>		
PRしたいこと	<p>風越山は飯田市のシンボルとして親しまれています。歴史をひもとくと、古くは霊山としての信仰の拠り所となってきた山であり、今もその凜々しさを感じることができます。また、四季折々の表情の変化によって私たちを楽しませてくれる、懐の深い山でもあります。私たちは、会員だけでなく、多くの方々にこの風越山の魅力に触れていただくために、楽しく和気あいあいとした雰囲気をもっと活動しています。みなさんとの出会いが、風越山を通して広がっていくことを楽しみにしています。</p>		 <p style="text-align: center;">「加賀の白山」遠征登山</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>私たちは、いつも飯田市の暮らしに寄り添ってきた風越山を守り、その魅力を感じていただくための活動をしています。そのためには、自然環境や歴史、文化を守り、語り伝えていく必要があります。そのため、幅広い団体と連携し様々な活動していくことができると考えています。風越山に少しでも興味のある方、団体は、是非お声かけください。</p>		
困っていること	<p>風越山が誇る独自の自然形態や、守り伝えられてきた歴史・文化を次世代に残していくために、是非とも幅広い年齢層の方に活動に参加していただきたいと思っています。特に若い世代のエネルギーやアイデアを「風越山を愛する会」に加えていただくことができれば幸いです。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>私たちは、たくさんの方々に風越山の魅力を感じていただくために活動しています。老若男女問わず、幅広い方々に参加していただきたいと思っ</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>風越山の登山道の整備や、自然・歴史のガイドのお手伝いなどをお願いしたいと思います。是非お声かけください。</p>

(ふりがな)	いいだしょうねんしょうじょがっしょうだん		
団体名称	飯田少年少女合唱団		
(ふりがな)	しょうじひろえ いなもと よしろう		
代表者氏名	指導者:庄司裕江 ほか 保護者会長:稲本 美郎		
設立年月日	1989年 7月 1日		
ホームページ	facebookで活動を公開中。「飯田少年少女合唱団」で検索してください。		
活動内容	 <p>定期演奏会の開催をはじめ、長野県少年少女合唱祭や伊那谷文化芸術祭への参加を目標に毎週土曜日16時～18時の2時間、主に飯田文化会館で合唱曲の練習やリトミックを行っています。イベント等への出演依頼もあります。 また、夏合宿やクリスマス会、新年会などのイベントを通して、より親睦を深めています。</p>		
PRしたいこと	様々な趣味を持っていたり、合唱とは別の学校の部活動に入っていたりしますが、『歌うことが好き』という点で共通した団員が「歌うこと」を共有しています。 学年も学校を越えた仲間とのハーモニーを奏でてみませんか？		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域の子供達との練習や共演を通じて、歌うことの楽しさを共有できるようなイベントが出来たらと考えています。		
困っていること	ここ数年、退団者が入団者を上回り、団員数が減少傾向にある事です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	5歳～高校3年生(保護者の送迎が可能な人) 入団金¥2,000、月会費小学生以上¥3,000小学生未満¥2,000
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだしれんごうふじんかい		
団体名称	飯田市連合婦人会		
(ふりがな)	もりもと さかえ		
代表者氏名	森本 サカエ		
設立年月日	1957年 5月		
ホームページ			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政事業への参画 (やまびこマーチ、人形劇フェスタ、ウェルカムパーティ)</li> <li>○各地区行事に参加協力 (文化祭、運動会、ふれあい広場、市民のつどい)</li> <li>○平和運動 (災害募金、世界平和運動、平和学習研修)</li> <li>○環境問題への取組 (資源物回収、ゴミ問題学習、もったいないの気持ちで食材を活かす料理学習)</li> <li>○家庭教育学習</li> <li>○国際交流関係協力</li> <li>○伊勢市との親善交流 (婦人会交流会、小学生交流会への協力)</li> <li>○各種学習会への参加</li> </ul>		
	 <p style="text-align: right;">稲葉クリーンセンター見学 施設内説明</p>		
	 <p style="text-align: right;">あいさつ運動</p>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育団体として、まちづくりに貢献。</li> <li>○行政の行事や各地区公民館に協力</li> <li>○生涯学習の場</li> <li>○オアシス運動 オ. おはようございます。 ア. ありがとうございます。 シ. 親切な態度。 ス. すみません。</li> </ul>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境学習</li> <li>○ボランティア活動</li> </ul>		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会員の高齢化</li> <li>○会員減少</li> </ul>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	婦人ならどなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	婦人ならどなたでも



(ふりがな)	かみいいだゆういちぐるーぷ		
団体名称	上飯田夕市グループ		
(ふりがな)	まつした みなこ		
代表者氏名	松下 みな子		
設立年月日	平成 2年 3月 1日		
ホームページ			
活動内容	 <p>丸山小学校二年生全員と市役所の土地をお借りし子供たちと話し合い作りたい野菜を決めて、夕市の仲間と種まきから収穫までを観察しながら成長を見守る。</p>		
PRLしたいこと	<p>楽しく、植え付けと草取りを行い作物ごとに成長の違いを発見して、登下校の途中でも楽しそうに観察して発見したことを自慢げに語ってくれる。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	いいだ かんこうがいの の かい		
団体名称	飯田観光ガイドの会		
(ふりがな)	はやし やちみ		
代表者氏名	林 八千美		
設立年月日	平成 8年 10月 21日		
ホームページ			
活動内容		<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現地 研修 会 の 様 子</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ガイ ド の 様 子</p>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 観光案内 ①丘の上ガイド ②しらびそ高原～下栗の里案内 ③秘境駅ガイド ほか</li> <li>2 月例会の座学・現地研修による観光案内スキルの向上</li> <li>3 観光ガイドの会パンフレット「案内人と歩く城下町飯田」の発行および配布</li> <li>4 やまびこマーチ「おもてなしコース」・「案内人と歩く5Kmコース(赤石コース、風越コース)」のご案内</li> <li>5 りんごん翌日の清掃活動への参加</li> </ol>		
PRしたいこと	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 飯田、下伊那地区の観光案内は、ご依頼があればどこでもご要望にお応えできるように準備しています。是非お声をお掛け下さい。</li> <li>2 生活している場所でも、案外知らないことが多くあります。一度案内人と一緒に住み慣れた地区を歩いてみませんか、思わぬ発見があるかも知れません。</li> <li>3 ご案内はお一人様から団体様まで可能です。お申し込み窓口は飯田市観光課 (TEL 0265-22-4852 FAX 0265-22-4567)です。ガイドのお申し込みは希望日の1週間前までをお願いします。</li> </ol>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	各団体が企画するイベントなどで観光ガイドを実施したい。		
困っていること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 飯田観光ガイドの会をもっと活用していただきたい。</li> <li>2 会員数の確保・増員が難しく、案内依頼が集中した場合の対応が柔軟にできない。</li> </ol>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 飯田・南信州に愛着のある方で、ご案内する事に興味があり、かつウィークデーの日中にもガイドが可能な方。</li> <li>2 年会費は1,000円となります。</li> </ol>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	ろうどくほりしりかい	ニエツリ
団体名称	朗読奉仕の会	「声の輪」
(ふりがな)	なかむら ちよこ	
代表者氏名	中村 千代子	
設立年月日	56年12月9日 朗読奉仕の会発足 55年4月「声の輪」結成	
ホームページ		
新入会員の指導		
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 録音図書(声の本)を作成する</li> <li>2. 希望があれば、対面朗読を行う。</li> <li>3. 「声の輪」だよりを作成し貸し出す。</li> <li>4. より良い録音図書作成のために、例会を月に1度開き勉強研修を行う。</li> <li>5. 録音図書利用者と交流会を行う(年2回)</li> </ol>	
PRLしたいこと	<p>視覚障がいがある方、高齢により活字本が読みにくい方、物理的に本を利用できない方、入院されている方、寝たきり状態の方等を多くの方に是非利用していただくこと。</p>	 <p>講演会</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと		
困っていること	<p>音読→オ1校正→オ2校正→編集(デザイン校正)の過程を終了して、完成までには時間を要する 作業分担をどのようにすれば良いか。                  ・利用者が高齢化で利用率が低下している。利用者増加のためのPRはどのようにすれば良いだろうか。</p>	
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等 1年間 中央図書館主催の養成講座に参加した後、会員として登録する。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等 ・パソコン操作のできる方 ・ボランティアに対する積極的な思いがある方

（ふりがな）	いいだこどもげきじょう		
団体名称	飯田子ども劇場		
（ふりがな）	なかむらゆみこ		
代表者氏名	中村由美子		
設立年月日	1973 年 12月 1日		
ホームページ	<a href="http://iidakogeki.web.fc2.com/">http://iidakogeki.web.fc2.com/</a>		
活動内容	<p>子ども達の感性・想像力・生きる力を育むために、以下の活動を行っています。</p> <p>○定期的な舞台鑑賞 舞台劇・人形劇・音楽・芸能など様々なジャンルの舞台を、年齢に合わせて鑑賞しています。</p> <p>鑑賞をきっかけに、視野を広げたり、子どもの自主性を育てる活動を行っています。 ・終演後のバックステージツアー・当日の会場の飾り作り・出演者とのランチ交流会 鑑賞会の挨拶や受付などの係りの仕事などを行う。</p> <p>○キッズ・ファミリー・子ども達の自主的な参加を意識した活動</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">未就園児サークル</div>  </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">鑑賞会「世界のあそび」舞台上で一緒に体</p>		
PRしたいこと	<p>今年度は、創立45年目の節目として日本独楽博物館の鑑賞&amp;体験会「ちびっこアドベンチャー 世界のあそび」を取り組みました。日本と世界中のあそび(こま・大道芸ボードゲーム・民族衣装の試着・世界中のおもちゃや楽器)を自由に体験。</p> <p>子ども達が、『自分でやってみたくなる』 ⇒『少し頑張って練習して出きる体験をする』 ⇒『もっとやりたくなる』 ⇒『小さな成功体験を積み重ねる』 という目的のもと、多くの親子が集まりました。 「また、みんなで集まって練習したい」 という流れが生まれています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	◎舞台鑑賞の共同開催		
困っていること	◎子ども達と一緒に楽しむ、新規会員を広く募集しています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	赤ちゃんから、どなたでも。年齢制限はありません。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	

団体名称(ふりがな)	黒田人形保存会 くろだ にんぎょうほぞんかい (所在地 飯田市上郷下黒田)	
(ふりがな) 代表者氏名	かいちょう たかだ まさお 会長 高田正男 飯田市 上郷 黒田 1331番地(電話0265-52-5991)	
設立年月日	黒田人形の初まりは元禄年代(醜1600年)で以来遠々と伝承され、一度も途切れた事が無く、 <u>現在も伝承しています。</u> 保存会組織にしたのは昭和28年4月です。	
黒田人形専用舞台	間口8間・奥行4間・総二階建て。「出桁造りの本格構造・古さ・大きさ」が人形専用舞台としては日本一との事で、 <u>国有形重要文化財人形専用舞台第一号に指定。</u> 所在地 飯田市上郷黒田2346番地。	
黒田人形浄瑠璃伝承館	脇舞台も備え本格舞台・観客席150人程・楽屋4室等もあり種々の芸能上演や稽古・発表会表会に最適の重厚和風建物で時間貸出しもします。所在地・飯田市上郷黒田2344番地2。 電話 0265-56-6623 (非常勤) 問合せ先・上郷公民館 電話0265-24-7744	
ホームページ	<a href="http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/">http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/</a>	

活動内容

- ※ 黒田人形とは、浄瑠璃の語りで演じる人形芝居で、日本独特の伝統芸能で、淡路人形や大阪の文楽と同様です。黒田人形の芸は国選択無形文化財、舞台は国重要有形文化財の人形専用舞台第一号に指定です。
- ※ 郷土に伝承されている伝統芸能を更に伝承していくのが保存会の事業であり、その芝居の上演実技を担当する座員は保存会会員でなくとも同好の人を募集しています。この座員は、黒田以外に住む人でも構わず非常勤で同好クラブ的なもので稽古や上演の時に出席参加してもらえば良いのです。この人形芝居は、三味線の伴奏で語る義太夫に合わせて人形を動かし演じる人形芝居なので、その人手間が必要です。その必要手間とは、義太夫を語る「太夫」、その伴奏「三味線を弾く人」、人形を動かす「人形遣い」、その外に「裏方」等も必要。義太夫や三味線は専門家を招き、無経験の人にも、各個人毎に無料で教えて貰えます。
- ※ 上演は、定期公演と依頼を受けて行う出張上演があります。定期公演は毎年4月の第二日曜日午後1時からと、その前夜6時30分からの2日間を黒田人形専用舞台で行います。他には、いいだ人形フェスタや、伊那谷四座の発表会もあり、近年は個人の結婚披露宴などの席へも、目出度い芸の「寿式三番叟」を十分間程なので、上演依頼があって出張上演しています。
- ※ 高陵中学校と飯田女子高校に黒田人形クラブ部があり上郷小学校にはチャレンジ授業で黒田人形部があり、これら学校へ上演演技指導を、年間指導しています。



お伝えをしたい事

- ◎上記の定期公演は郷土伝統芸能で入場無料ですので、ご覧にお出掛け下さい。
- ◎団体や会社等の行事アトラクションに『寿式三番叟』など目出度い芸もある郷土伝統芸能黒田人形は出張上演しますので御呼び下さい。
- ◎一緒に上演実技をやって下さる方を増やしたいので、人形を動かす「人形遣い」、義太夫を語る「太夫」、その伴奏の「三味線を弾く人」、その外に「裏方」等も必要。義太夫や三味線は専門家を招き、無経験の人にも、各個人毎に無料で教えられます。一緒に人生を楽しんでください。
- ◎保存会で人形の実技をやるメンバーは、住む地域は黒田で無くとも結構で地域を問わず、男女を問わず入会でき、サラリーマン・主婦・熟年の人達を募集しています。現在30人ほどが実演仲間に入っています。人形遣い・三味線弾き・語る太夫など全く無経験の人でも大丈夫です。マンツウマンで細かに教えます。写真カメラ・ビデオ撮影や裏方も必要です。これらの活動に応募するには募集の条件等は特にございません。一緒に楽しくやってくれる方を募集しています。住まいは何処でも結構です。三味線はお貸しします。
- ◎飯田女子高校は、全国高校大会の催しが本県で開催予定で飯田開催をと牧野市長さんが、当校を指名されましたので当校では黒田人形クラブの部員募集をしています。生徒さん黒田人形部へ入部して下さい。

お問い合わせは、保存会長の高田(上記)か、事務局の上郷公民館(電話0265-24-7744)へどうぞ。

(ふりがな)	かがくこうさくきょうしつすいしんきょうぎかい		
団体名称	子ども科学工作教室運営協議会		
(ふりがな)	いとう としろう		
代表者氏名	伊藤 歳郎		
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	  <p>年間4回の子ども科学工作教室を実施          第1回 三極モーターカーの製作 三極モーターを組み立てて電池で動く車を製作します          第2回 スペースロボの製作 太陽光パネルを搭載したロボットを製作します          第3回 天体望遠鏡の製作 8種類の筒を組み合わせる天体望遠鏡を製作します。          第4回 センサーロボットの製作 音で動く4本足のロボットを製作します。</p>		
PRしたいこと	<p>飯田下伊那の小学校4年生から6年生までの子どもを対象にして45名定員で行っています。各回のキット代金は個人負担です。10の企業・高校等から指導に来て、個人的な指導をしてくれるので、保護者は同伴しなくても一日じっくり製作し完成して持ち帰れます。製作したものを動かして遊んだり、天体を観測したりできます。この教室ではもの作りへの興味関心を高めます</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	現在、飯田下伊那の企業9社と飯田OIDE 長姫高等学校の生徒さんなどが毎回指導に参加してくれます。他にも指導を希望する企業などがありましたら受け入れます。		
困っていること	子ども科学工作教室運営協議会への参加企業は9社です。もっと参加企業を増やして指導協力をしていただきたいと思います。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	募集はしていませんが、飯田市工業課(事務局) で受けれています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きざわちくかつせいかすいしんきょうぎかい		
団体名称	木沢地区活性化推進協議会		
(ふりがな)	まつした きよし		
代表者氏名	松下 規代志		
設立年月日	平成3年 4月 1日		
ホームページ	なし		
活動内容	<p>○地域資源を活用した交流による主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通年 5役会議、役員会、学校周辺整備作業、来校者受け入れ、遠山藤原学校他団体との交流、遠山森林鉄道復活支援ほか</li> <li>・6月～3月 市内の小学校(浜井場小学校)ふるさと体験学習受け入れ</li> <li>・遠山郷マラニック大会支援</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>霜月祭に参加する浜井場小学校の児童</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>遠山藤原学校 (沖縄の方々との交流)</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>・当協議会は、木沢小学校が休校になった平成3年4月に発足し、今年で27年目を迎えます。地域の活性化を図る為、その後廃校になった木造校舎を活用した各種交流による取り組みを行っています。</p> <p>・交流人口も年々増加し、木造校舎保存に賛同される来校者のご厚意と役員のボランティア活動のお陰で、施設の維持管理が行われています。</p> <p>・昔懐かしい木造校舎で日常生活からタイムスリップし、癒しの空間で子供のころの思い出に浸ってみませんか。各教室には各種団体の活動紹介や木沢の歴史的(霜月祭り、森林鉄道など)な展示品による紹介がされています。また、校長として親しまれている猫と教頭の犬もおり、訪れる方をやさしくお出迎えしています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体が企画・計画する各種交流事業等への木造校舎をはじめとする地域資源の提供(一部有償)		
困っていること	役員の高齢化と後継者の確保		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会の趣旨に賛同し会則に従って活動できる方で、当会が認めた方(地域外の方でも可)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ボランティア活動の趣旨に賛同し参加できる方(活動ごとに募集)

(ふりがな)	きねはらがっこうおうえんだん		
団体名称	杵原学校応援団		
(ふりがな)	いのうえ まさお		
代表者氏名	井上 征雄		
設立年月日	2005年5月		
ホームページ	<a href="http://kinehara.net/">http://kinehara.net/</a>		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> <span>デイキャンプ</span> <span>子供教室</span> <span>杵原学校</span> </p> <p>○年間を通じて活動を行っております。平均月に1～2回程度の事業を旧山本中学校、通称「杵原学校」を核にして実施しています。</p> <p>○主に、こども教室開催、農業体験、農場の運営、里山散策、大人向けの勉強会、南信州観光公社の体験教育旅行受入、その他校舎や敷地内の整備作業も行っております。</p> <p>&lt;子ども教室・農業体験・食文化教室&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャガイモ、さつまいも、白菜、大根など植付、収穫体験</li> <li>・土器づくり、おやすづくり、餅つき、紙飛行機づくり</li> <li>・柏餅、ジャガイモ料理、流しソーメン、おやき、さつまいも料理、五平もち、ケーキ作り、餅料理、恵方巻き</li> </ul> <p>&lt;里山・屋外体験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイキャンプ</li> </ul> <p>&lt;施設等整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除</li> </ul> <p>&lt;地域おこし&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杵原学校桜フォトコンテストの開催</li> <li>・杵原学校の枝垂れ桜見頃期間の桜まつり(おもてなし活動)</li> </ul> <div style="text-align: right;">  <p>フォトコンテスト</p> </div>		
PRLしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○個々の取り組み内容では出前の講師対応も可能なものもありますのでご相談ください。</p> <p>○木造校舎の保存、利活用を行っている団体と交流を深めたいです。</p>		
困っていること	<p>○今後、応援団員の平均年齢の高さからくる事業の継続性の問題</p> <p>○若い団員の確保</p> <p>○各事業での講師人数確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	時間とやる気のある方歓迎、経験不問。 費用負担は軽微ですが、報酬はほぼ無いので、それでも構わない方、地域外の方でも入会はOKです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	基本は会員と同様です。 ボランティア即、団員可ですのでお気軽にご参加下さい。 会則、会費などの複雑な縛りはありません。

(ふりがな)	みなみしんしゅういーだおもしろかがくこうぼう		
団体名称	南信州飯田おもしろ科学工房		
(ふりがな)	みうら ひろこ		
代表者氏名	三浦 宏子		
設立年月日	平成13年6月		
ホームページ	<a href="http://www.i-kagaku.net">http://www.i-kagaku.net</a>		
活動内容	  <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科実験ミュージアム 4月～11月(50回)</li> <li>・出前工房(30回)</li> <li>・小学校科学実験教室(6校)</li> <li>・保育園、小学校等の支援活動(20回)</li> </ul>		
PRしたいこと	<p>飯田市出身のサイエンスプロデューサー後藤道夫先生の「故郷飯田の子どもたちに科学の楽しさと不思議さを知ってもらいたい。科学を好きになってもらいたい。」という想いから始まった。かざこし子どもの森公園おいで館に拠点を置き、理科実験ミュージアムを開催している。大人でも子どもでも楽しい実験をめざし、科学をより身近に感じてもらうため、身のまわりにあるものを使った理科実験、工作の指導、実演を行っている。</p> <p>日常のあつと驚く不思議な体験や感動を通じて、子どもたちに考える力や科学の興味を持ってもらい、科学の楽しさを知った大人たちには、科学を通して地域活動の輪を広げ、地域を活性化する一助になりたい。</p> <p>また、飯田にしかない「超電導ジェットコースター」を使った珍しいサイエンスショーも実施している。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業に結びつけた実験メニューの開発、実施をしていきたい。</li> <li>・地域の青少年関係団体と連携しながら科学の輪を広げていきたい。</li> </ul>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	理科好きな方、子ども好きな方なら特に資格は問わない。

（ふりがな）	おみのさとしんこういいんかい		
団体名称	麻績の里振興委員会		
（ふりがな）	つつい せいいつ		
代表者氏名	筒井 誠逸		
設立年月日	平成11年 4月 1日（平成6年設立、平成11年再編成）		
ホームページ	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">座光寺</div> で検索		
活動内容	<p>座光寺地域中段には元善光寺・高岡1号古墳（県宝）・麻績学校舞台校舎（県宝）・南本城（県史跡指定）・麻績の里舞台桜（市天然記念物）・石塚桜 さらに、恒川官衙遺跡（国史跡指定）等多くの文化遺産が集積している。これらの文化遺産を保護活用し、地域振興に繋げるため、地域住民が自ら行動することを基本に座光寺地域自治会の特別委員会として4班編成で活動を展開している。</p> <p><b>各班の主な活動として、</b>  <b>1班:</b> 元善光寺門前町（県道市場桜町線）の活性化  <b>2班:</b> 南本城の山林整備、遊歩道の草刈、史跡案内看板の整備  <b>3班:</b> 麻績舞台校舎の活用、舞台桜保護・周辺整備  <b>4班:</b> 南信州を軸とする竹宵による地域活性の展開</p>		
PRしたいこと	<p>『自ら考え、自ら行動する「麻績の里づくり」』を合言葉に、地域の有志ボランティアで活動を継続している。会員の職業も様々で、活動になかなか参加できない会員もいるが、強制的な召集は行っていない。活動にあたっては“自分たちが楽しみながら地域を盛り上げる”が活動継続の力となっている。</p> <p>☆座光寺のホームページをぜひご覧下さい☆</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>今後はリニア建設・開通に伴い、様々な地域状況や生活の変化が生じ、なにより長野県の玄関口として県内外大都市から人の往来により、広範囲な交流・国際化が想定される。そのような変化を機として座光寺地域の魅力を発信し、地域振興のため、従来からの活動の継続と充実はもとより、新たな発想で新たな活動及び柔軟な対応が必要となる。それらを課題とした他団体との意見交換や交流を行いたい。</p>		
困っていること	<p>会員のほとんどは50代以上の男性であり、若年層や女性の加入が課題</p>		
会員募集（募集の場合は○、しない場合は×）	○	条件等	地域会員を基本とする
ボランティア募集（募集の場合は○、しない場合は×）	○	条件等	大変な作業を笑顔で出来る方



(ふりがな)	とおやまやまのかい		
団体名称	<b>遠山山の会</b>		
(ふりがな)	こざわきんぞう		
代表者氏名	小澤欣三		
設立年月日	平成12年頃 (以前よりの活動を統合)		
ホームページ			
活動内容	  <p>西澤渡の渡し修繕H28.7                      登山道整備 西澤渡手前 H28.7</p>    <p>中学登山サポート 熊伏山 H26.7      易老渡簡易トイレ設置 H29.6      登山道倒木処理 池口岳 H28.9</p>		
PRしたいこと	   <p>聖岳(百名山)                      光岳(百名山)                      池口岳</p> <p>こんなに素晴らしい自然が身近にあることを自分の眼と体で確かめてみてください！</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体と情報交換をしながら大勢の人が気楽に山を楽しめるようにしたい。		
困っていること	アクセス道路や、登山道の整備が間に合わないこと。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	入会金2000円、年会費2000円。一緒に山岳と酒を楽しめる老若男女。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	一緒に登山道整備等の環境保全に汗を流してくれる人。

(ふりがな)	しゃかいりりょうほうじん りつざんかい いいだびょういん		
団体名称	社会医療法人 栗山会 飯田病院		
(ふりがな)	ちば きょう		
代表者氏名	理事長 千葉 恭		
設立年月日	明治36年 9月 1日(1903)		
ホームページ	http://www.iida.or.jp		
活動内容	  <p>当病院は、病院理念の具現化として「医と文化の融合」を掲げ、各種の文化事業に取り組んでいます。特に一流の演奏家を招いて病院エントランスホールで毎月1回行う「ロビーコンサート」は、非常に好評を博しており、さらにロビー空間への絵画・写真作品などの展示活動等は「公開」の精神に貫かれております。</p> <p>また、最先端精神科医療を学ぶ「精神科公開ゼミ」、院内での事例研究発表を行う「飯田病院学会」などの活動も活発に行っています。</p> <p>病院そのものを地域におけるアメニティー空間として一般に開放するなど、文化による「交流」の場を地域に創出しています。</p>		
PRしたいこと	<p>諸活動の中でも特に病院ロビーをコンサート会場として使用し、入院患者さんをはじめ来院者が、一流の演奏家による生の音楽を無料で気軽に楽しむこと出来る「ロビーコンサート」は、毎月1回原則として土曜日に開催しておりますが、平成29年12月2日で171回となり市民の皆様から極めて高い評価をいただいております。</p>		 <p>第171回 ロビーコンサート 初雪のコンチェルト</p> <p>吹奏 菅之 Densaki Ritsu ピアノ 上川 佳穂 Kana Kishino</p> <p>2017年12月2日(土) 18:00 開場 飯田病院エントランスホール 18:30 開演 入場無料</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	特になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	みなみしんしゅうたけよいかい		
団体名称	南信州竹宵の会		
(ふりがな)	せきじま ともひろ		
代表者氏名	関島 友弘		
設立年月日	平成15年		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p>例年6月に『竹宵祭り 百万人のキャンドルナイト』に参加 大晦日に川路神社(川路)、一色神社(鼎)、麻績神社(座光寺)にて、除夜の竹宵を実施</p>		
PRしたいこと	<p>荒れた竹林を整備した際に出た竹で、竹ぼんぼりを制作し、地区の神社などで竹宵を行い、幻想的な世界を演出してきた。 全国規模で行われているキャンドルナイトの一環として、南信州で例年6月に実施している「竹宵まつり 百万人のキャンドルナイト」IN南信州」に参加し、身近な素材である竹を利用して環境に関する啓発活動を行っている。 また、竹を粉末にしたものを材料として、県の農業試験場と連携を取り家畜飼料に混合する研究を行うなど、新たな産業づくりに取り組んでいる地区もある。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体の依頼により、諸会場(飯田りんごん・県政タウンミーティングなど)を竹ぼんぼりによるライトアップで演出した経緯がある。		
困っていること	竹ぼんぼりを活動ごとに用意するため、材料となる太い竹の確保 高齢化に伴う会員不足		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし

(ふりがな)	おおみやとおりさくらぼぞんかい		
団体名称	大宮通り桜保存会		
(ふりがな)	いのうえ もとし		
代表者氏名	会長 井上 基		
設立年月日	昭和46年 4月 1日		
ホームページ	なし		
活動内容	  <p>                     ❀ 東野地区のシンボルとしての並木を大切に春の桜まつり、初夏の土壌改良作業、秋の紅葉、初冬の落ち葉掃除、冬のイルミネーション、四季を通して緑化事業、公園・道路愛護会活動を実施しています。                      ❀ リニア新幹線開通を見据えた(桜並木再整備検討委員会)を再開し桜の長寿命化を前提とした取り組みを橋北、東野両地区のまちづくり会議、委員会と共に検討中です。                 </p>		
PRしたいこと	5月27日 竪穴式土壌改良作業実施。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>                     ❀ 東野地域のシンボル桜並木を地域の人に喜んで貰い大切に公民館の各種団体の芸能発表や地域文化の学習の場所(文化育)としての役割。                      ❀ まちづくり会議基本構想地域文化財(桜並木と景観)としての役割。                      ❀ 社会福祉体験学習の場所としての役割。等人にやさしい並木であり各種企業、学校の地域人教育等の場所としての活動の場所としての役割、を担う活動をしたいと思います。                      ❀ ご提案ください。                 </p>		
困っていること	保存会9町内の高齢化に伴い青壮年会の助けが重要になっている。10年先に安心して引き継ぐ保存会であることを確認したいと思います。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	橋北地域の方々大歓迎です。桜並木を大切にとっている方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	緑化事業、桜まつり、イルミネーション等に参加できるスタッフ

(ふりがな)			
団体名称	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師		
認証年月日	平成16年 7月 7日		
(ふりがな)	なかじま むつお		
代表者氏名	中島武津雄		
主な事務所の所在地	飯田市下久堅下虎岩2235		
ホームページ	<a href="http://vamabousi.net/">http://vamabousi.net/</a>		
主な活動分野	地域活性化、環境保全		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然エネルギーハウス「風の学舎」の貸し出し</li> <li>・視察の受け入れと環境研修の提供</li> <li>・体験学習「農林業、伝統食等」の受け入れ</li> <li>・都市農村交流事業</li> <li>・森集人プロジェクト(里山の間伐搬出)</li> <li>・木の駅プロジェクト(クラフト製品や薪の販売)</li> <li>・大豆人プロジェクト(大豆栽培と味噌造り)</li> </ul>		
PRしたいこと	<p>2017年11月に木材加工販売施設「木の駅ひさかた」をオープン。里山保全や自然エネルギーの利用推進を図るため、南信州産の木材を活用し、テーブルなどのクラフト製品や薪を販売するほか、体験工房としてDIY希望者に施設の貸し出しを行っています。 営業時間は10時～16時。見学も自由です。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	視察や環境学習の受け入れで行政や学校などとの連携協力 体験学習の受け入れ「木工体験、豆腐づくり、ソバ打ち、薪割り、菌打ち、間伐材搬出他」		
困っていること	次の時代を担ってもらう人材の確保		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費5000円。会の活動の趣旨に賛同
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	NPO活動体験。参加期間等により応談

(ふりがな)	ちいきぐるみかんきょうあいえすおーけんきゅうかい		
団体名称	<b>地域ぐるみ環境ISO研究会</b>		
(ふりがな)	だいいょう せき しげお (たまがわせいきかぶしきかいしゃ)		
代表者氏名	代表 関 重夫 (多摩川精機株式会社 代表取締役社長)		
設立年月日	1997年11月 (設立時の名称は「地域ぐるみでISOへ挑戦しよう研究会」)		
ホームページ	<a href="http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujouhou/isokenkyuukai.htm">http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujouhou/isokenkyuukai.htm</a>		
活動内容			
	研究会参加事業所の実務者全体		ISO 14001規格改訂内部監査員養成
活動内容	<p>研究会の「活動理念」は、地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。参加事業所それぞれの枠を超えた活動を展開し、「点」から「面」を合言葉に、地域全体で環境改善活動を展開することを視野に入れて活動している。</p> <p>(1)ISO 14001の認証取得の相互支援  (2)従業員・職員を通じての市民の環境意識の向上  (3)地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の構築・普及  (4)温室効果ガス削減に向けた省エネ等対策の普及  (5)講師を招聘してのISO関係の研修会の開催  (6)市の環境行政への支援</p>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在51事業所で運用されているISO 14001を基にした地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」は、研究会が構築・審査・支援している中小・零細事業所向けの仕組みである。</li> <li>・飯田市の環境モデル都市選定や日本の環境首都コンテストにおける「明日の環境首都」称号の獲得は、研究会の取り組みが大きく評価された結果であり、研究会活動は1事業所として研究会に参加する飯田市役所の環境政策推進に大きく貢献している。</li> </ul>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体への省エネなど環境一斉行動週間への参加の呼びかけ</li> <li>・講師を招聘してのISO関係の研修会への参加のよびかけ</li> <li>・研究会主催や飯田市との共催による環境講演会やセミナーへの参加呼びかけ</li> </ul>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会の活動理念や活動内容に賛同でき、ボランティアな活動に関われる事業所
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会そのものがボランティアな活動を行う組織であり、「南信州いいむす21」の審査・支援など研究会会員事業所の実務者等によりボランティアな活動によって進められている。

(ふりがな)	りんごなみきにはなをうえるかい		
団体名称	りんご並木に花を植える会		
(ふりがな)	はら つとむ		
代表者氏名	原 勉		
設立年月日	平成14年		
ホームページ	なし		
活動内容	  <p>毎年12月初旬に、りんご並木周辺にチューリップ球根を始めとした植え付けを行います。冬を超えた花々は翌春のゴールデンウィーク前後に満開を迎えます。開花後は来年に向けた球根の掘り取り作業を行います。[写真]↑</p> <p>飯田東中学校の皆様との共同作業の様子。参加者全員が一体となって作業に取り組んでいます。昨年の植え付け作業では、りんご並木の周囲全体で約6,000球のチューリップ球根を植え付けしました。</p>		
PRしたいこと	<p>りんご並木は飯田市民の心の拠り所であり、かつての大火からの復興を象徴するシンボルとして今でも多くの人々が訪れる場所となっています。私たちは、そんな地域を代表する場所の周囲にチューリップを中心とした花々を定植させることで当地の景観美化に努めています。これからもりんご並木を花々で彩り、美しい「丘の上」、美しい「飯田の街並み」を維持できるよう環境作りに励んでまいります。</p> <p>★満開を迎えたチューリップを始めとした花々[写真]⇒</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>ここ数年、飯田東中学校の皆さんの「並木活動」と連携し、球根植え、掘り取り作業を共同で行っております。社会人を中心としたメンバーと、中学生の方々が共にりんご並木に集い、目的を同じくして作業に取り組むという一種の世代間交流が生まれ、非常に有意義なことと考えております。今後もこうした多様な連携を継続していけるよう尽力してまいります。</p>		
困っていること	<p>参加メンバーの増員・募集活動 チューリップ球根の安定的な確保体制 情報発信の強化</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	りんご並木を愛し、本会の趣旨に賛同頂ける方 年2回の大きな作業(球根掘り取り・球根植え)に参加可能な方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	上記の作業に参加頂くことを会員活動の要としているので、別途ボランティアといった形式はとっておりません。

(ふりがな)	かれいなるおんがくさいじっこういんかい		
団体名称	華齡なる音楽祭実行委員会		
(ふりがな)	ふくしましげよし		
代表者氏名	福島茂喜		
設立年月日	平成25年 1月 15日		
ホームページ	無し		
活動内容	  <p>高齢社会の今求められている高齢者の積極的社会参加と若者たちとの協働を目的に、出演者は全員60歳以上、平均年齢が80歳を超えるグループも出演する音楽祭の開催を主とした活動としている。 開催までの会議では実行委員のメンバーやシニア大学生、そして高校生と一緒に内容の協議をしています。 音楽祭終了後は出演者そして裏方が参加し世代を超えた交流を実現しています。</p>		
PRしたいこと	<p>「お年なのに」ではなく「お年だからこそ」の音楽を一堂に会して楽しみましょうというのが、この音楽祭の趣旨です。「発表会ではなくコンサートとして」という気持ちで皆さんが演奏しています。そんな姿を若者が見て「自分もこんな歳の取り方をしたい」と言ってくれます・・・でも高齢者はその若者のサポートでステージに立っています・・・こんな関わりを大切にしながら楽しく行っています。多くの方々にそれぞれの形でご参加いただければ幸いです。</p>  		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	現在も県のシニア大学やOIDE長姫高等学校、高校音楽系クラブなどと連携していますが、より多くの団体と繋がりたいと考えています。		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営資金の調達</li> <li>・実行委員幹部の高齢化</li> </ul>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	人の繋がりを大切と考える若手・・・70歳くらいまでの方！は大歓迎です
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	意欲があり楽しみたいと考えている方

(ふりがな)	ゆめくらぶ		
団体名称	夢くらぶ		
(ふりがな)	きのした たけと		
代表者氏名	木下 武人		
設立年月日	平成 18 年 4 月 1 日		
ホームページ	shimokitadreamclub.web.fc2.com		
活動内容	 <p>4月 8日 黒田人形奉納公演鑑賞          6月11日 春のフルーツライン清掃          6月29日 大型テント購入【ムトス支援金】          7月22日 納涼祭 屋台出店 (テント披露)          7月30日 献血奉仕活動 *献血協力人数45名          9月11日 秋のフルーツライン清掃          10月8日 黒田諏訪神社秋季祭典 お神輿参加</p>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのやりたいことを楽しくやりながら、地域に貢献したい。</li> <li>・地域の仲間づくり</li> </ul> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下黒田北地区在住、もしくは地区内にお勤めの方 出欠の連絡を必ずしてくれる方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

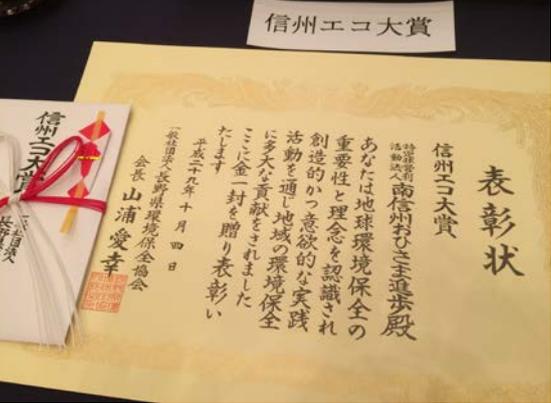
(ふりがな)	きっずやまもとだいさくせんすいしんいんかい		
団体名称	キッズ山本大作戦推進委員会		
(ふりがな)	たけむら けいし		
代表者氏名	竹村 圭史		
設立年月日	平成23年 7月		
ホームページ			
活動内容	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>○山本のすべての人が子どもたちの親(P)であり教師(T)であるという理念のもと、山本の子どもたちのために「見守り」「教え」「はぐくむ」活動を展開しています。</p> <p>○杵原学校応援団、山本地域づくり委員会育成部とキッズ山本大作戦推進委員会が共催で行った「杵原学校デイキャンプ」。(8/6)</p> <p>○山本小学校体育館に旭ヶ丘中学校吹奏楽部、合唱部、飯田市民吹奏楽団、山本小学校5・6年生などが集まり、それぞれの演奏やコラボレーションを楽しんだ「キッズ山本大作戦音楽フェスタ」。今回、山本小学校の音楽会と同日開催しました。(11/12)</p> <p>←”山本小学校音楽会&amp;キッズ山本大作戦推音楽フェスタ”のパンフレット</p> </div> </div>		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とおやまごうかんこうきょうかい		
団体名称	遠山郷観光協会		
(ふりがな)	こんどうちかお		
代表者氏名	近藤力夫		
設立年月日	平成17年10月1日		
ホームページ	tohyamago.com		
活動内容			
	遠山郷観光大使 とおやま丸 平岡駅にて信州DCキャンペーンH29.7		チャレンジマラニックin遠山郷 H29.9
伊那山脈と南アルプスに挟まれた遠山郷。 遠山へ来たら、かぐらの湯のとなりにある「アンバマイ館」にぜひお寄り下さい。遠山郷観光協会はこのアンバマイ館の中にあります。「アンバマイ館」の名前の由来は、「あんばまいか」。「アンバマイカ」とはこの地方の方言で「遊びましょう」という意味。 観光案内所やホームページを通して、遠山郷の魅力を知ってもらったり、住民との交流			
PRしたいこと	遠山郷は長野県の最南端、南信濃・上村地方の山深い谷これぞ日本の秘境です。 国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉「かぐらの湯」、日本の原風景が残る場所下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水、山と溪谷に囲まれた里山がここに 있습니다。 心安らぎ、人情味溢れる遠山郷へのお越しをお待ちしています。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	情報発信、地域振興における連携、役割分担。		
困っていること	地域として、過疎化・高齢化が深刻になってきていること。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	遠山郷では、遠山郷の外に住んでいて、遠山郷を応援して下さる「第二のふるさと村民」を募集しています。入会金も会費も無料ですが、特にお得な特典はありません！何も特典はありませんが、あなたの心のふるさとにして、応援してくれると嬉しいです。

(ふりがな)	かすがにはちかい		
団体名称	春日二八会		
(ふりがな)	なるみかずひこ		
代表者氏名	鳴海和彦		
設立年月日	平成16年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	<p>平成16年にそば打ちの初心者10名程でスタートしました。翌年から蕎麦の栽培も手掛け、遊休荒廃地の解消にも一役買っています。現在2か所で15aほど栽培。会員は18名で素人そば打ち段位の有段者は10名。地域の文化祭、JA祭、ほたる祭り、賀詞交換会等に参加して、そば打ちの技術を上げる一方、小学校でもそば打ちの指導を行っています。29年は、一般対象のそば打ち講習会を5回開催しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>は種前の除草作</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ほたる祭り準備</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>平成26年には、月に一度営業をしたそば食堂のそばです以降、現在までスタッフ不足により中止していますが、再開したらお越しく下さい。 そば打ち講習会には、そば打ち段位、2段以上のスタッフが親切丁寧に指導します。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	同じような活動をしている団体がありましたら、交流したいです。		
困っていること	そば畑の雑草が多くて収量が上がりません。雑草対策の秘訣ありませんか？		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	飯田 市龍江地区内および周辺の方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	原則無報酬です。そば打ちイベント等で人手が不足する時

(ふりがな) 団体名称	た しな りん の か い 駄科りんの会		
(ふりがな) 代表者氏名	はやし げ こ 林 重子		
設立年月日	25年 4月 / 日		
ホームページ	なし		
活動内容			
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	可能。 高会者グループなら ほんでも 1ヶ所に出来る。		
困っていること	事務的なことをしてくれ人かほしい		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし

(ふりがな)	きょうほく おもしろ くらぶ		
団体名称	橋 北 面 白 俱 楽 部		
(ふりがな)	あいづ ひろと		
代表者氏名	座長 相 津 博 人		
設立年月日	平成19年 4月 1日		
ホームページ			
活動内容	 <p>活動内容 4月 橋北桜まつり 7月 橋北夏祭り 11月 県縦断駅伝の応援 12月 橋北イルミネーションフェスタ(旧飯田測候所) 橋北まちづくり委員会と連携しながら事業の企画実施をしています。 橋北地区にある施設、自然を地区内はもちろん、地区外の方に知ってもらいたいとの 思いから住民有志で活動しています。</p>		
PRしたいこと	<p>私たちの趣旨は、「面白そうならやってみる」「出来ることは自分たちでやる」です。 橋北の桜PR、橋北夏祭りの賑わい、駅伝小旗作成、イルミネーションの飾り付けなどを会員の手だけで協力し合い作業しています。 写真のイルミネーションは、東栄公園にある長い滑り台を飾らせていただきました。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>イルミネーションフェスタについては趣旨に賛同して下さる団体、企業、学校などのお力をお借りできると幸いです。(イルミネーションの企画、飾り付け) 例年、おひさま進歩エネルギーさんに御協力いただき、旧飯田測候所の有効利用、及びPRを考えて一緒に活動しています。 夏祭りでは、飯田OIDE長姫高校の方にお手伝いいただきました。</p>		
困っていること	<p>会員の高齢化の為、事業の継続 若い会員の確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	橋北地区在住者で趣旨に賛同して協力できる方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	毎年、12月に行っているイルミネーションフェスタにつき、他地区、企業、学校の協力及び参加を募集しています。

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん みなみしんしゅうおひさましんぽ		
団体名称	特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩		
(ふりがな)	こぼやし としあき		
代表者氏名	小林 敏昭		
設立年月日	2004/5/27		
ホームページ	<a href="http://www.ohisama-shinpo.or.jp">http://www.ohisama-shinpo.or.jp</a>		
活動内容	<p>①地球温暖化防止を図る活動                  ②まちづくりの推進を図る活動                  ③社会教育の推進を図る活動                  ④子どもの健全育成、環境教育の推進を図る活動                  ⑤前号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言、援助の活動</p>   		
PRしたいこと	<p>当NPOは発足当初に、市民等から寄付をいただいて、鼎切石の明星保育園に3kWの太陽光発電システムを設置して、太陽光市民共同発電所「おひさま発電所1号」を開設しました。園児たちが、おひさまのパワーを身近に感じて、自然エネルギー活用や地球温暖化防止を推進する力となってくれたら嬉しいです。</p> <p>幼児環境教育としては、市内外の児童施設等においても、パネルシアターや講話をしています。太陽光発電の仕組みや自然の大切さ、省エネの普及などを、子供たちにわかりやすく伝えています。</p> <p>2016年5月からは「飯田自然エネルギー大学校」を開校し、再生可能エネルギーの普及を見据え、各地域で求められる環境エネルギーの人材エキスパートの育成に寄与してきました。</p> <p>今年度は、早大教授らの視察を受けて活動を紹介したり、阿智村の若い主婦を対象とした省エネ講座を受けるなど、環境学習も担ってきました。そして……</p> <p>♪長野県環境保全協会の「信州エコ大賞」を受賞しました♪</p> <p>今後も、エネルギーの地産池消と、持続可能な地域社会を実現するために、環境教育や地域活動にがんばります。</p> <div data-bbox="1034 1406 1457 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>&lt;さんぼちゃんの誓い&gt;</b></p> <p>いらないでんきはつかいません                  あかるいでんきは たいようからの おくりもの                  おひさまパワーで あかるい まいにち                  みんなでなろう さんぼちゃん</p> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>◇地球温暖化防止活動や環境教育の推進を図る事業。                  ◇各地区の公民館やまちづくり委員会と連携し、環境問題を課題に地域のまちづくりに関わる事業。(住民向け省エネ講座、文化祭へのワークショップ出展、春休み・夏休みのイベント企画・出前講座)</p>		
困っていること	一緒に活動してもらえる新規会員を求めています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地球温暖化防止、自然環境保全、当NPOの活動に取り組める方 (連絡先:事務局 池戸 090-4007-6076)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地球温暖化防止、環境教育、まちづくりなどに関心・関心がある

(ふりがな) 団体名称	うたうふれあいぼらんていあ もみじのかい 歌うふれあいボランティア もみじの会		
(ふりがな) 代表者氏名	なかじま しげる 中島 茂		
設立年月日	平成24年11月1日		
ホームページ	なし		
活動内容	活動状況 (写真)  <p>・活動に必要な機材等の搬送する状況                  ◎活動を始めたころの会員は、20名近くいましたが、2年目頃から現在のメンバー(12名)です。                  ◎訪問先施設等の数も若干の増減がありまして現在20ヶ所です。                  ◎新規受け入れもしていますが、最初から月平均18か所の訪問活動をしていましたので、物理的にそれ以上の訪問要請に応じられない状態です。                  ◎同じ曜日の希望もありますので、一日午前午後の2回活動する日もあります。</p>	活動状況 (写真)  <p>・訪問先にて音響等の設置準備状況                  ◎現在の予約状況は、平成30年12月まで日程表は埋まっています。                  ◎活動内容ですが、はじめた当初からの全く同じ内容で3年間続けていますが、(大正琴で童謡・唱歌3曲、カラオケで5~8曲、最後に“きよしのズンドコ節を踊って締める)このパターンを変えようにも変えられないほど定着しきっています。</p>	
PR したいこと	(PR やコマーシャルを、イラスト・写真・マンガなど自由に入れて、楽しく情報発信してください!)		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	踊りやフラダンス・マジックショーなどをボランティアで活動している団体の発表の機会を受け入れて行っています。		
困っていること	特にありませんが、何れ会員の高齢化を心配しています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	もみじの会の目的などに賛同される方を募ります	条件等	・60歳又は70前半のできれば独身女性
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	・地域の高齢者等介護施設において、「歌うボランティア」を必要としていますので、グループを起ち上げて活動することを期待します。

(ふりがな)	ちよ やがいおんがくさい じっこういんかい		
団体名称	千代野外音楽祭実行委員会		
(ふりがな)	もりやま けんじ		
代表者氏名	森山 賢治		
設立年月日	H27年 3月 10日		
ホームページ			
活動内容	   		
PRしたいこと	 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体との連携は考えていません。		
困っていること	1、ステージが野外なので天候に左右される。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

団体名	とくていひえいりかつどうほうじん よつば				
	特定非営利活動法人 よつば				
代表者氏名	りじちょう いまむら たかあき				
	理事長 今村 隆 昭				
設立年月日	平成14年10月1日				
ホームページ	なし	住所	飯田市久米436	電話	25-3227 か 25-2277
活動内容	<p>宅老所として、毎週金曜日と趣味の教室は月末の月曜日にそれぞれ午前9時から午後3時30分まで開催し、昼食や送迎はスタッフが行っています。</p> <p>活動内容は、「ぴんぴんころりん」を理念として、寝たきりや介護にならないように脚腰の体操、脳トレ運動等を実施すると共に、楽しい余興や講演会もとり入れ、特に笑う、話をする、体操を基本に1日を楽しく過ごすことが出来るように力を入れておりま</p>				
	 <p>趣味の教室手芸</p>		 <p>保育園児との交流</p>		
PRしたいこと	参加者はこの開催日を本当に楽しみにしており、それに答えるためにスタッフは生きがいを持ち、頑張っている。このような活動は飯田市の中でもは山本だけです				
多団体との連携が可能なこと・したいこと	超高齢化が益々進む中で、国の社会福祉対策も切り捨てられてきました。このような現状の中で、一線を退いて元気な方はこれからの余生を三等分つまり家庭、趣味、特に社会参加を期待したい。これからは、高齢者が仲間である高齢者を支えていくことが大切。各地区でこのような宅老所が開設されることを望みたい。				
困っていること	スタッフの若返り				
会員募集	×	条件等			
ボランティア募集	○	条件等	ボランティアが主であるが少々お礼有り		

(ふりがな)	りんごなみきにはなをうえるかい		
団体名称	りんご並木に花を植える会		
(ふりがな)	はら つとむ		
代表者氏名	原 勉		
設立年月日	平成14年		
ホームページ	なし		
活動内容	  <p>毎年12月初旬に、りんご並木周辺にチューリップ球根を始めとした植え付けを行います。冬を超えた花々は翌春のゴールデンウィーク前後に満開を迎えます。開花後は来年に向けた球根の掘り取り作業を行います。[写真]↑</p> <p>飯田東中学校の皆様との共同作業の様子。参加者全員が一体となって作業に取り組んでいます。昨年の植え付け作業では、りんご並木の周囲全体で約6,000球のチューリップ球根を植え付けしました。</p>		
PRしたいこと	<p>りんご並木は飯田市民の心の拠り所であり、かつての大火からの復興を象徴するシンボルとして今でも多くの人々が訪れる場所となっています。私たちは、そんな地域を代表する場所の周囲にチューリップを中心とした花々を定植させることで当地の景観美化に努めています。これからもりんご並木を花々で彩り、美しい「丘の上」、美しい「飯田の街並み」を維持できるよう環境作りに励んでまいります。</p> <p>★満開を迎えたチューリップを始めとした花々[写真]⇒</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>ここ数年、飯田東中学校の皆さんの「並木活動」と連携し、球根植え、掘り取り作業を共同で行っております。社会人を中心としたメンバーと、中学生の方々が共にりんご並木に集い、目的を同じくして作業に取り組むという一種の世代間交流が生まれ、非常に有意義なことと考えております。今後もこうした多様な連携を継続していけるよう尽力してまいります。</p>		
困っていること	<p>参加メンバーの増員・募集活動 チューリップ球根の安定的な確保体制 情報発信の強化</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	りんご並木を愛し、本会の趣旨に賛同頂ける方 年2回の大きな作業(球根掘り取り・球根植え)に参加可能な方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	上記の作業に参加頂くことを会員活動の要としているので、別途ボランティアといった形式はとっておりません。

(ふりがな)	まるやままちづくりいいんかい みらいへつなぐ かざこしさんろく わくわくプロジェクト		
団体名称	丸山まちづくり委員会 (未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト)		
(ふりがな)	かいちょう おざわ のぶよし		
代表者氏名	会長 小澤伸好		
設立年月日	平成 29年 3月 1日		
ホームページ	無し		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸山地区のシンボル花木である、「ナデシコ」、「ベニマンサク」の種子を風越山の自生地から種子採取や挿し木を行い育苗する。</li> <li>・風越山から採取したヤマザクラの種から育苗した苗を管理し、植栽場となる山林の整備を行う。(植栽H30年3月17日予定)</li> <li>・風越山マラソンの参加者に対するおもてなし事業として、次代を担う小中学校児童生徒も参加してもらい、スタート、ゴール地点へ花を飾る。</li> <li>・地域住民へ当該事業への参加を促すために、イベント時に丸山のシンボル花(ナデシコ)の苗を配布する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>プロジェクト会員集合写真</p> </div>		
PRしたいこと	<p>今後のリニア中央新幹線の開業を見据え「風越山」を活用した交流人口増に向けた、さまざまな取り組みを行っていきます。</p> <p>H30年度事業(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登山ガイドの育成</li> <li>・植栽後のヤマザクラの育苗管理</li> <li>・地域の子供を対象としたツリークライミング(木登り)・樹木観察会の開催</li> <li>・休耕田を活用したブルーベリーの植栽 (主に風越山登山者を対象としたブルーベリー狩りを予定)</li> </ul>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	風越山への登山ルートとして高鳥屋山ルート(羽場)、円悟沢・今庫の泉ルート(羽場)、権現道ルート(上郷)がある。羽場地区・上郷地区と連携して、ふるさとの山「風越山」を大切な資源としてみんなで守っていききたい。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	当該団体の活動に賛同していただける方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	風越山の登山ガイド

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい		
団体名称	羽場まちづくり委員会		
(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい かいちょう はらしゅうじ		
代表者氏名	羽場まちづくり委員会 会長 原修司		
設立年月日	平成26年4月1日		
ホームページ			
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>サル追い払い用煙火安全使用講習会...29年7</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サル捕獲用大型檻の設置...飯田市大休29年</p> </div> </div> <p>サルの被害を防ぐ警備体制づくり          平成26年度から28年度まで3年間に亘り「ムス飯田助成金事業」として、助成金の交付を受け各種事業を展開してきた。3年を経過し29年度はムス助成事業の対象外となったが、サルは正永町1、2丁目と大休の山際に相変わらず出没し被害が発生しているため、引き続き羽場まちづくりの事業として「サルの被害を防ぐ警備体制づくり」を実施をした。今年度は飯田市の有害鳥獣対策協議会から、「サルの追い払い用煙火」の現物支給と「サル用大型捕獲檻」一基の支給を受けた。大型捕獲檻は大休地籍に11月に設置、12月現在一頭のサルを捕獲した。</p>		
PRしたいこと	<p>特になし</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>PRやコマーシャルを、イラスト・写真・マンガなど自由に入れて、楽しく情報発信してください！</p> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>羽場地区だけの取り組みでは、サルは一時的に近隣の上郷・座光寺や切石・伊賀良地域に逃げしており、抜本的な駆除に至っていない。今後の展開としてはそれらの地域との連携による横断的対策が必要と考える。</p>		
困っていること	<p>羽場地区におけるサルの出没は一時に比較すれば減っており、サル被害防止対策の効果は認められる。当面は煙火による追い払い策を継続することが有効手段として実施しているが、際限の無い取り組みで今後の係わる資金と人の継続的な手当に心配がある。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	無し	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	無し	条件等	

(ふりがな)	つながるにじのかい		
団体名称	つながる虹の会		
(ふりがな)	こいで まりこ		
代表者氏名	小出 真理子		
設立年月日	28年 5月 2日		
ホームページ	<a href="https://www.facebook.com/1217nijinokai/">https://www.facebook.com/1217nijinokai/</a>		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>映画「うまれる」「ずっといっしょ」の自主上映会を飯田人形劇場にて行う。上映の合間を利用して舞台やフロアを活用してフラダンス教室の発表会・クリスタルボウルの演奏会・パンの販売・フリーマーケットを行う。          映画上映についての集客・宣伝・ポスター張りの依頼などを行い地域の方との連携を図りネットワークの強化をはかる。</p>		
PRしたいこと	<p>映画上映会を通じて出産・子育て・家族とのつながり・命の大切さについて考え感じあう機会を作りたいと思っています。上映に来て下さる皆様、そして企画する私たちもわくわくしたり癒されたり、ほっと和やかな気持ちになれるようなイベントの組み合わせ、飲食の提供などを考えています。</p> <p>うまれる命、旅立つ命……。いのちに向き合う家族を描いた、笑いと涙、愛の物語。</p> <p><b>魂が号泣する 映画「うまれる」シリーズ</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のNPOなどの託児を行っている団体に託児の外部委託</li> <li>・まちづくり委員会との共同で地域の公民館を回って上映会を実施したくさんの方に見ていただく機会を提供すること</li> </ul>		
困っていること	特別になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	やる気があればどなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	同上

(ふりがな)	きょうほくまちづくりいいんかい		
名 称	橋北まちづくり委員会		
(ふりがな)	ふじもと まさる		
代表者氏名	藤本 勝		
ホームページ			
メールアドレス	<a href="mailto:kyouhoku@gmail.com">kyouhoku@gmail.com</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「豊かな歴史・文化がいきづき、活力にあふれ、誰もが健康で安心して暮らせる明るいまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康で生きがいをもって暮らせるまちづくり</li> <li>○安心、安全で快適なまちづくり</li> <li>○人材育成と、各世代が交流しあい、顔の見えるまちづくり</li> <li>○まると博物館事業・個性のあるまちづくり</li> </ul>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p><b>1 防災意識を高める取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭では「防災」をテーマに、東日本大震災被災体験者の講演会や大火に関する展示、ハザードマップの展示、避難生活体験や防災グッズの工作コーナーなど、住民が改めて防災について考える場を作った。</li> <li>・自主防災会では、実効ある自主防災計画の策定に伴い、地区統一での防災訓練を行った。地域振興委員会管外研修では、豊橋市防災学習センターで災害体験や防災知識の向上を図った。</li> </ul> <p><b>2 菱田春草生誕地公園の維持管理、標識・説明板設置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春草公園を愛する会による公園の維持管理を行うとともに、来園者によりわかりやすい公園となるよう、今年度新たに標識と説明板を設置した。</li> </ul> <p><b>3 橋北松祭り、橋北イルミネーションフェスタなどでの賑わいと交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10回目となった橋北夏祭りは、多様なステージ発表と工夫を凝らした出店ブースで子どもから大人まで多くの方に参加いただき交流を深めた。</li> <li>・橋北イルミネーションフェスタでは、旧飯田測候所を中心にして東栄公園や歩</li> </ul>		 <p>福島での被災体験を語る</p>
	 <p>夏祭り 橋北屋台囃子演奏</p>	 <p>ライトアップされた旧飯田測候所とイルミネーション</p>	<p>いただいた。</p> <p>また、クリスマスイベントでは、昨年以上の人出があり、寒さにもかかわらず盛況に開催できた。</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旧飯田測候所の利活用</li> <li>○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用</li> <li>○歴史的建造物の保存活用</li> <li>○空き家の利活用</li> </ul>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用</li> <li>○空き家の利活用</li> <li>○イルミネーションフェスタ飾りつけ</li> </ul>

(ふりがな)	きょうなんまちづくりいいんかい		
名 称	橋南まちづくり委員会		
(ふりがな)	はら つとむ		
代表者氏名	会長 原 勉		
ホームページ			
メールアドレス	kyounan.machi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	① まちづくり委員会の活性化と総合力の発揮 ② 安心して住めるまちづくりの形成 ③ 環境にやさしいまちづくりの形成 ④ 地育力の醸成 ⑤ 道路・河川等の環境整備 ⑥ 中心市街地活性化の促進		
重点事業又は特徴ある事業や活動	○ 地域一体となった諸行事への協力体制 橋南夏まつり、文化祭、橋南地区大運動会、ほか ○ 防災組織体制の強化と計画的な防災用具の整備 ○ 街頭防犯カメラ設置の推進と防火・防犯巡回 ○ ラベンダーの維持管理 ○ りんご並木の維持管理と周辺の活性化 りんご並木後援会、収穫祭、周辺清掃など ○ 地育力の醸成と伝統芸能文化の継承活動 夏休み子ども教室や放課後子ども教室、児童クラブ等を活用し、地域の伝統芸能の継承と、地域への愛着を育む (松一獅子舞子ども教室、天龍太鼓子ども教室、おひまち)		
	りんご並木とチューリップ		松一獅子舞子ども教室
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい		
名 称	羽場まちづくり委員会		
(ふりがな)	はら しゅうじ		
代表者氏名	会長 原 修司		
ホームページ			
メールアドレス	<a href="mailto:habamachi@gmail.com">habamachi@gmail.com</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>安全安心で住みよい羽場地区</p> <p>羽場地区まちづくり基本構想・基本計画「羽場の未来構想」を平成27年3月に策定し、2015年度から2027年度までの重点施策を具現化する各種事業を進めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然と伝統文化を守り育てる羽場</li> <li>2. あいさつと交流で笑顔あふれる羽場</li> <li>3. 命を大切にする住みよいまち羽場</li> <li>4. 女性が輝くまち羽場</li> <li>5. ワクワク体験いっぱいの羽場公民館</li> <li>6. 清潔で花あふれる羽場</li> <li>7. 羽場地区土地利用計画の充実</li> </ol> <p>「羽場の未来構想」を柱に据え、より良い地域づくりを進めます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>羽場地区クリーンアップアクション</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>サル去れ警備隊(有害鳥獣対策)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地震防災訓練(避難所開)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>羽場セントラルパーク愛護会</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地元企業、市民団体(グリーンバード等)、小中学校と協働して、主要幹線のポイ捨て防止啓発活動やゴミ拾いに取り組む。		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	「環境美化重点区域」の指定を目指し、公園はじめ飯田南木曾線、羽場大瀬木線など、ポイ捨て等防止にご協力ください。

(ふりがな)	まるやま まちづくり いいんかい		
名 称	丸山まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう おざわ のぶよし		
代表者氏名	会長 小澤 伸好		
ホームページ			
メールアドレス	machi-maruyama@aq.wakwak.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「風越山とともに 住み続けたい自然豊かなまち 丸山」(2015～2024年度)</p> <p>自主・自立の精神の下、丸山地域自治区住民の参加により、住民一人ひとりが豊かさを実感できる、安心・安全で潤いのある地域づくりを進める。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>◎リニア時代を見据えた丸山地区の10年後を想定した計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域振興【インフラ整備の促進と地域資源を活用した安心安全な地域づくり】</li> <li>2 健康づくり・地域福祉【子どもの声が響き合う、長寿社会の構築】</li> <li>3 生活安全【交通安全、防火、防犯対策による安心して暮らせる丸山】</li> <li>4 環境保全【みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山】</li> <li>5 公民館【より多くの人が集う「公民館」づくりに向けて】</li> <li>6 自主防災【自分の命は自分で守る・自分たちの地域は自分たちで守る】</li> </ol> <p>◎計画に基づき各種事業を実施(H29年度の主な取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマザクラ育苗 植栽(風越山夕源平)</li> <li>・丸山地区シンボル花木の育苗(花:ナデシコ 木:ベニマンサク)</li> <li>・交流人口増に向けた学習会、研究会の開催</li> </ul> </li> <li>2 丸山の歌を作ろうプロジェクト(丸山の歌を作る)</li> <li>3 防災訓練の実施(避難所開設訓練の実施)</li> </ol>		
			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ヤマザクラ育苗風景</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">防災訓練(避難所開設訓練)</div>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	ひがしのまちづくりかいぎ		
名 称	東野まちづくり会議		
(ふりがな)	しもだいら きんじ		
代表者氏名	下平 勤司		
ホームページ	<a href="http://www.minapo.jp">http://www.minapo.jp</a>		
メールアドレス	<a href="mailto:higashinokaigi@gmail.com">higashinokaigi@gmail.com</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	桜並木を大切に、歴史と伝統を守る、人にやさしいまちをめざします。		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○東野地区基本構想・基本計画の策定(H28～H29年度) 東野地区では、独自の事業や活動を進める上での道しるべとなるべく具体的なテーマ(めざすべき姿・目標)を盛りこんだ「東野地区基本構想・基本計画」を策定しています。10年後に実現させたい「まちの姿」を7つの項目で示し、各項目ごとに基本的方向、計画期間内に実現をめざす取り組み、テーマの実現を確認するための指標を表記します。この基本構想・基本計画は、平成30年度から平成39年度までの10年間を対象とするもので、29年度末までに策定を完了します。</p>  <p style="text-align: center;">基本構想策定分科会</p> <p>○桜まつり・桜並木イルミネーション 桜並木の賑わいを創出するために桜保存会を中心に桜まつり及び桜並木イルミネーションを実施しました。イルミネーションは、冬のイベントとして今年で3回目を迎え昨年度よりエリアを拡大しました。今年も市長のカウントダウンを皮切りに12月16日(土)に点灯式を行いました。来年以降さらにイルミネーションのエリアを拡大するよう検討中です。 ※桜まつり:平成29年4月9日(日) ※イルミネーション点灯期間:平成29年12月16日(土)～平成30年1月30日(火)</p>  <p style="text-align: center;">大宮通り桜まつり</p>  <p style="text-align: center;">イルミネーション</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	ごこうじちいきじちかい		
名 称	座光寺地域自治会		
(ふりがな)	ふくた とみひろ		
代表者氏名	福田 富廣		
ホームページ	http://zakoji.jp		
メールアドレス	ominosato@zakoji.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>あなたも私も暮らしやすい 自然・歴史・文化・ものづくりが煌く新舞台「麻績の里 座光寺」 [自ら考え自ら行動するまちづくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心通い合うコミュニティーを創造するまちづくり</li> <li>・一人ひとりが地域に学び、生涯成長できるまちづくり</li> <li>・自然と歴史・文化を活かし育むまちづくり</li> <li>・健やかに安心して暮らせる住みよいまちづくり</li> <li>・地域特性を活かした元気な産業のまちづくり</li> <li>・人と自然に優しいインフラ整備</li> </ul>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○地域住民参画のもと策定した、第2次基本構想・基本計画がスタート (H29.4～H40.3)</p> <p>○長期的な視野に立った取組を行うために、有志で結成する特別委員会を設置 ・麻績の里振興委員会 ・水辺の広場委員会 ・麻績の里ふるさと応援倶楽部 ・歴史に学び地域をたずねる会 ・パノラマファーム大門</p> <p>○リニア中央新幹線に備えるために策定した「リニアを見据えた地域づくりの基本方針」を踏まえて、整備に係る具体的対策組織として「リニア地域づくり推進会議」を新設し、リニア・SIC・アクセス道路等の課題に対応</p> <p>○国史跡「恒川官衙遺跡」をはじめ、数ある歴史文化を活かして、市民の憩いの場や都市との交流と学習の拠点としてまちづくりを推進するために協議・活動する組織として、「2000年浪漫の郷委員会」を設置</p> <p>○都市と農村交流による新たな価値観の創造を目的とした、渋谷区との交流事業の推進 渋谷区へのリンゴの植樹、渋谷区からの体験旅行の受け入れ 渋谷くみん祭への参加、渋谷・座光寺～絆～シードルプロジェクト 『渋谷と座光寺のりんごでシードルをつくろう!!』</p> <div data-bbox="1197 1187 1452 1433" style="text-align: right;">  </div> <p>○地域への愛着心を育むため、自然や地域の資源に活用した体験学習への取組強化 また、地域の情報発信を効果的に行う住民主体のホームページの運営</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="446 1523 925 1859">  <p>大賑わいの夏祭り</p> </div> <div data-bbox="941 1523 1436 1859">  <p>～絆～シードルプロジェクト</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容・条件	

(ふりがな)	まつおちくまちづくりいいんかい		
名 称	松尾地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	おぎそ ひろと		
代表者氏名	会長 小木曾 博人		
ホームページ			
メールアドレス	<a href="mailto:matuo@city.iida.nagano.jp">matuo@city.iida.nagano.jp</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○松尾地区基本構想 自分たちのまちは自分たちの手で、やらまいか松尾「共生、共働、サステイナブルコミュニティ」</p> <p>○松尾地区のまちづくり 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり</li> <li>・安心して暮らせる安全なまちづくり</li> <li>・子どもから高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり</li> </ul>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ 平成23年度から継続して開催。八幡宮を中心とした地域の活性化、住民の郷土意識や地区の一体感の醸成、人づくりを目的として11月初旬から中旬に実施。期間の最終日には、笛コンサートなどの催事を行った。</p> <p>○地域安全大会 平成21年度から継続して実施。今年度は防犯に関する内容で開催。地域住民やPTAなど約190名が参加して地域の安全を考えた。</p> <p>○学校支援ボランティア(松尾小学校への支援) 松尾を良く知り、専門的な技術等をお持ちの方が、年5回、クラブ活動を指導。</p> <p>○グリーンベルトの保全 松尾西部の段丘にあるグリーンベルト(緑地帯)の保全活動。26年度から飯田市の里山保全事業を導入し、間伐等を実施。</p> <p>○天竜川の洪水から命を守る大避難訓練(自主防災会主催) 天竜川の堤防の破堤を想定し、浸水想定区域内の方が自らの判断で、安全で行きやすい場所へより早く避難する初めての訓練を各区の協力を得て実施。</p>		
			
	紅葉ライトアップ・笛コンサート		地域安全大会
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	グリーンベルト(段丘崖の緑地帯)保全活動の実施(竹林伐採、間伐等)

(ふりがな)	しもひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	下久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう ひらさわ きよし		
代表者氏名	会 長 平 沢 清		
ホームページ	http://www.shimohisakata.com(下久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第9次下久堅地区基本構想検討中(H30.3月 策定予定)  参考:第8次下久堅地区基本構想「今 そして未来へつなぐ里 ひさかた」平成25～29年度</p> <p>①みんなの絆で未来へつなぐ里づくり  ②みんなで助け合い、安心・安全に暮らせる里づくり  ③誰もが安心して暮らせる健康・福祉の里づくり  ④いきいきとした人と自然の調和する里づくり  ⑤地域に愛着と誇りがもてる心豊かな教育・文化の香る里づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1)桜色に染まる里づくり・伝統継承  地域の団体や下久堅小児童等の協力で「梶曲輪の桜保全」「桜の苗づくり」「紙すき」などの活動を継続している。</p> <p>(2)地域ぐるみで子育て支援  児童クラブ・放課後子ども教室などによる子育て支援にあたり、保護者・住民ボランティアが参加・協力している。また、「地域は大きな教室」をモットーに平成26年度から下久堅子ども応援隊が活動中。</p> <p>(3)道路整備  リニア・三遠南信自動車道の高速交通網に対応すべく、国道256号下久堅バイパス、(主)飯田富山佐久間線などの地区内幹線道路網整備に向けて取り組んでいる。</p> <p>(4)ツアー・オブ・ジャパン(TOJ) 南信州ステージへの支援と協力を行っている。</p>		
			
	<p>楮のたくり作業(ひさかた和紙)</p>		<p>放課後子ども教室</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>(1)H30年度に旧公民館跡地に交流施設の建設を予定している。(児童クラブ、紙すき工房、交流スペース) 下久堅公民館に加え、地区住民、団体の新たな活動拠点として活用していく。</p> <p>(2) UIターン者の定住を支援するための住宅や農業技術支援者等の確保</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	<p>・ひさかた和紙保存会活動への協力と会員増強  ・放課後子ども教室のボランティアスタッフ  (平日の午後3時～6時の活動に参加可能な方)  地元高校生・飯田女子短期大学生の協力も歓迎します。</p>

(ふりがな)	かみひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	上久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	きたざわ やすみ		
代表者氏名	会長 北沢 保美		
ホームページ	<a href="http://kamihisakata.sakura.ne.jp">http://kamihisakata.sakura.ne.jp</a>		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「住んでみたい 住み続けたい元気な郷‘‘上久堅’’」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 平成29年度重点事業</p> <p>①国道256号 上久堅工区完了に伴う安全祈願式開催 9月29日(金)上久堅地区が全線供用開始となり、安全祈願式を挙行了しました。</p> <p>②三遠南信自動車道(仮称)龍江IC～(仮称)飯田東IC開通前記念イベント開催 11月23日(木)三遠南信自動車道共用開始前にウォーキングイベントを行いました。</p> <p>③三遠南信自動車道・国道256号共用開始祝賀会開催 11月23日(木)待望の道路供用開始を記念して行いました。</p> <p>④次期基本構想・基本計画の策定 平成31年度～開始される基本構想について検討を開始しました。</p> <p>⑤北田遺跡公園の今後について検討 地区にとってどのような形がよいのか、施設管理を含め検討しています。</p> <p>⑥JA上久堅給油所補助検討・開始 給油所の維持・存続のため、給油に対し補助を開始しました。</p> <p>2 特徴的な活動</p> <p>①上久堅児童クラブ事業:園児預かり事業を併設した児童クラブ事業の実施</p> <p>②高齢者健康対策事業:「食工房 十三の里」による高齢者向け配食サービス支援</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	園児預かり事業のボランティアスタッフ (平日の午後4時～6時の活動に参加可能な方)



(ふりがな)	ちよちくまちづくりいいんかい		
名 称	千代地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かわて しげみつ		
代表者氏名	会長 川手 重光		
ホームページ	http://chiyo-x.jp		
メールアドレス	chiyomachidukuri@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>&lt;めざす地域の姿・将来像&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>そこに住む人々が、心豊かに生き生きと暮らせる地域</li> <li>特有の魅力が醸し出され、地区内外の多くの人々による交流が活発な地域</li> <li>地域の力を結集して支え合い、前へ向かって歩もうとする活力に満ちた社会</li> </ol> <p>&lt;地域づくり 5つの重点目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>安全、快適、便利そしてエコな地域づくり(生活基盤・環境)</li> <li>交流による活力で地域をつくる(産業振興)</li> <li>ふれあい、思いやり、支え合う地域づくり(福祉・健康)</li> <li>歴史と伝統のもと、風土に調和した文化を発展させよう(地域文化)</li> <li>地区のあり方、進め方を地域で考え実践する「地域力」を高めよう</li> </ol>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>平成29年度重点事業                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①持続可能な地域づくりのため「健康で生涯現役」をめざし、地区の皆さんの健康づくりを支援する取組</li> <li>②定住促進に関する取組</li> <li>③グリーンツーリズムと農家民泊を中心に地域内観光の振興を図り、推進</li> <li>④三遠南信自動車道、リニア新幹線開通後を見据えた地域計画の策定</li> <li>⑤減災・防災の取組</li> <li>⑥合併50周年記念誌刊行事業</li> </ol> </li> <li>特徴的な活動                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①日本の棚田百選「よこね田んぼ」の保全活動、ブランド化の推進</li> <li>②地域で設立した社会福祉法人と連携した子育て支援、高齢者福祉の取組</li> <li>③グリーンツーリズムの推進</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: center;">よこね田んぼの保全活動 <span style="margin-left: 200px;">万古溪谷栃の木ツアー</span></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	「よこね田んぼ」保全活動の協働や助言		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	「よこね田んぼ」保全作業(草刈り・田植え・稲刈り等)

(ふりがな)	たつえちいきづくりいいんかい		
名 称	龍江地域づくり委員会		
(ふりがな)	いちのせ こうし		
代表者氏名	会長 一ノ瀬 孝司		
ホームページ	<a href="http://www.tatue.jp">http://www.tatue.jp</a>		
メールアドレス	<a href="mailto:tatue@city.iida.nagano.jp">tatue@city.iida.nagano.jp</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>誰もが住みたい地域 “みんなで創る 豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <p>①人が行き交う和の地域づくり「憩」          ②便利で豊で住みよい地域づくり「豊」          ③健康で生き活きと暮らせる地域づくり「活」          ④安全で安心して快適に暮らせる地域づくり「安」          ⑤思いやりを持って支えあう地域づくり「絆」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1) 三遠南信自動車道、龍江・天竜峡・千代ICを生かし地区内アクセス道路の整備促進。土地利用計画方針に沿った事業の取り組み。          (2) リニア中央新幹線へのアクセス道路の整備促進。          (3)、天竜峡を核とした観光資源の開発。花の里構想の実施。地域の魅力の発掘。地域の良いものを龍江のブランドとして育てる取り組みをして交流人口・観光人口の増加につなげる。          (4) 「第三次龍江21構想」に基づき、龍江IC周辺の産業団地整備に取り組み働く場所を確保し定住人口増加につなげていく。          (5) 子育てのし易い地域として環境整備を図る。          (6) 支え合いマップの活用。日常的に助け合いが出来る土壤の醸成。          (7) 社会教育活動を通じて、住民相互の信頼関係の構築、結びつきを高める。          (8) 出会いのプロデュースを通じ結婚を支援する。          (9) 地域振興住宅の受け入れ及び空き家の有効活用を図る。          (10) 高齢者が健康で明るく生活できるよう支援する。          (11) 龍江ホームページの有効活用を図る。</p> <p>IJUターン者との懇談会          小学校入学祝い</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域づくりに関することであれば連携可		
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	たつおかちいきじちかい		
名 称	竜丘地域自治会		
(ふりがな)	しもだいら かつひろ		
代表者氏名	下平 勝熙		
ホームページ	http://tatuoka.nagano.jp		
メールアドレス	tatuoka@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>・竜丘地区基本構想(2014年度～2030年度)の将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を実現するための7つの「丘づくり」</p> <p>①住民の支え合いによる丘づくり                  ②地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり                  ③災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり                  ④歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり                  ⑤地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり                  ⑥秩序ある適正な土地利用による丘づくり                  ⑦地域力の強化による丘づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>・基本構想を実現するための戦略として、「景観・環境」及び「教育文化」分野に重点的に取り組み、短期的、中・長期的な重点事業を実施することで「環境・文化地区」を目指している。</p> <p><b>【地域自治会による太陽光発電事業】</b>                  良好な景観づくりを目的として売電収益による再投資先として遊休農地を活用したガーデニング講習会、保育園園庭と長野原区民センター広場の一部へ芝生化事業に取り組んだ。</p>  <p><b>【天竜川鷺流峡環境美化活動推進事業】</b>                  「地域ぐるみによる不法投棄対策と景観美化活動の促進」を施策として位置づけ、名勝鷺流峡周辺の不法投棄をなくすため、事業者である天竜舟下り株と連携「天竜川鷺流峡復活プロジェクト」による竹林伐採・持管理作業等による景観保全に努めながら、環境育・産業という視点で、本年度は、メンマの開発販売、竹灯籠看板の製作販売、ガードレール洗浄作業に取り組んだ。</p>   <p><b>【環境家計簿の取り組み】</b>                  基本構想に基づき、環境委員が中心となって環境家計簿に取り組んでいる。課題となっているエネルギーの削減や地球温暖化に対応し、省エネルギーや省資源の環境に配慮した取り組みを具体化するため、今後は員だけでなく、各家庭での取り組みを推進し、地域自らの環境意識を高めていくことを目指している。</p> <p><b>H 2 9 年度の取組み</b></p> <p>調査世帯の状況                  参加世帯数                  → 36世帯                  (9月までの中間報告)</p>  <p>飯田市では竜丘地区が先駆的に取り組んでおり、環境委員に加えて、一般からも参加していただけるように、組合回覧で案内をしています。「環境への配慮」から「環境を優先する」段階へと発展するべく、地域一丸となってチャレンジが続いています。</p> <p>皆さんも環境家計簿に取り組んでみませんか？</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	多くの企業、NPO等と連携を進め、地域の課題解決に取り組んでいきたい。		
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		

(ふりがな)	かわじまちづくりいいんかい		
名 称	川路まちづくり委員会		
(ふりがな)	ハシモト クニオ		
代表者氏名	会長 橋本 国雄		
ホームページ	<a href="https://furusato-iida20.jp/chiku/?dist_id=13">https://furusato-iida20.jp/chiku/?dist_id=13</a>		
メールアドレス	<a href="mailto:kawaji@city.iida.nagano.jp">kawaji@city.iida.nagano.jp</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>地区キャッチコピー「不老長寿の郷 ～心も体も生き活きと～」  地区目標 『豊かで活力ある安全安心な川路』  基本方針 1 住民協働による支え合い  2 産業振興と若者定住  3 安全安心・快適生活環境づくり  4 歴史文化と川路を思う心豊かな人づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>H23年度に策定した「地区目標・地区計画・土地利用計画」を踏まえた地区キャッチコピー「不老長寿の郷」を目ざし、3つの重点を中心に取り組んでいます。</p> <p>○活動指針  1 自立 自分達のことは、出来る限り自分達の力で！  2 共助 共に助け合う気持ちを大切に！  3 絆 お隣近所・地域の人々との絆を深め！  4 環境 住みよい環境づくり、皆で考え協力しよう！</p> <p>○重点取組  1 各区並びに委員会・部会活動で住みよい川路を実現  2 子育て支援や環境を整え、少子化対策を推進  ・川路保育園園長保育運営委員会による延長保育の開始  3 事業や予算を見直し、健全な運営を推進  4 近年公民館の改築予想の研究委員会創設</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <b>川路保育園延長保育スタート</b> </div>  <p style="text-align: right;">平成29年12月末現在、延長</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が行う経済活動</li> <li>・地域が行う子育て活動</li> <li>・地域が行う環境活動</li> </ul>		
ボランティア募集希望の有無・内容	今のところなし	内容・条件	

(ふりがな)	みほまちづくりいいんかい		
名 称	三穂まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう いまむらよしたか		
代表者氏名	会 長 今村嘉孝		
ホームページ	<a href="http://iidamiho.wpblog.jp/">http://iidamiho.wpblog.jp/</a>		
メールアドレス	miho@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	自然とロマンの里 三穂 「子どもから高齢者まで 元気な声が響き渡り 活力あり 支え合い 心豊かな 人も自然も輝ける里」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○小笠原書院「神無月の宴、和全書道イラスト展」(10/1～15) 地域の文化財「旧小笠原家書院」を利用した3回目の落語会を開催。伝統芸能と貴重な文化財を融合して地域内外の方に情報発信する機会としている。今年はこちらに合わせ隣接する小笠原資料館において、伊豆木出身の書道イラストアーティスト「和全(土屋和泉)」氏の、個展および絵本読み聞かせ、書道パフォーマンスを行い、新たなスタイルで旧小笠原家書院の活用を試みた。</p> <p>○伊豆木人形台湾公演(10/6～10) 竜峡中三穂在住生中心に構成されている「伊豆木人形クラブ」が、発足10周年を記念して台湾公演を行った。生徒6名を含む総勢12名にて台湾雲林縣の人形劇フェスティバル「雲林国際偶戯節」にて計5回の公演を行ったが、それぞれ高く評価され各回ともに大喝采を浴びた。子どもたちは伝統文化を継承することの大変さを感じながらも、観客の反応に自分たちの努力に誇りを持てた。また、スタッフ一同、言語も文化も異なる外国人にも受け入れられる人形芸能の奥深さに感銘を受けた。</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	やまもとちいきづくりいいんかい		
名 称	<b>山本地区づくり委員会</b>		
(ふりがな)	かいちょう もとむら りょうじ		
代表者氏名	会長 元村 両 治		
ホームページ			
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「美しく、心豊かに、集うさと 山本」 この言葉を旗印に、地区内外を問わず、全ての人々が楽しめる地域、住んでよかった、来てみてよかったと言われる地域を皆で創出する。 ＜10の地域づくり目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○土地を活用した住みよい地域づくり</li> <li>○自然が豊かで潤いのある地域づくり</li> <li>○思いやり支え合う地域づくり</li> <li>○安全に暮らせる地域づくり</li> <li>○文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり</li> <li>○地域自治の推進と交流の地域づくり</li> <li>○拠点が整備された地域づくり</li> <li>○産業の発展する地域づくり</li> <li>○健康で快適な地域づくり</li> <li>○ひとが育つ地域づくり</li> </ul>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【山本地区組織等見直し】 地域自治組織発足して10年余となり、現在と当時の人口等が大きく変化し、組織体制・業務内容・負担量等の見直しが必要な時期となりました。 平成31年度新体制を目指し、29年度・30年度で協議をします。</p> <p>【山本小学校屋根への太陽光稼働】 「花の木山本小学校太陽光発電事業」として、 山本小学校屋根の太陽光パネルが稼働しました 山本地区内では、山本おひさま広場、杵原学校多目的ホール久米会館、さくら保育園久米分園に続く設置となります。 また、他にも、地区内で設置可能な場所へ設置する方針で進めています。</p> <p>【杵原広場】 4月には、杵原学校桜フォトコンテスト、桜まつりおもてなし活動を開催します。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容条件	



山本小学校屋根への太陽



おもてなし

(ふりがな)	いがらまちづくりきょうぎかい		
名 称	伊賀良まちづくり協議会		
(ふりがな)	いままき ひであき		
代表者氏名	今牧 英明		
ホームページ			
メールアドレス	<a href="mailto:igara@city.iida.nagano.jp">igara@city.iida.nagano.jp</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>伊賀良地区基本構想(2011～2020)「緑輝き、人と文化が行き交うまち 伊賀良」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人に自然に優しい土地利用</li> <li>2 誰もが安心して暮らせる地域づくり</li> <li>3 自然を大切に「地の利」を生かした産業づくり</li> <li>4 香り高い文化の創造</li> <li>5 心が通い合う地域づくり</li> </ol>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p><b>【人に自然に優しい土地利用】</b> ～アップルロードりんご並木愛護の取組～ 中央道飯田ICのアクセス道路である国道153号バイパス、通称「アップルロード」の建設計画時に、当地区の農家の青年層からの発案で、街路樹としてりんごが植えられました。以来、30年にわたって、まちづくり協議会、伊賀良小学校、果樹農家など地区が一体となって管理、秋には小学生が地区民とともにりんごを収穫し、収穫祭を実施しています。</p> <p><b>【誰もが安心して暮らせる地域づくり】</b> ～自然エネルギーの有効利用～ 隣接する山本地区との統合中学校である旭ヶ丘中学校の生徒が自ら、校舎への太陽光発電施設の設置を発案し、両地区へ提案、3者で協議会を立ち上げ、市から認定を受け、平成27年度に工事が行われ、運用が開始されました。</p> <p><b>【自然を大切に「地の利」を活かした産業づくり】</b> ～豊かな森林資源の活用～ 当地区は西側の山地に広大な森林を有しており、「西部山麓」と呼ばれています。飯田ICに近いという「地の利」を活かし、森林資源の活用を図っています。</p> <p><b>【香り高い文化の創造】</b> ～公民館活動～ 全世代がふるさとに誇りと愛着を持って暮らせるよう、特に小学校との連携を強化しながら、小学校校歌など地域に着目した学習と交流を推進しています。</p> <p><b>【心が通い合う地域づくり】</b> ～あいさつ運動の推進～ 地区住民の安心安全のためのコミュニケーションの第1歩として、地区を上げてあいさつ運動に取り組んでいます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アップルロードりんごの収穫作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地区マスコットキャラクター「いがりん」も参加したあいさつ運動</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容	条件	

(ふりがな)	かなえちくまちづくりいいんかい		
名 称	鼎地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう みずぐち よしあき		
代表者氏名	会長 水口 芳昭		
ホームページ			
メールアドレス	kanae@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>『豊かで 潤いある 元気な 鼎』 ～かなえよう 住みよいまち かなえたい 心安らぐまち～</p> <p><b>【行動理念】</b> 私たちは、飯田市の一員として、飯田市のまちづくりの基本にある『自然と文化の調和と地球環境保全』『自主自立の精神と多様性』を念頭に、自分たちの地域を自分たちの力や考えで、『住み続けたいまちづくり』のためにまちづくり委員会が中心になって行動していきます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p><b>【鼎地区パワーアップ事業】</b> 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施し、自主グループの活動や事業、まちづくり委員会で実施しがたい事業などに毎年助成しています。また、各区で所蔵する美術工芸品の修復や祭り関連事業の備品の整備等についても助成を行っています。平成29年度は7団体に約170万円を助成する予定です。</p> <p><b>【鼎地区基本構想・基本計画】</b> 第3次期基本構想・基本計画の期間が平成30年度までとなっているため、今年度策定委員会を立ち上げ、第3次の評価と検証、第4基本構想・基本計画の策定に向けて検討を開始しました。次期基本構想・基本計画の期間は平成31年度から平成42年度までの12年間とし、4年毎検証・見直しを実施していく予定です。</p> <p><b>【公民館事業】</b> 鼎公民館では、乳幼児学級や子を持つ親のための「すくすくの樹」等の子育て事業、夏休み中の「かなえっこどっきどきスクール」等の未来を担う子どもや若者の育成事業、華甲大学に代表される生涯教育、ふるさと鼎コマーシャル制作等、多彩な活動を行っています。また、体育や文化事業を通じて地域の活性化に努めています。</p>		
			
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容・条件	

(ふりがな)	かみさとちいきまちづくりいいんかい		
名 称	上郷地域まちづくり委員会		
(ふりがな)	やまだ まさし		
代表者氏名	山田 雅士		
ホームページ			
メールアドレス	kamisato@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 リニア中央新幹線の本体工事については、昨年 11 月に大鹿村内において着工となりました。上郷地域においては、北条地区における駅本体及び駅周辺整備、県道市場桜町線の拡幅改良、国道 153 号沿線地区においては、国道の拡幅改良（国道 153 号北改良）の整備計画が進行しています。加えて、座光寺スマート I.C.（仮称）からのアクセス道路整備（座光寺上郷道路）など、かつてない変革期の渦中にあります。</p> <p>地域住民の視点による課題へ対応するとともに、上郷地域全体の将来を展望し、具体的に取り組みます。</p> <p>2 今年度着工を予定している上郷地域まちづくり拠点施設の建設について、基本計画・実施設計に基づき円滑な工事の推進とともに、施設の機能が十分発揮できるよう備品等の準備を進めます。</p> <p>3 リニア駅周辺整備及びリニア関連道路整備の進展に伴い沿線の土地利用や景観について、適正な用途地域の指定や見直しの検討を進めます。また、運用している上郷地域の独自ルールの定着を図ります。</p> <p>4 上郷なかよし保育園新園舎の建設及び周辺道路等の整備の早期着工に向け関係機関に働きかけます。</p> <p>5 野底山森林公園の管理運営にあたって、今後 5 年間の指定管理を継続します。管理棟を拠点に関係者が役割を分担し、連携して管理運営を行うとともに、リニア時代を見据えた地域密着型の公園づくりを進めます。</p> <p>6 組合加入に向けて、積極的な取組と加入しやすい環境の整備を検討するとともに、全員参加で生まれる理想の地域づくりを推進します。</p> <p>7 上郷地域基本構想・基本計画に掲げる将来像の実現のため、役員会及び各委員会は、他の委員会及び各種団体等と相互に連携を図り取り組むとともに、後期基本計画の策定へ向け検討します。取組の進行管理は、基本構想・基本計画推進会議で行います。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かみむらまちづくりいいんかい		
名 称	上村まちづくり委員会		
(ふりがな)	きたざわ りょうたろう		
代表者氏名	北澤 良太郎		
ホームページ			
メールアドレス	<a href="mailto:kamimura.machidukuri@i.softbank.jp">kamimura.machidukuri@i.softbank.jp</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「環境・伝統文化・人々がかがやく上村」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【29年度重点事業】</p> <p>◎花やみどりであふれる郷づくり 遊休農地等へ「ひまわり」「大豆」を植栽し、景観保全に努めています。 秋に獲れた種は地区文化祭で配布、来年は上村全域でひまわりが咲くことを期待しています。</p> <p>○しゃくなげ祭の開催(上村小学校音楽会と地区文化祭を統合し開催) 小学校の音楽会と地区の文化祭を統合「しゃくなげ祭」(旧上村中学校の文化祭の名称、石楠花は地区花)として開催。保育園児の可愛い歌と踊り、児童によるミュージカル「オズの魔法使い」に地域住民が魅了された一日になりました。 また、以前より運動会も保育園・小学校・地区の合同開催しており、地区住民を挙げて、保育園・小学校を支え応援しています。</p> <p>○小沢川小水力発電事業の実現 事業会社が主体となり、発電所建設に向け、各種許認可の事前協議、調査等を実施。委員会では、売電益を地域へどう還元させるか検討しています。</p> <p>○空き家対策事業 移住定住に必要な空家等を確保するため、空家活用チラシを作成し全戸へ配布し情報提供を呼びかけています。</p> <p>○若者等定住促進補助金の見直し 子育て世代への支援を充実させる、補助内容の見直しと、地域経済活性化の一助となるよう、地域内商品券を取り入れる検討をしている。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		



(ふりがな)	みなみしなのまちづくりいいんかい		
名 称	南信濃まちづくり委員会		
(ふりがな)	まきしま さだよし		
代表者氏名	牧島 定好		
ホームページ			
メールアドレス	<a href="mailto:minamisoumu@city.iida.nagano.jp">minamisoumu@city.iida.nagano.jp</a>		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	1 住みたい、住み続けたい郷づくり 2 快適に暮らせる郷づくり 3 南信濃らしさを活かした産業の郷づくり 4 安心安全に暮らせる郷づくり 5 豊かな自然と共生する郷づくり 6 誰もが健やかに暮らせる健康と福祉の郷づくり 7 学びあい、文化を守る郷づくり		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○移住定住に向けた取り組み          地域おこし協力隊員と連携して、ゲストハウスの立上げに協力している。          また、若者を中心とした「山暮らしカンパニー」によるシェアハウスとも連携して、ゲストハウスを中心とした移住定住に向けた取り組みを強化する。</p> <p>○若者等定住促進補助金の交付と見直し          長く安心して地域で生活してもらえるよう、補助金を交付している。          また、子育て世代への支援を充実させる、補助内容の見直しと、地域経済活性化の一助となるよう、地域内商品券を取り入れる検討をしている。</p> <p>○地域福祉の取り組み          まちづくり委員会を含む地区内有志による地域福祉プロジェクトが「見守り、声掛け、身近な支え合い」を合言葉にして、ひとり暮らし等高齢者の孤立や孤独を防ぎ、高齢者を見守る共助の新たな仕組み作りを行うことで、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心・安全に暮らせる地域づくりを目指して活動している。</p> <p>◎主な活動          ①声かけカレンダーの作成 ②安心メモの配布 ③サロンきらく会の開催          ④支え合いマップの作成と活用 ⑤地域包括支援センターの地区内への周知</p> <p>○公民館活動の取り組み          体育、文化、広報委員会の活動のほか、図書分館との合同事業も実施している。          また、乳幼児学級や夏休み子ども講座などの学級講座のほか、環境保全委員会との共催でブッポウソウの保護活動(巣箱かけ)を実施した。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん くらりねっと		
団体名称	特定非営利活動法人 くらりnet		
認証年月日	2003 年 7月 24 日		
(ふりがな)	ますだ あやこ		
代表者氏名	増田 綾子		
主な事務所の所在地	飯田市松尾町4丁目8番地2		
ホームページ	<a href="http://www.clari-net.org/">http://www.clari-net.org/</a>		
主な活動分野	NPO支援、まちづくり		
活動内容	<p>『NPOと創る 新しい社会。』</p> <p>NPO活動や市民活動で、社会を良くしようとする人たちを支援し、住み続けたいまちづくりをすすめます。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修・講習会の開催</li> <li>・特定非営利活動法人設立・運営支援</li> <li>・ネットワーク形成・コーディネート</li> <li>・行政・企業とのパートナーシップ促進事業、企画・運営</li> <li>・市民活動を起爆剤とする、地域社会の活性化促進 他</li> </ul>		
			 <p>無料で配布中！</p>
PRしたいこと	<p>市民活動・NPOの事業を、もう一步前へ。</p> <p>「途中で活動しているが、こんなことに困っている」「実際のところ、NPO法人ってどんな組織？」「活動を継続していくには、何が必要？」といった相談をお受けしています。</p> <p>『市民活動・NPO無料相談会』</p> <p>毎月第3火曜日、飯田市役所市民協働会議室</p> <p>今年のミニ講座予定（参加費無料）</p> <p>会計・税務の基礎講座（3月）、NPO法人基礎講座（4月）、会計・税務個別相談会（6月、11月）、認定NPO法人をめざす学習会（9月）</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	何か協働できそうなことがあれば、ご相談ください。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>一般会員 年会費5,000円（個人・団体どちらも可）</p> <p>会員のメリット 組織運営のコツや助成金情報などのメルマガ配信</p> <p>各種セミナーに会員価格で参加できます。</p> <p>年1回、無料でコンサルティングを受けることができます。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>当法人の活動趣旨に興味のある方。</p> <p>定期的ではなく、必要な時に活動していただきます。</p>

(ふりがな) 団体名称	とくていひえいりかつどうほうじん あやめ <b>特定非営利活動法人 あやめ</b>		
認証年月日	平成16年 6月 18日		
(ふりがな) 代表者氏名	まきうち のぶおみ <b>牧内 信臣</b>		
主な事務所 の所在地	飯田市川路2682番地		
ホームページ			
主な活動分野	宅老所事業:地域密着型通所介護・予防通所介護・総合事業A型・生きがいデイ 居宅介護支援 認知症対応型共同生活介護		
活動内容	<p style="text-align: center;"><b>特定非営利活動法人あやめ理念</b></p> <p>特定非営利活動法人あやめは多くの皆さんに支えられて誕生した発足の原点をしっかりと心に刻み、地域福祉の拠点として地域の人に愛され、信頼され、住み慣れた地域で最後までその人らしく住み続けられる地域づくりに貢献できる施設としての役割を果たして行く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、利用者様の尊厳を守ります</li> <li>2、利用者様の個々の思いに寄り添い利用者様のたくさんの笑顔を受け取るように努めます</li> <li>3、地域やご家族の支えになる施設を目指します</li> <li>4、職員は生き生きと笑顔でサービスにあたります</li> </ol> <p>NPO法人あやめは、今年で13年を迎えます。さろんあやめ(宅老所) 靴16年9月～・介護相談センターあやめ(居宅) 靴16年11月～・三穂のまめだに(宅老所) 靴24年10月～・さろんあやめと併設に、グループホームあやめ靴29年3月～開設しました。各事業所共に地域福祉の拠点として地元の方を中心にたくさんの方に利用して頂いております。</p>		
PRしたいこと	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>味噌汁づくり</b></p>  <p>今日のおやつは、うめえ～べ！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>洗濯物干し</b></p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>グループホームあやめ</b></p> <p><b>グループホームあやめは、平成29年3月5日(日)に開所式、3月10日(金)・11日(土)に内覧会を行いました。グループホームで働いた経験がない職員が多かった為、みんなで話し合いを重ねながら、徐々に利用者の受け入れを行いました。</b></p> <p><b>3月21日(月)に2名、その後も少しずつ利用者さんを受け入れ、5月の連休明けには、定員いっぱいの9名となりました。最初は、利用者さん達も他人行儀でよそよそしく暮らしていましたが、今ではみんなが家族のように協力し合いながら、役割を持って生き生きと生活されています。</b></p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>お誕生日会</b></p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>掃除</b></p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>畑で収穫&amp;水やり</b></p>  </div> </div>		
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	個人・団体を問わず、是非連絡下さい。宜しくお願いします。

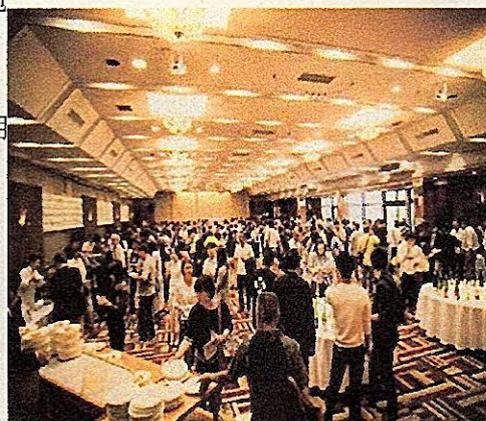
(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん みんなのて		
団体名称	<b>特定非営利活動法人 みんなの手</b>		
認証年月日	平成17年 8月 19日		
(ふりがな)	おおはら たいいち		
代表者氏名	大原 泰一		
主な事務所の所在地	飯田市鼎中平1884-1		
ホームページ	<a href="http://www.kenwakai.or.jp">www.kenwakai.or.jp</a>		
主な活動分野	保険 医療 福祉		
活動内容	<p>高齢者を始めとする地域の多くの人達に対して移送介護サービス、ホームヘルプサービス、家族支援サービス、子育て支援サービスなどに関する事業を行い、地域福祉の向上と住みやすいまちづくりに寄与することを目的として活動しています。</p>		
PRしたいこと	<p>介護保険ではサービスを受けられない多くの方々への生活支援です。</p> <p>信頼と安心をモットーに地域福祉の向上と住みやすいまちづくりを目指して活動しています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	介護事業所、地域包括支援センター等と連携して活動していきます。		
困っていること	利用者、ボランティア共に高齢化が目立ってきました。今後の課題です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	どなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	75歳までの方 どなたでも

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん はんいがくせいぼうはんたいさくしえんきょうかい		
団体名称	特定非営利活動法人 飯伊学生防犯対策支援協会		
認証年月日	2006年12月21日		
(ふりがな)	いわさき まさる		
代表者氏名	岩崎 愈		
主な事務所の所在地	〒395-0041 飯田市中央通り4丁目43番地 新星ビル4階		
ホームページ			
主な活動分野	○地域安全(子どもの安全・高齢者の特殊詐欺被害防止)		
活動内容	<p>○子どもの防犯意識高揚のためオリジナル防犯テキストの(小中学生用)作成配布</p> <p>○学校の安全対策として、防犯機器の寄贈、防犯器具の考案及び寄贈</p> <p>○防犯意識高揚のための防犯ポスター・防犯カレンダーの作成支援</p> <p>○防犯教室、防犯訓練の共同開催、通学路防犯パトロール</p> <p>○防犯意識高揚のためのDVDの作成並びに配布</p>		
PRIしたいこと	<p>○子ども達を犯罪から守るためには、子ども達に対する防犯教育を徹底するとともに、子ども達が自ら「自分の身体は、自分で守る」ことが最も大切であると考え、「イカのおすし」の普及に努めている。</p> <p>○高齢者が自分の財産は自分で守り、特殊詐欺被害にあわないための「イカのおすしと5つの約束」の普及に努めている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○子ども達を守る各種地域ボランティア団体等との連携・協力</p> <p>○高齢者が特殊詐欺に遭わないための各種ボランティア団体等との連携・協力</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		



(ふりがな) 団体名称	みなみしんしゅう ばいころじー きょうかい <b>NPO法人 南信州バイコロジー協会</b>		
認証年月日	平成22年1月5日		
(ふりがな) 代表者氏名	くまがい ひでお 熊谷 秀男		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8558-1		
ホームページ	<a href="http://373bk.xyz/">http://373bk.xyz/</a>		
主な活動分野	サイクルイベントの実施		
活動内容	<p>当法人は、バイコロジー運動を推進することにより自然環境や生活環境を守り、併せて地域住民の健康と体力づくりに貢献し、健全で明るく豊かな住民生活の実現に寄与することを目的とする。</p> <p>【平成29年実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第20回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ</li> <li>・第4回エンデュロ大会in龍江</li> <li>・自転車フォーラム&amp;交流会in南信州</li> </ul>  <p style="text-align: right;">第20回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ</p>		
PRしたいこと	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>自転車、ビジネス討論</b> 飯田 片山右京さん招く</p>  <p>「元F1ドライバーに志をあり、自らプロドライバーとして活躍する片山右京さん。その経験から、自転車とビジネスの関係を語る。片山さんは、自転車とビジネスの関係を語る。片山さんは、自転車とビジネスの関係を語る。」</p> <p>中日新聞 3月27日</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>カメラレポート City Angle</b></p> <p>TOJ南信州ステージ 雨天の山岳コースを激走</p>  <p>「4月2日、日本自転車連盟主催のTOJ南信州ステージが開催された。悪天候の中、大会関係者と観客は山岳コースに集まり、激走を堪能した。雨天の山岳コースを激走する選手たちの姿は、観客の心を掴み取った。」</p> <p>広報飯田 7月1日</p> </div> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	こくさいりんご・しーどるしんこうかい		
団体名称	NPO 国際りんご・シードル振興会		
認証年月日	2015年 9月 25日		
(ふりがな)	ごとう たかいち		
代表者氏名	後藤 高一		
主な事務所の所在地	長野県飯田市知久町1丁目10番		
ホームページ	<a href="http://www.pommelier.net">http://www.pommelier.net</a>		
主な活動分野	3 まちづくり 14 経済活動		
活動内容	<p>1)ポム・ド・リエゾン養成講座 第一回～第三回実施 ポム・ド・リエゾン有資格者数 88名</p> <p>2)国際シードルメッセ日本ブース出展 (2015年4月 ドイツ・フランクフルト)</p> <p>3)ナガノシードルコレクションin飯田開催(2017年5月) 出展者31団体 参加者350名</p> <p>4)立教大学観光学部インターンシップ受入れ 「シードルツーリズムの可能性を探る」</p>		
PRしたいこと	<p>2013年の活動開始以来、「シードル」をテーマとした様々な取り組みに挑戦し、地域内でのシードルの知名度向上、醸造や消費の促進に努めて来た。その間、全国的にもシードルの関心が高まり、また当地域に於いても、2013年には地元のりんごを使ったシードルは皆無だったが、現在では南信州に於いて、シードルの醸造が5か所で行われており、りんご農家の委託醸造で造られるシードルも十数種類に増えた。今日の盛り上がりに対し、振興会の活動が、すくなくならず貢献していると自負している。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	シードル・ツーリズムによる交流人口の拡大を目指しているが、食や濃の分野で活躍されている団体で、ツーリズムに興味のある団体とは連携して行きたい。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会費
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	試飲会等各種イベントのスタッフ。



(ふりがな)	いいだぶるーべりーしんこうかい		
団体名称	NPO法人飯田ブルーベリー振興会		
認証年月日	H27年10月27日		
(ふりがな)	しみずみのる		
代表者氏名	清水 實		
主な事務所の所在地	飯田市川路1843-1		
ホームページ	「飯田ブルーベリー振興会」で検索		
主な活動分野	社会教育、科学技術		
活動内容	<p>ブルーベリー栽培体験教室を毎月1回行っています'</p> <p>H29.1.15 第1回剪定講習  H29.2.19 第2回剪定講習、ピザ製作体験  H29.3.19 挿し木講習、挿し木の穂木配布  H29.4.23 接ぎ木講習  H29.5.7 「ブルーベリー緑化祭」の実施  H29.7.1 ブルーベリーガレット料理教室  H29.7.16 緑枝挿し木講習、第1回収穫  H29.8.20 栽培講習、第2回収穫  H29.9.17 ブルーベリー食べ尽くし、取り尽くし会  H29.10.20 植え替え、植付講習  H29.11.19 チップ主体の栽培講習、暗渠排水  H29.12.17 反省会、忘年会</p>		
PRしたいこと	<p>会員25名、栽培農園での講習と体験実習  また、室内での教室等を楽しんでいます。  今年は料理体験教室、特にガレット料理教室  では、専門講師にお願いして楽しく、有意義  に行うことができました。</p> <p>会員はいつでも募集しています。希望者は  ホームページから申込み、又は下記の携帯電  話までご連絡下さい。清水實 080-5109-3652</p>		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと	緑化祭でブルーベリーを使用する場合、料理教室、地域づくり等の団体と連携できます。		
困っていること	特にありません。		
会員募集(募集の 場合は○、しない場合 は×)	○	条件等	条件はありません。会員特典として苗木の配布、ブルーベリー収穫等があります。
ボランティア募 集(募集の場合は ○、しない場合は×)	○	条件等	料理教室、加工教室を指導して頂ける方お願いします。



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん おしゃべりさらだ		
団体名称	特定非営利活動法人 おしゃべりサラダ		
認証年月日	2016年 3月 1日		
(ふりがな)	まつむら ゆみこ		
代表者氏名	松村 由美子		
主な事務所の所在地	飯田市追手町2丁目630-8		
ホームページ	nposalad.com		
主な活動分野	1.2.3.8.10.11		
活動内容	<p>1. 地域子育て支援拠点事業 (厚生労働省が勧める子育て支援の活動「つどいの広場」事業の運営)</p> <p>◆「子育てサロンおしゃべりサラダ」、出張ひろば「おしゃべりポトフ」、そして指定管理者として「座光寺つどいの広場」を運営しています。妊婦さんから未就園児を持つご家庭に親子の居場所として利用していただけます。遊んだり、おしゃべりしたり…子育て講習会やお楽しみ会、子育て情報もあり、子育てアドバイザーに相談ができます。妊婦さんとその家族のための開館日には助産師が常駐しています。</p> <p>◆訪問活動「てとて」 妊娠期の不安、授乳や赤ちゃんがいる生活での不安等、家庭で孤独になりがちなママの不安を和らげるお手伝いとして、子育てアドバイザーや助産師がご自宅にお伺いします。お気軽にご連絡ください。</p> <p>2. 集団託児事業 イベントや行事時に集団託児をお引き受けします。ご家族が安心して行事に参加でき、お子さんも安心して楽しい時間が過ごせるよう、託児サポーターがお預かりします。</p>		
PRLしたいこと	<p>ママ仲間で「いつでも行ける親子の居場所があったらいいね」とH14年に始めた「子育てサロンおしゃべりサラダ」の活動は、長年任意の民間団体として活動を続けましたが、2016年3月「NPO法人おしゃべりサラダ」として再スタートしました。親子を迎えるスタッフは子育て中のママでもあり当事者目線を持ちながら、みんなの子育てを応援し活動しています。子育てが、ひとりだけで頑張る「孤育て」にならないよう、みんなで手と眼と心をかけあって、親子ともに育ちあえることを願っています。困った時に手を伸ばせば、手を添えてくれる人がいる安心、そして今度はあなたがその手を握ってあげる人に！そんな子育てを飯田で一緒にしたいですね。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	小学生・中学生・高齢者、地域の方々との交流		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育てを応援し、活動を応援して下さる賛助会員を募集しています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育て家庭を温かく見守り、親子に楽しく関わってみたいという方 庭の整備(草取り、剪定、雪かき等)のお手伝いをして下さる方





人と人が手をつないで活動の輪を広げていきます。そしてリンゴの形の輪に「多様な主体の協働によるまちづくり」の精神を込め、ムトス飯田のロゴマークをデザインしていきます。



ムトス飯田  
ロゴマーク





～「ムトス」は 地域づくりの合言葉～

## ムトス飯田



多様な主体の協働によるまちづくり ムトス飯田

飯田の語源とも言われる「結い」は、「多くの人の協力と役割分担により一つの事を成し遂げる仕組み」であり「協働」です。その前提には一人ひとりの「自立」が欠かせません。飯田のまちづくりの底流には、この長い歴史が息づいています。

●ムトスとは

「ムトス」とは、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味であり、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は昭和57年「10万都市構想」において理想とする都市像の実現に向けての行動理念として「ムトス」を使用しました。平成19年4月1日施行の飯田市自治基本条例にもムトスの精神について謳われています。「ムトス」を地域づくりの合言葉に、私たち一人ひとりが持つ「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」という自発的な意志や意欲により、具体的な行動で地域づくりをしていくことをめざします。

<p>■ムトス飯田表彰事業</p> <p>「ムトス飯田の精神を広めるために」という寄付を契機に、昭和60年度に創設されました。毎年、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰しています。</p>	<p>■ムトス飯田助成事業</p> <p>ムトス飯田推進委員会は、飯田市の交付金を財源に、団体や個人による独創的で波及効果のあるまちづくり活動に対して、助成をしています。</p>
<p>■ムトス飯田交流会・学習会</p> <p>市民協働や相互連携を築くことを目的に、毎年、多くの市民や団体等に呼びかけて、実践事例や課題などを語り合う交流会（または学習会）を開催しています。</p>	<p>■一般社団法人 ムトス飯田市民ファンド</p> <p>市内の特定非営利活動法人を対象に300万円まで「無利子の融資」（貸金業）をしています。</p>

**ムトス飯田推進委員会**

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 飯田市役所内 電話 0265-22-4511

ムトス飯田30周年記念 2015.2作成

ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう！市民協働を推進します